

木津川市公共交通に係る 現況報告

目 次

1. 地勢	1
(1) 位置	1
(2) 土地利用	2
(3) 主な施設立地	3
2. 社会経済動向	5
(1) 地域の人口	5
(2) 産業	9
(3) 交通事故発生状況	12
(4) 自動車及び運転免許の保有状況	12
3. 財政基盤状況	15
4. 日常移動の状況	16
(1) 周辺地域間の移動状況	16
(2) 通勤・通学の流動量	17
(3) 交通手段の移動状況	19
5. 交通の実態	23
(1) 道路交通体系	23
(2) 公共交通体系	25
I. 鉄道の状況	27
II. 路線バスの状況	32
III. コミュニティバスの状況	40
IV. 一日フリー乗車券の販売状況	73
(3) 公共交通空白地域の状況	74

1. 地勢

(1) 位置

木津川市は、京都府南部の山城地域に位置し、北は井手町、和束町、東は笠置町、西は精華町、南は奈良県奈良市に隣接し、京都や大阪の中心部から約 30 k m 圏内にあります。

道路は、市の中央部を国道 24 号が南北方向に、国道 163 号が東西方向に整備されており、広域幹線道路として位置付けられています。また、市の西部には京奈和自動車道も整備され、国道 24 号及び国道 163 号などの交通混雑の緩和と関西文化学術研究都市間のアクセス向上が図られています。

鉄道は、J R 木津駅を中心に、奈良線、片町線、関西本線の 3 線で京都、大阪、奈良、三重方面と結ばれており、また、市の西部を南北に走る近鉄により京都、大阪、奈良方面と結ばれるなど、交通の要衝となっています。



図 木津川市の位置図

(2) 土地利用

本市の非課税土地を除く面積は 4,628ha であり、土地利用区分別にみると山林、農地（田、畑）がそれぞれ約 36%、宅地が約 19%となっています。

都市的形態をなす人口集中地区（D I D面積）及びD I D人口ともに増加傾向にあります。

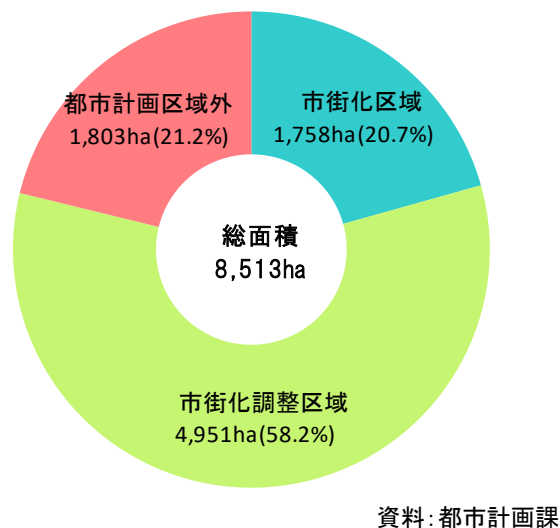
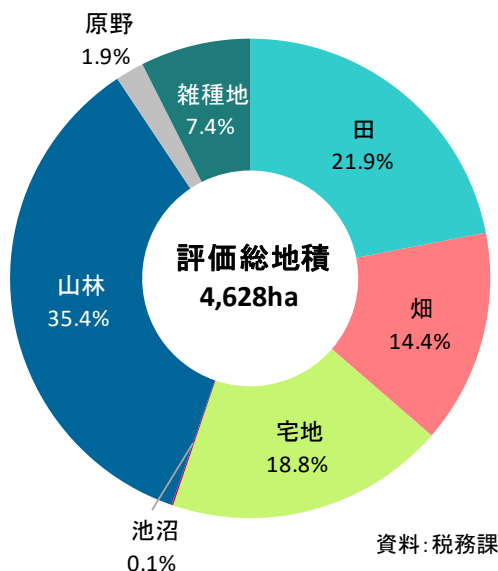


図 土地利用の内訳（平成 29（2017）年）

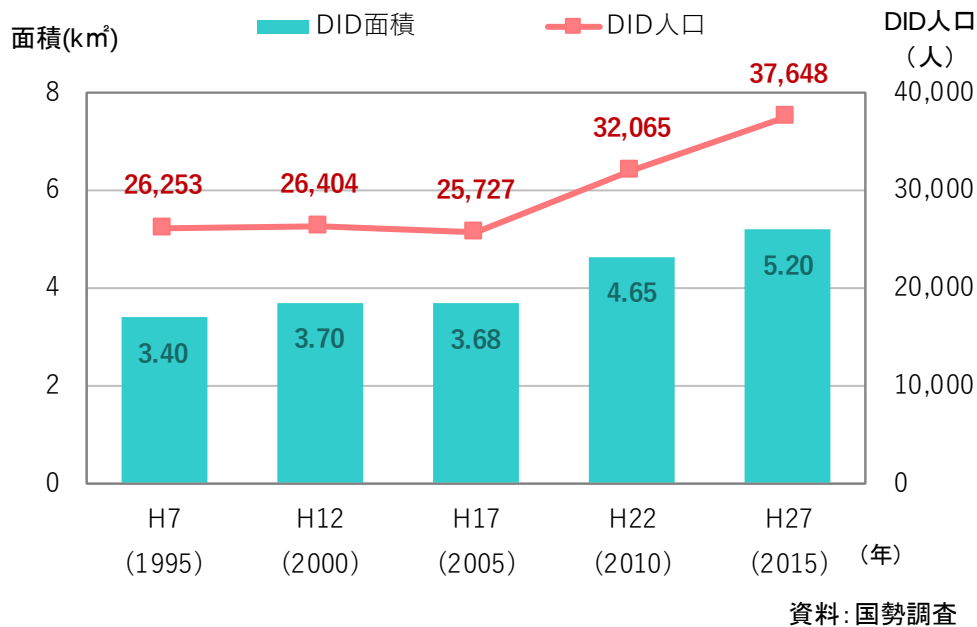
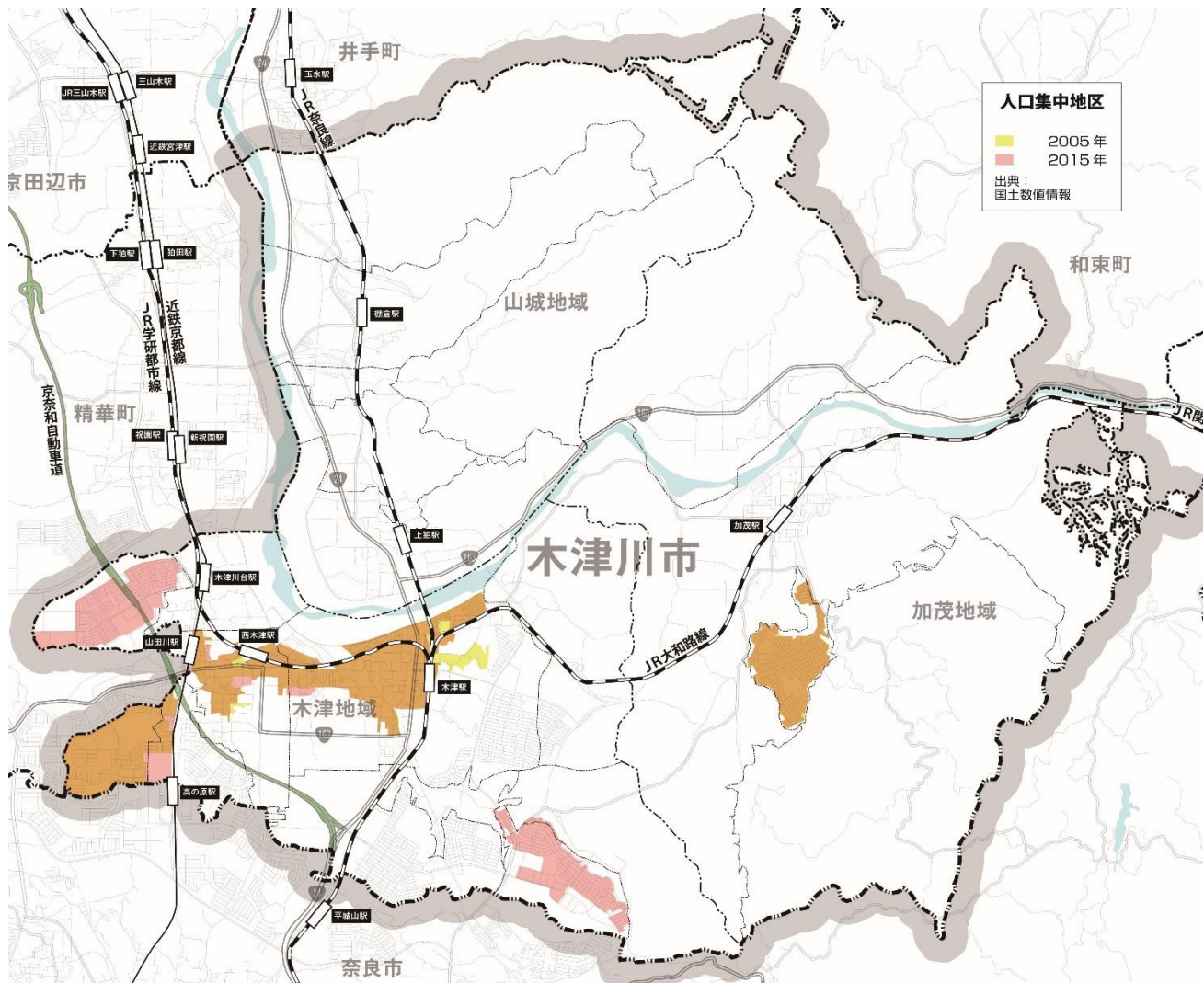


図 人口集中地区（D I D）の推移



(3) 主な施設立地

市役所、国や府の公共施設は、J R木津駅周辺に集中しています。

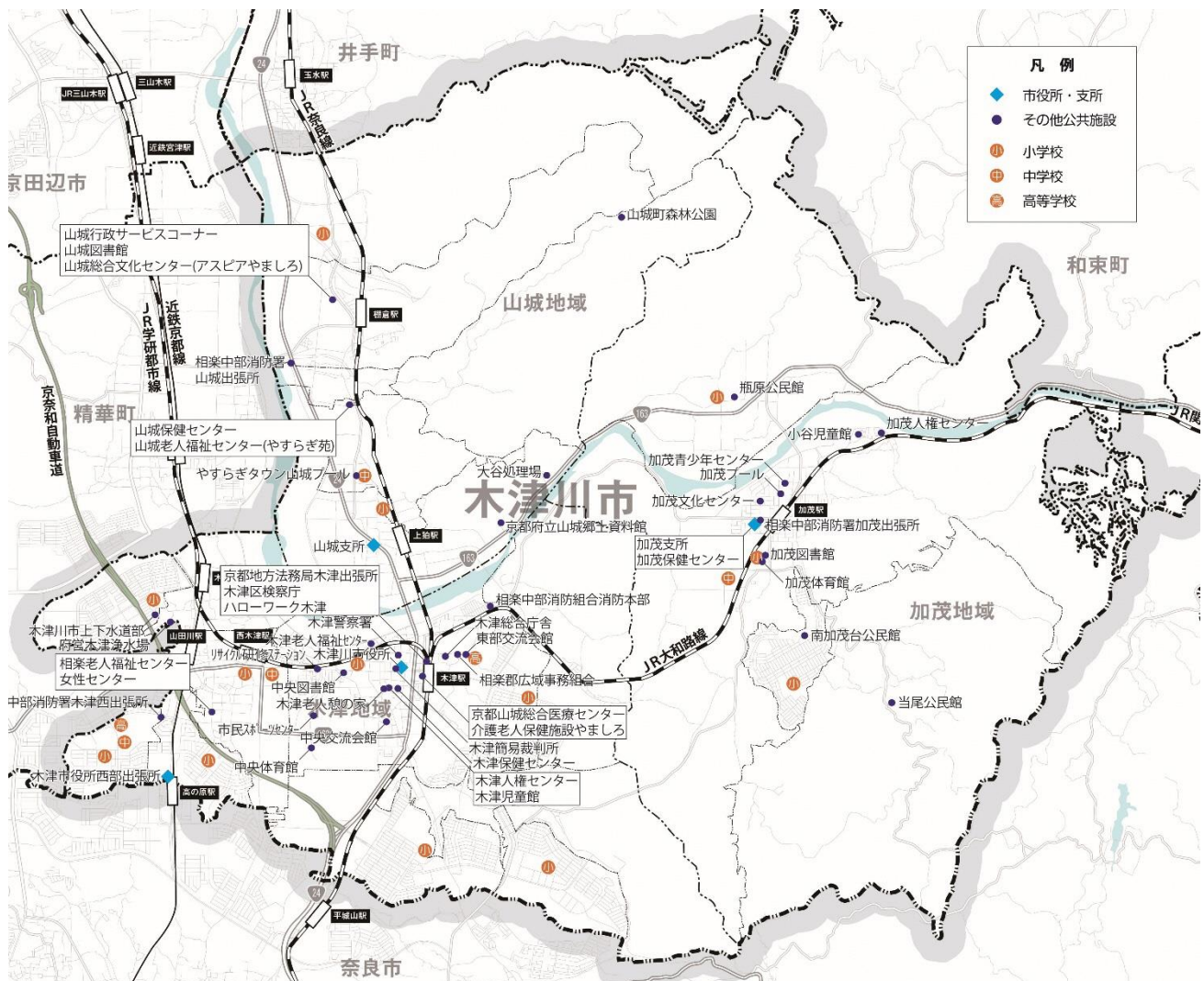


図 主な施設立地

2. 社会経済動向

(1) 地域の人口

①人口動態

木津川市が誕生した平成 19（2007）年 3 月 12 日の人口は、66,490 人でしたが、その後、学研地区の宅地開発などを背景とする人口流入により順調に増加を続け、平成 27（2015）年の人口は 72,840 人、平成 30（2018）年には 76,447 人となっています。全国的な人口減少傾向の中、本市の人口は今後も増加を続けますが、令和 15（2033）年の 80,344 人をピークとして減少に転じると見込まれます。一方、高齢化率は上昇を続け、令和 35（2053）年には 35.8%になると予想されます。

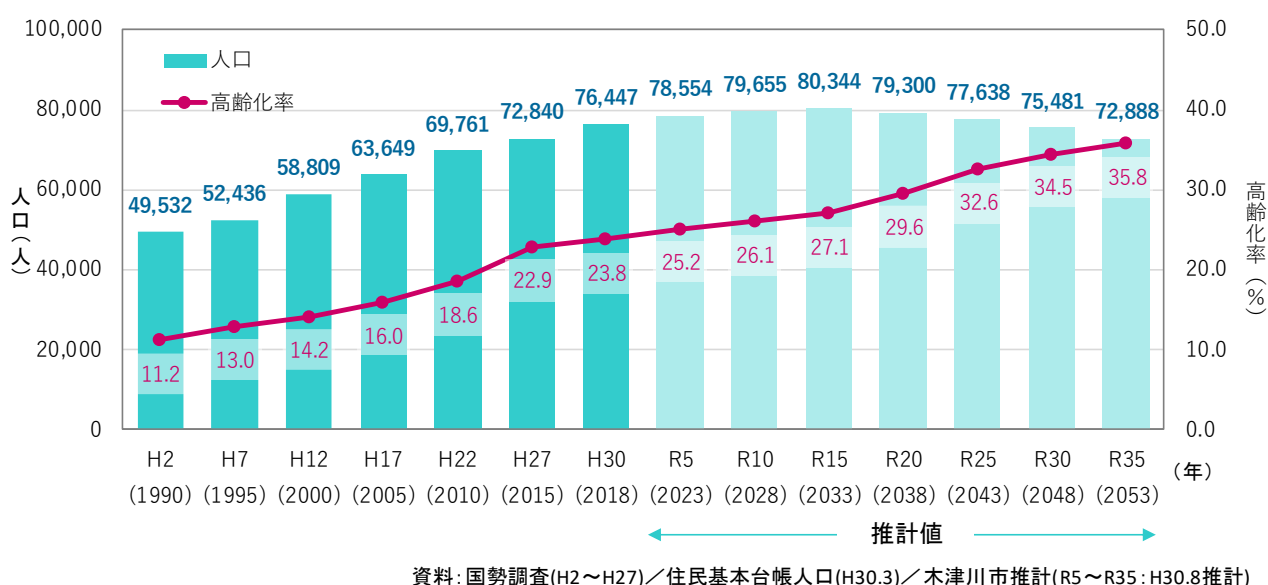


図 人口及び世帯数の推移

地域別人口をみると、将来人口は、木津地域では令和 20（2038）年頃まで人口増加が見込まれるのに対し、加茂地域と山城地域では今後も減少が続くなど、人口の地域偏在が予想されます。

高齢化率は、木津地域では 18.8%と低いのに対し、加茂地域では 38.5%、山城地域では 32.4%と高くなっています。

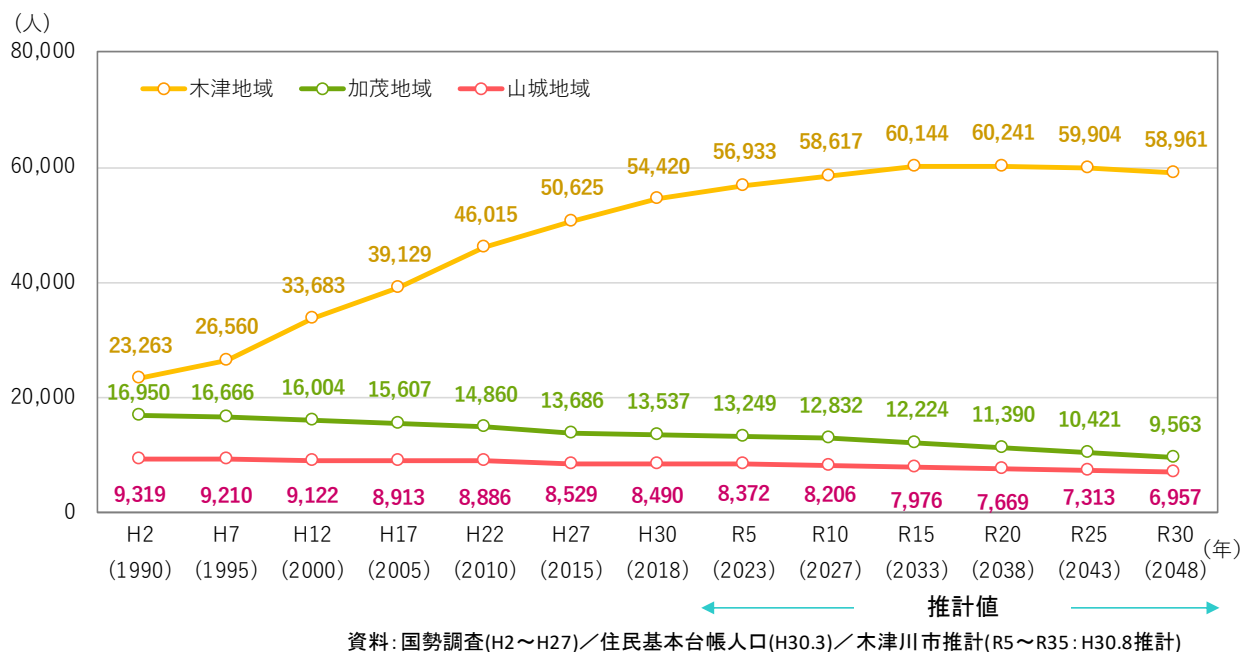


図 地域別人口の推移 (実績値と将来値)

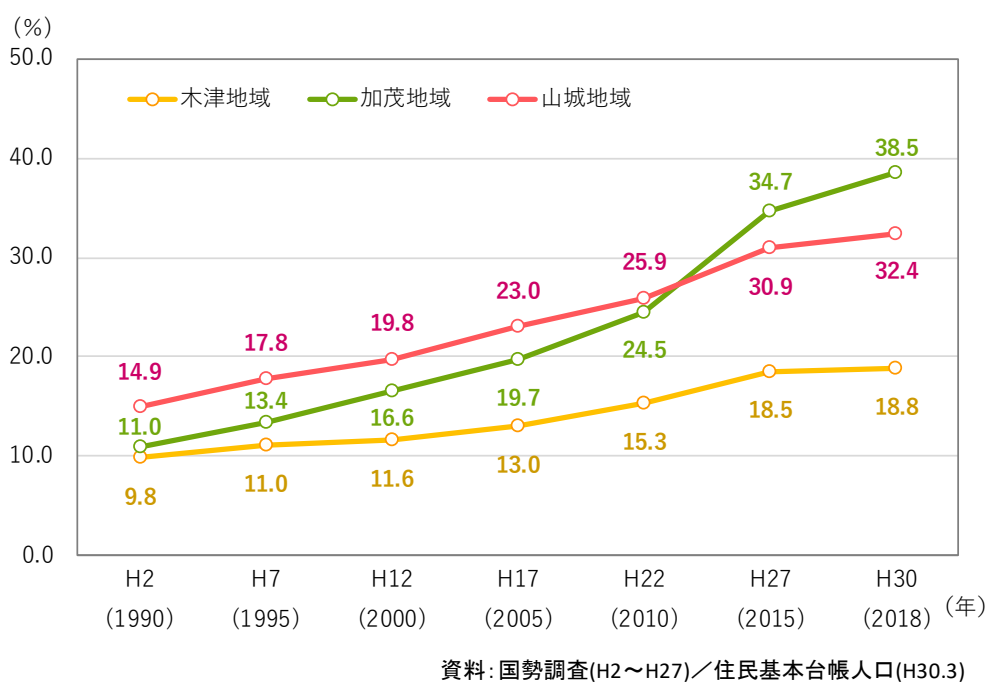
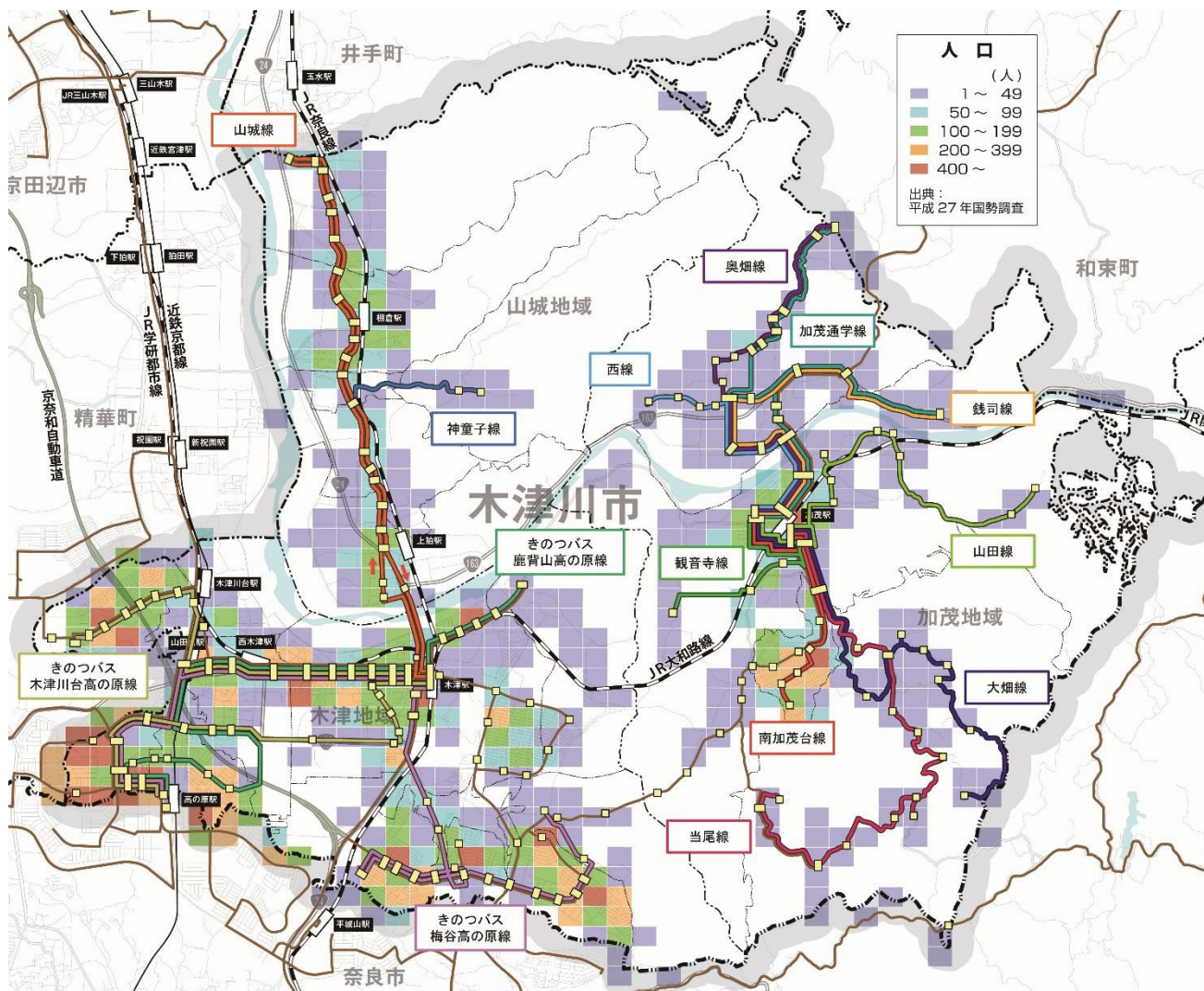
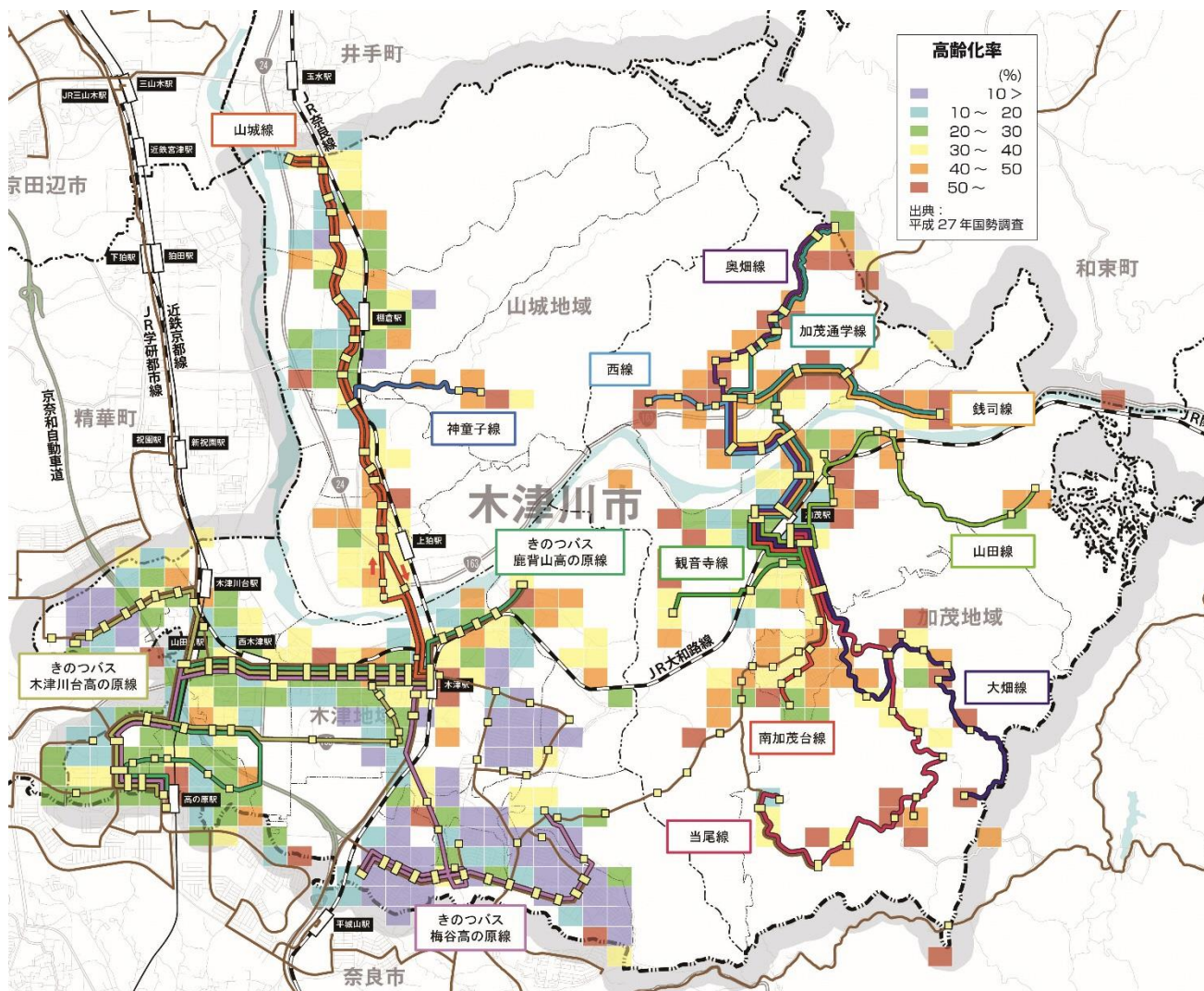


図 地域別高齢化率の推移



資料：国勢調査（平成 27（2015）年）

図 250mメッシュ毎の人口密度



資料：国勢調査（平成 27（2015）年）

図 250mメッシュ毎の高齢化率（65 歳以上人口比率）

(2) 産業

①事業所及び従業者数

就業人口は平成 7（1995）年から増加傾向にあり、この 20 年間で約 1.3 倍に増加していますが、総人口に占める割合は、人口の急激な増加により微減傾向にあり、平成 27（2015）年では 44.3%となっています。

産業別にみると、第 1 次産業は減少傾向、第 2 次産業は横ばい、第 3 次産業は増加傾向にあります。

卸売業・小売業が 516 事業所と最も多く、次いで医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業、建設業と続いています。関西文化学術研究都市の中核市であることから、他都市に比べ学術研究、専門・技術サービス業も多いのが特徴となっています。

産業別従業員数は、卸売業・小売業が 4,205 人と最も多く、次いで医療・福祉の 3,358 人となっています。

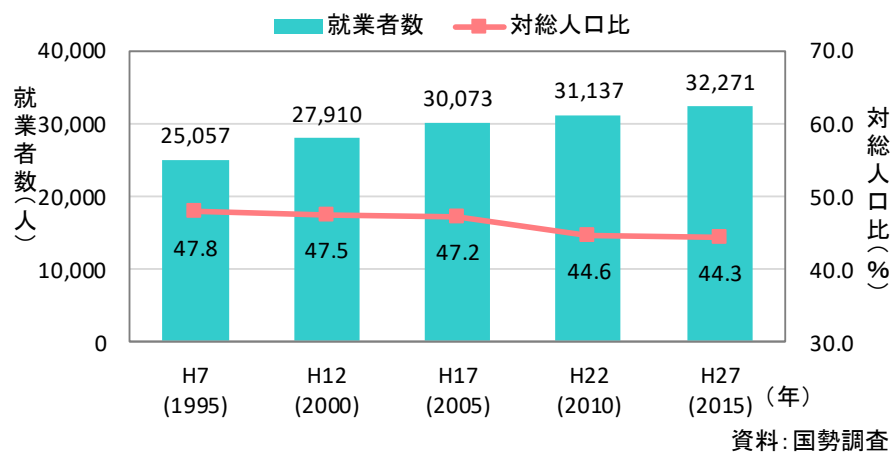
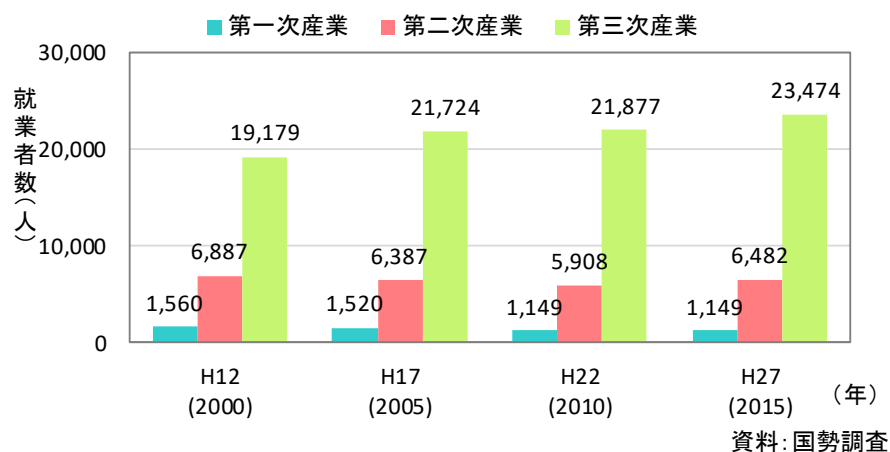
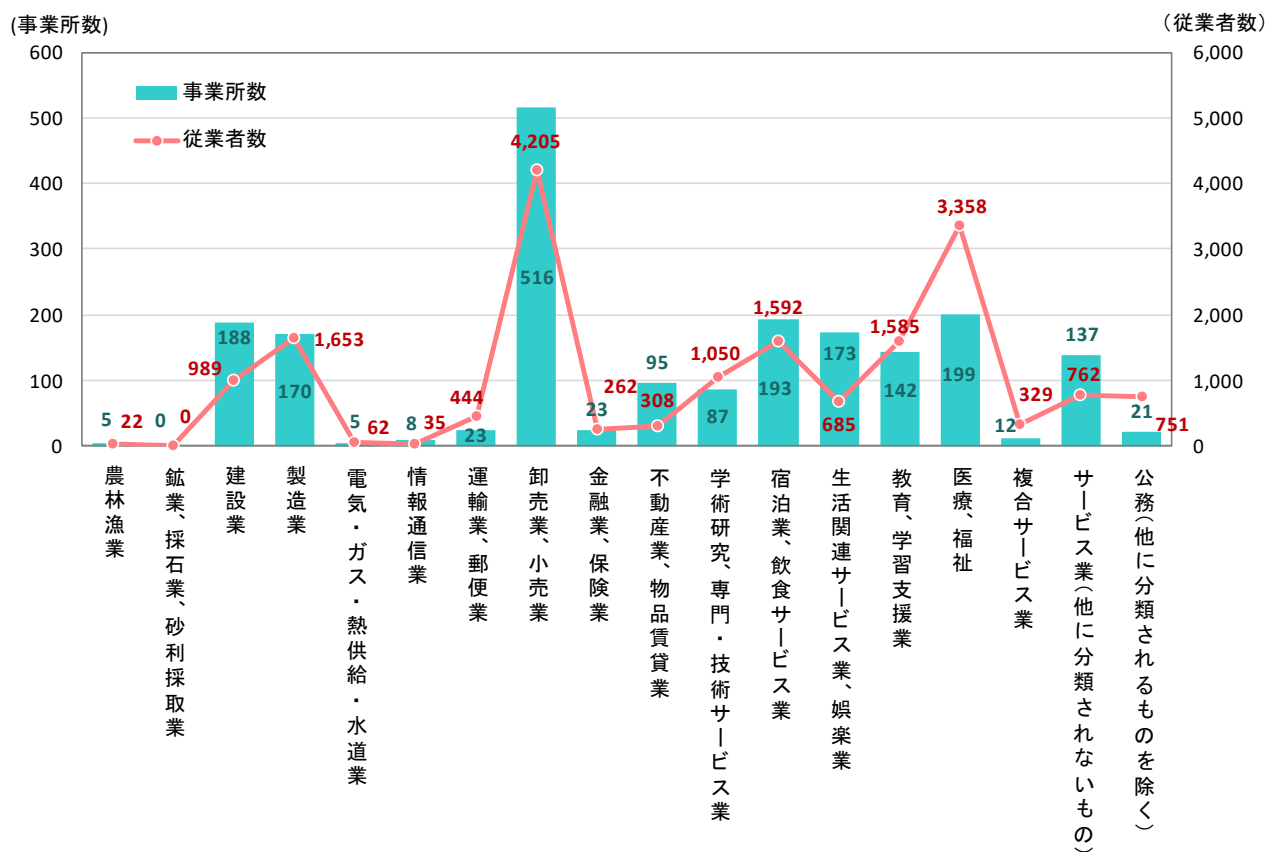


図 就業人口と対総人口比の推移



平成 12（2000）年及び平成 17（2005）年は、第 12 回改定（平成 19（2007）年 11 月改定）前の日本標準産業分類によるため、調査年間の単純比較はできない。

図 産業別就業人口の推移

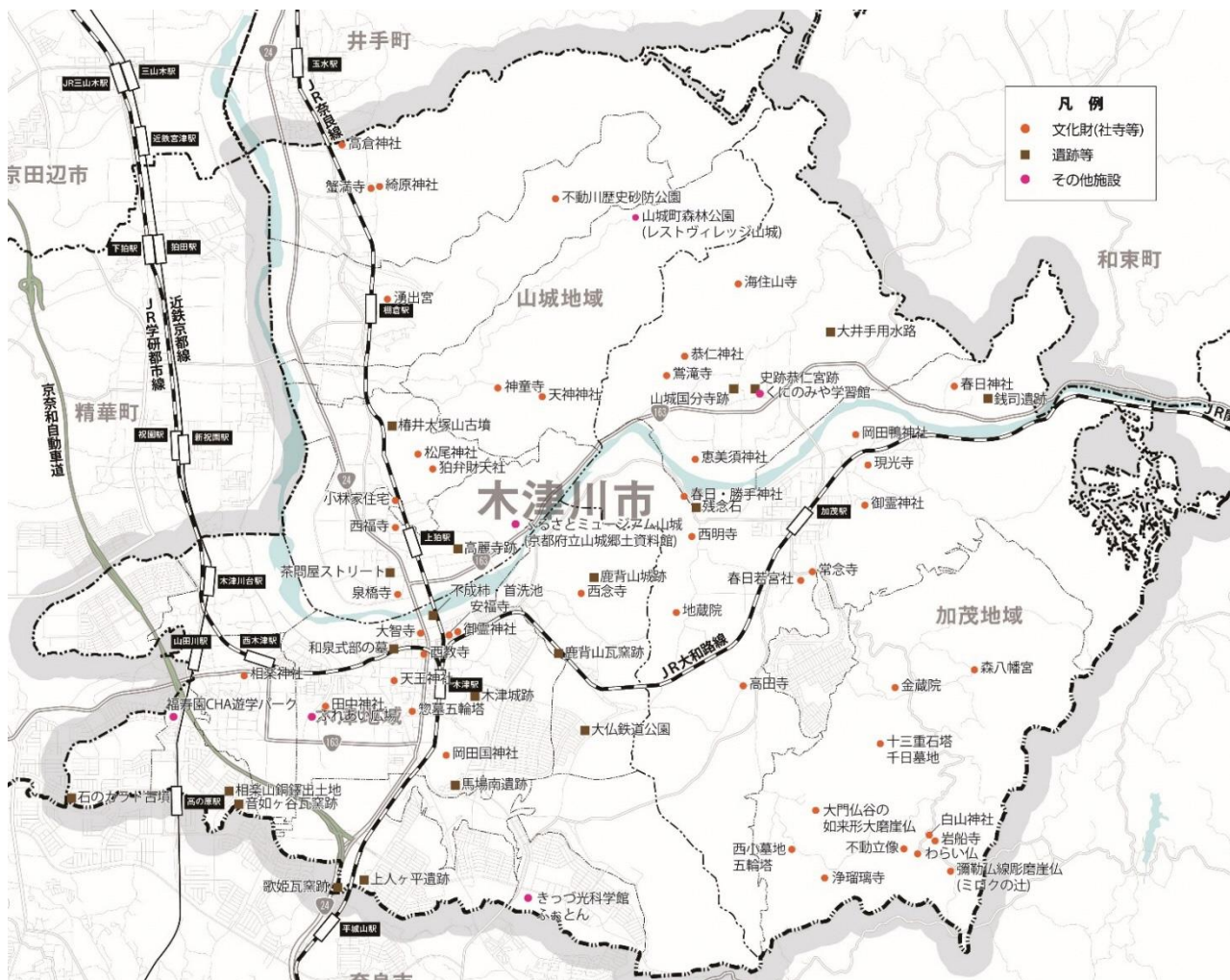


資料：平成26年経済センサス-基礎調査

図 産業別事業所数・従業員数の推移

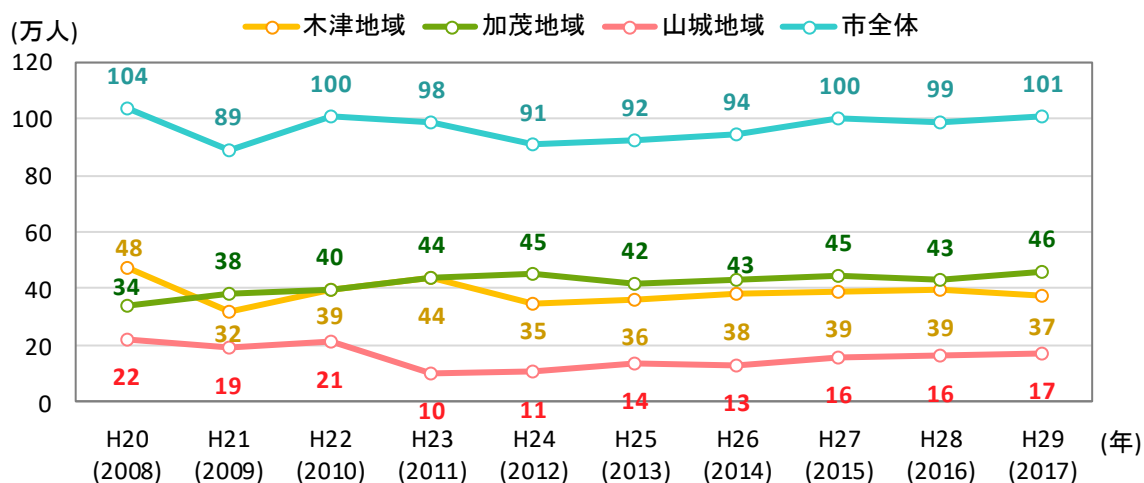
②観光動向

市内には、歴史的価値の高い史跡や神社仏閣、豊かな自然環境など、魅力的な観光資源を多く有していることから、年間観光入込客数は、90 万人から 100 万人と高い水準で推移しています。浄瑠璃寺や岩船寺、恭仁宮跡のある加茂地域の入込客数が最も多くなっています。



資料：木津川市提供資料

図 木津川市の主な観光資源



資料：京都府統計書

図 観光入込客数の推移

(3) 交通事故発生状況

平成 29 (2017) 年の交通事故発生件数は 98 件、死傷者数は 122 人 (死者 1 人、負傷者 121 人) となっており、平成 25 (2013) 年から平成 27 (2015) 年にかけて一旦増加したものの、その後は減少傾向にあります。

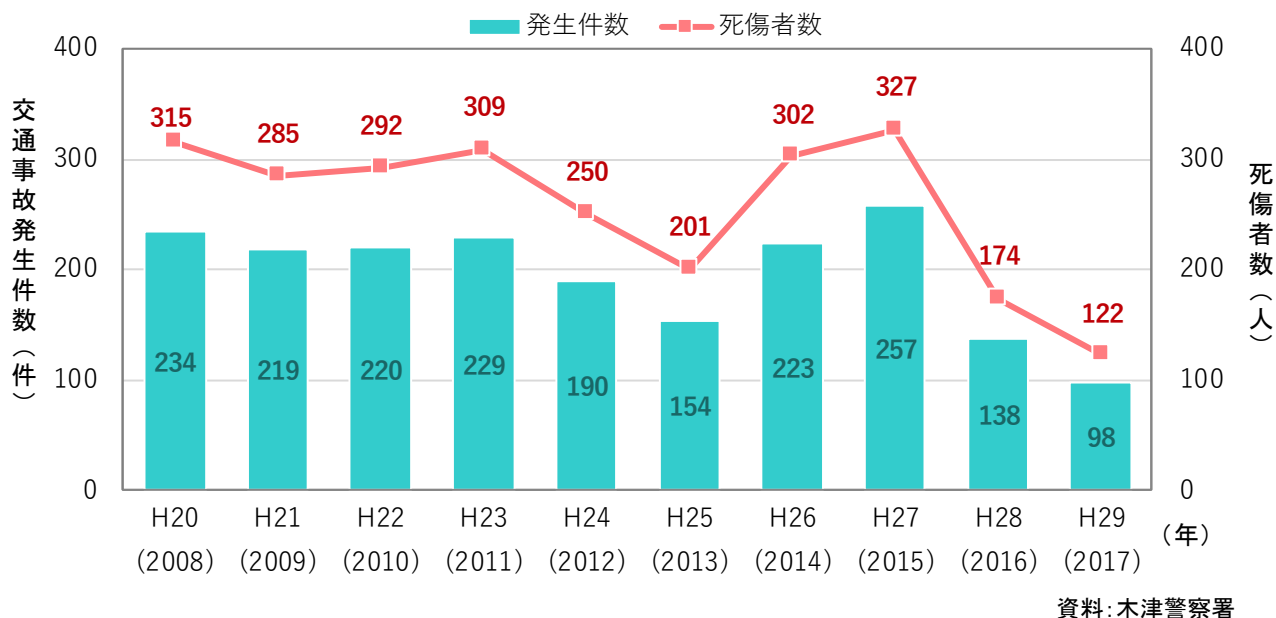
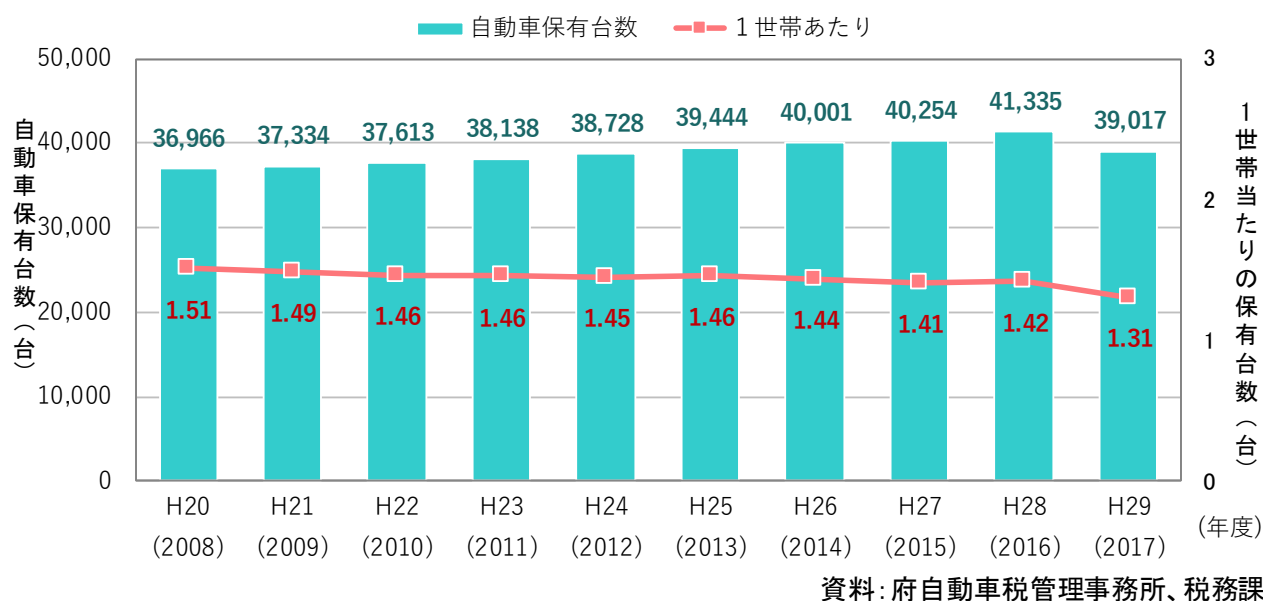


図 交通事故発生件数の推移

(4) 自動車及び運転免許の保有状況

① 自動車保有状況

平成 29 (2017) 年の自動車保有台数は 39,017 台で、平成 28 (2016) 年まで増加傾向にありましたが、減少に転じています。また、1 世帯当たりでも 1.31 台と前年に比べ減少しています。



※世帯数及び保有車両台数は 3 月末現在。保有車両台数は登録台数から原動機付自転車を除いた数値

図 保有車両台数の推移

②運転免許保有状況

平成 29（2017）年の市内の自動車運転免許保有者数は 50,192 人で、人口増加に伴いわずかながらも増加傾向にあります。うち、65 歳以上高齢保有者の割合は年々増加傾向で、平成 29（2017）年には、22.0%となっています。また、65 歳以上高齢者の保有率も年々増加しており、平成 29（2017）年には 60.8%となっています。

市では、平成 19（2007）年に「交通安全都市宣言のまち」を決議し、交通安全の普及、啓発に努めるとともに、近年増加する高齢者の運転による交通事故の抑制に向けて、高齢者運転免許自主返納の支援を行っており、運転免許自主返納制度の利用者は増加しています。

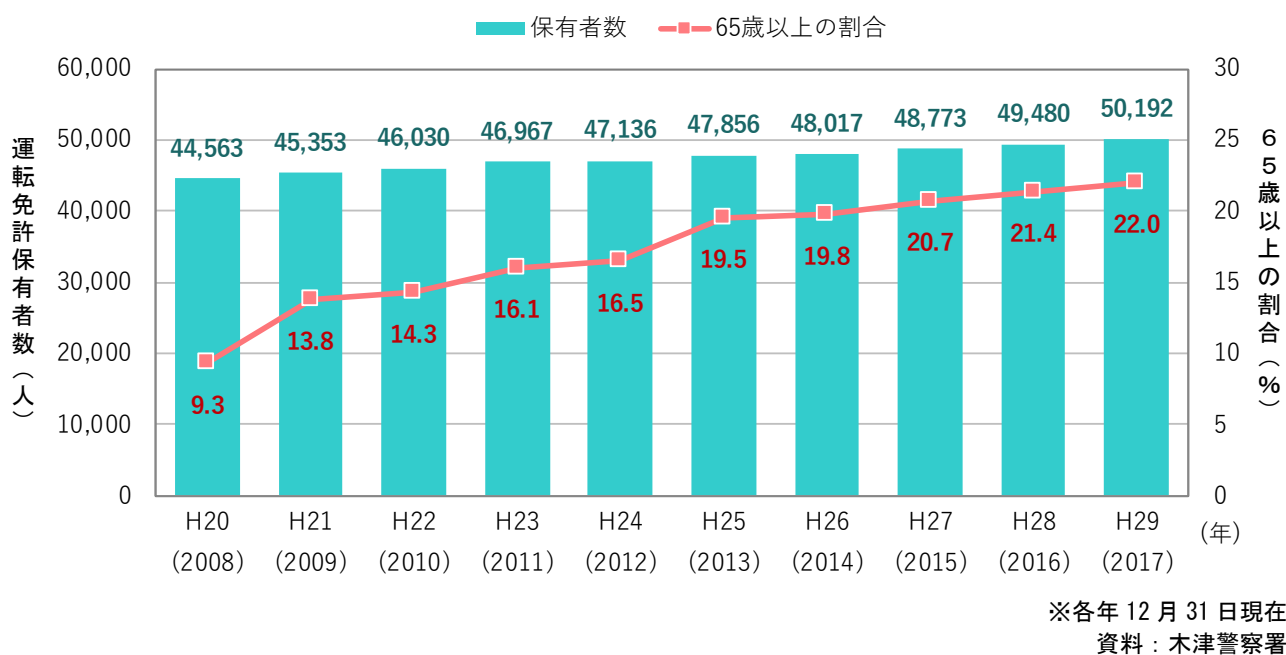
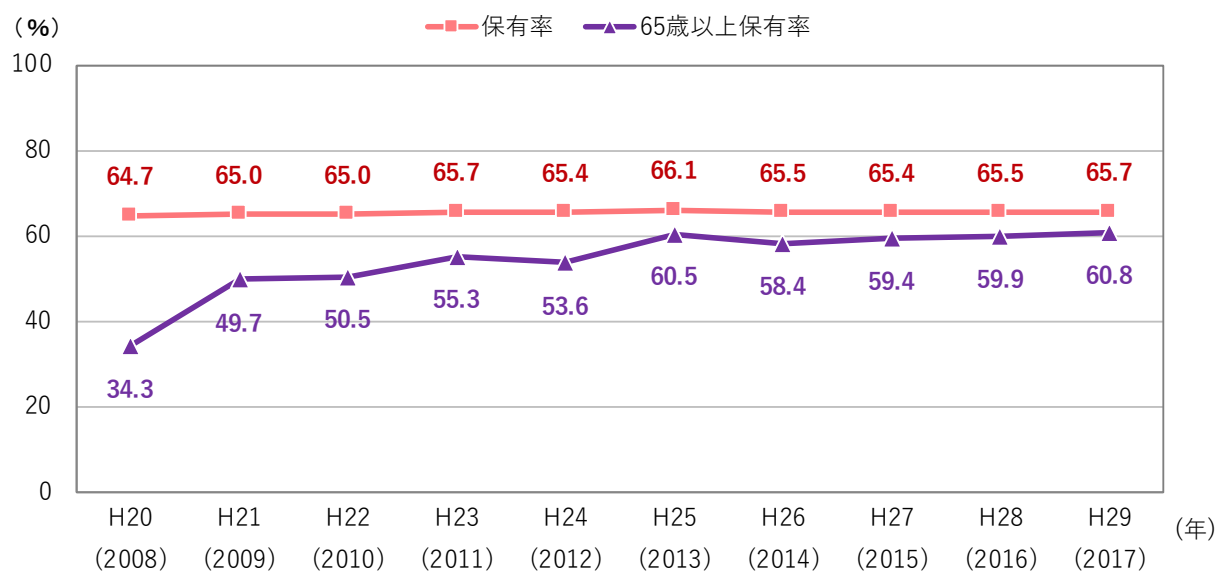
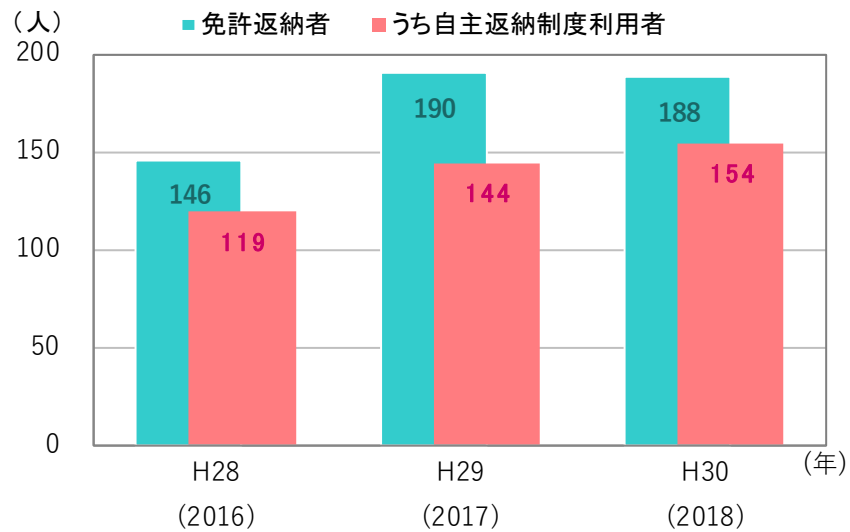


図 自動車運転免許保有者数の推移



※運転免許保有者数は各年 12 月 31 日現在、人口は年度末現在

図 自動車運転免許保有率の推移



資料：学研企画課

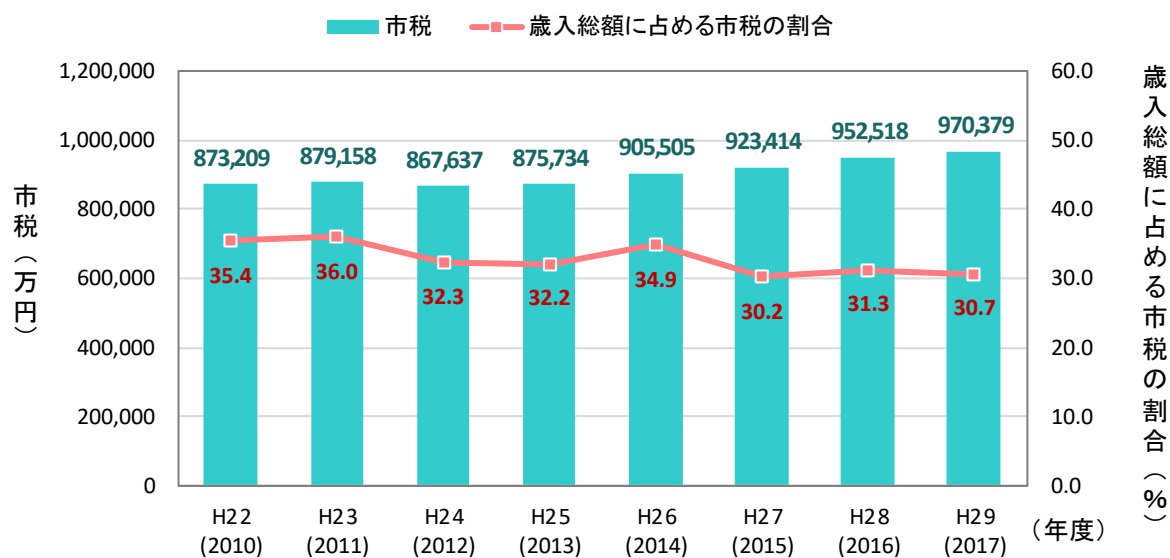
図 運転免許自主返納者数の推移

表 木津川市高齢者運転免許証自主返納支援事業

目 的	高齢者の運転免許証の自主返納を促進し、高齢者の運転による交通事故の抑止を目指す
支援内容	木津川市コミュニティバス 1 日フリー乗車券 10 枚の交付 運転経歴証明書（京都府）

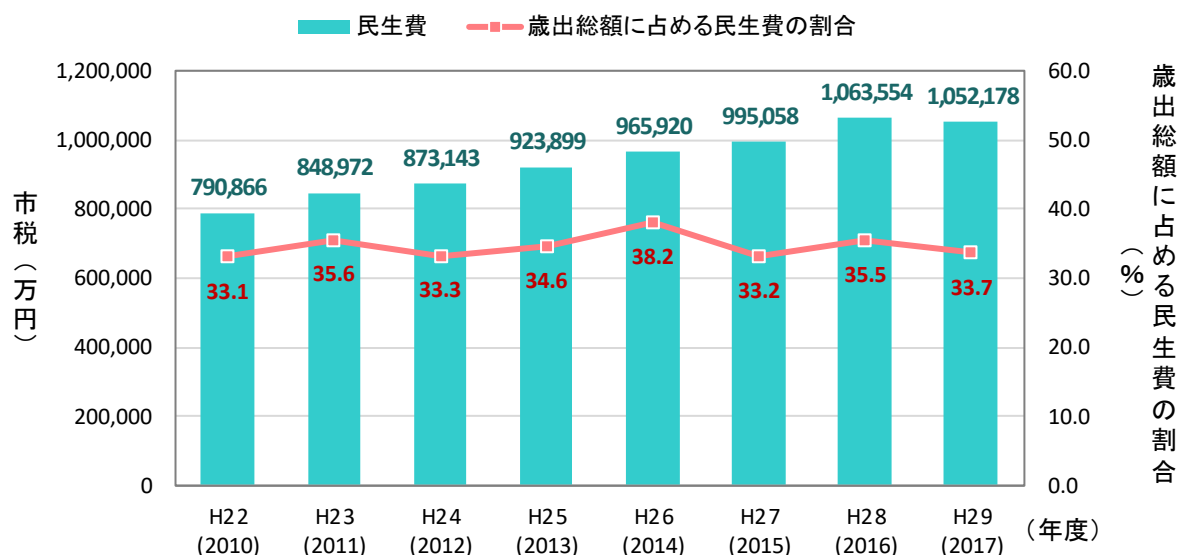
3. 財政基盤の状況

歳入額に占める市税の割合は概ね減少傾向にある一方、国の社会保障関係費にあたる民生費は平成 29（2017）年には歳出額の 33.7%を占めます。令和 2（2020）年度には普通交付税合併算定替の特別措置が終了し、今後、人口減少や高齢化の進行により、市税の減少、民生費のさらなる増加が見込まれ、財政状況がますます厳しくなることが予想されます。



資料：財政課

図 市税の推移



資料：財政課

図 民生費の推移

4. 日常移動の状況

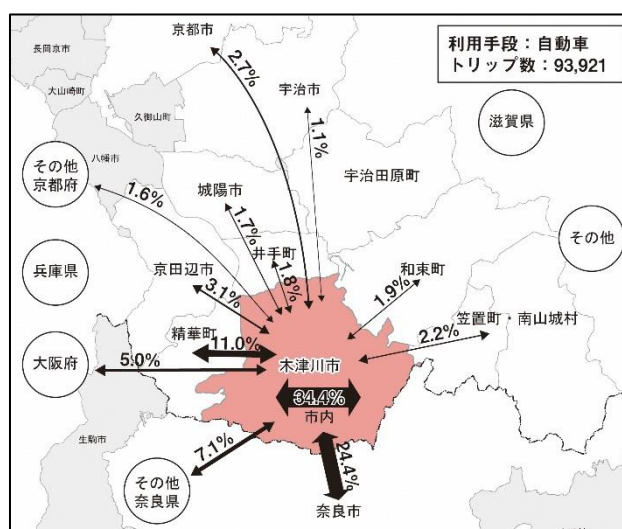
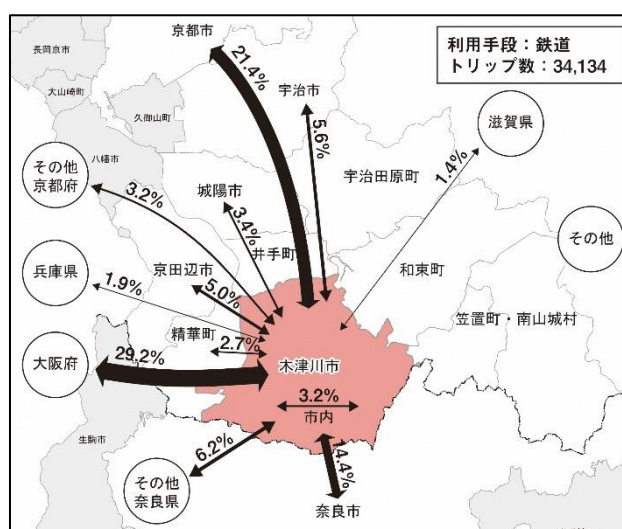
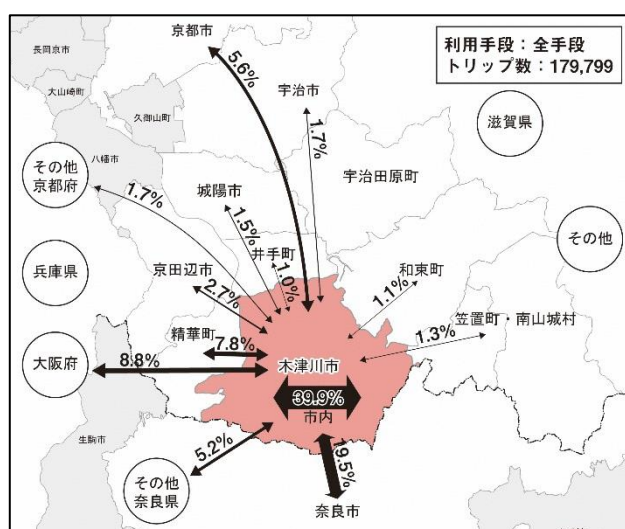
(1) 周辺地域間の移動状況

本市の人の動きをみると、市内で完結する移動が最も多く（対象トリップの 39.9%）、市外への移動は、奈良市（19.5%）、大阪府（8.8%）、精華町（7.8%）の順に多くなっています。

鉄道での移動は、ＪＲや近鉄で直接アクセス可能な大阪府（29.2%）、京都市（21.4%）、奈良市（14.4%）との移動が多くなっています

バスでの移動は、市内（40.2%）が最も多く、次いで奈良市（33.3%）の順となっています。

自動車での移動は、市内（34.4%）が最も多く、次いで、奈良市（24.4%）、精華町（11.0%）の順となっています。



1%以上のもののみを矢印表示

資料：パーソントリップ調査（平成 22（2010）年）

図 地域間移動の状況（平日）

(2) 通勤・通学の流動量

① 通勤

木津川市民で市内に通勤する人は 10,287 人であり、また市外へ通勤する市民は 20,891 人で、奈良市、大阪府のほか、京都市への通勤が多くなっています。

一方、市外からの通勤者は 7,446 人で、隣接の奈良市のほか、精華町からの通勤者が多くなっています。

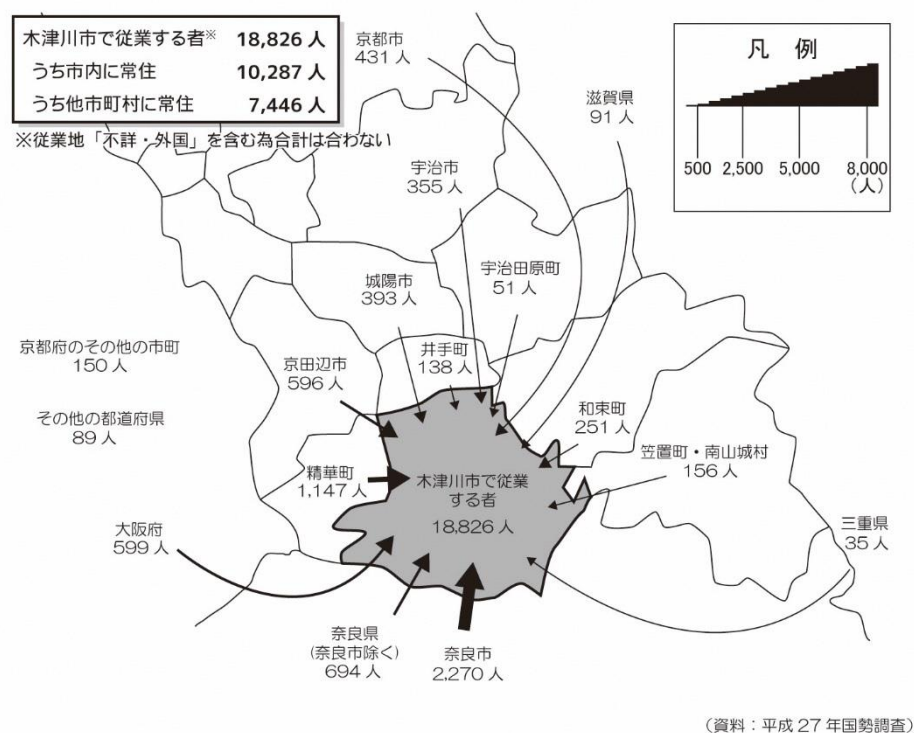
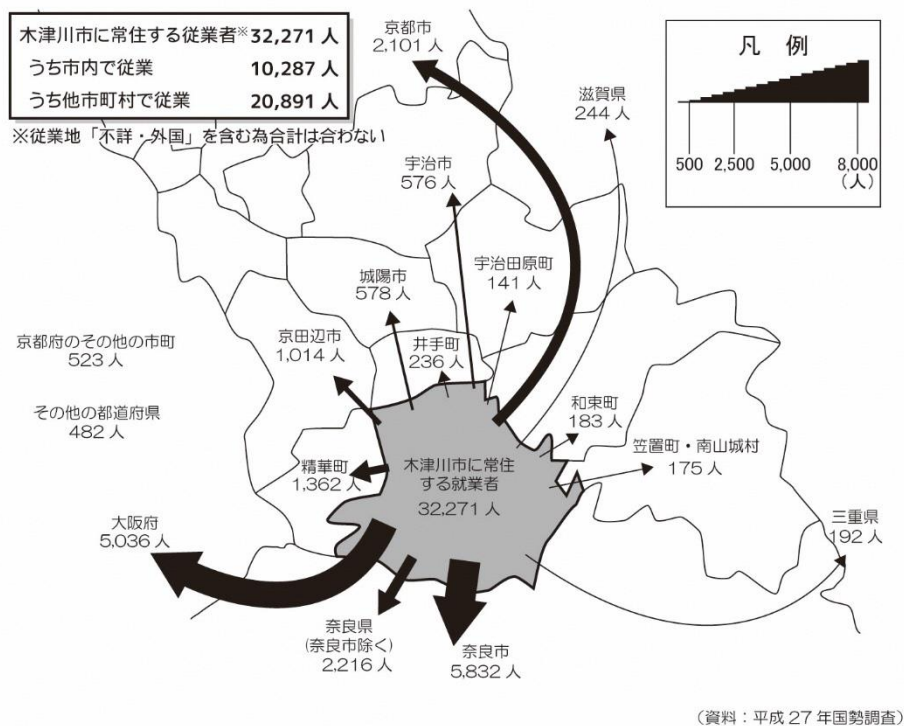
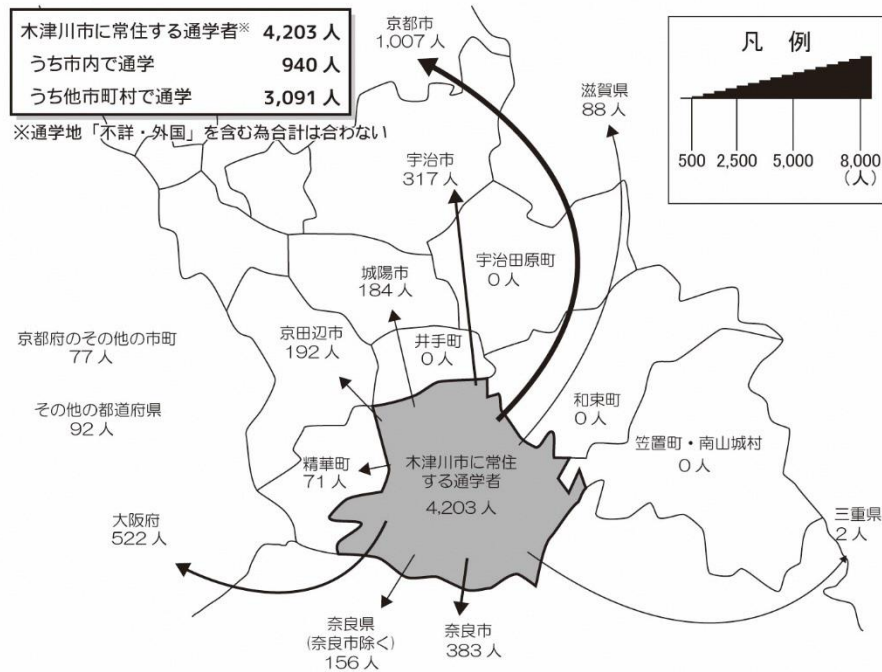


図 木津川市の通勤流動 (15 歳以上)

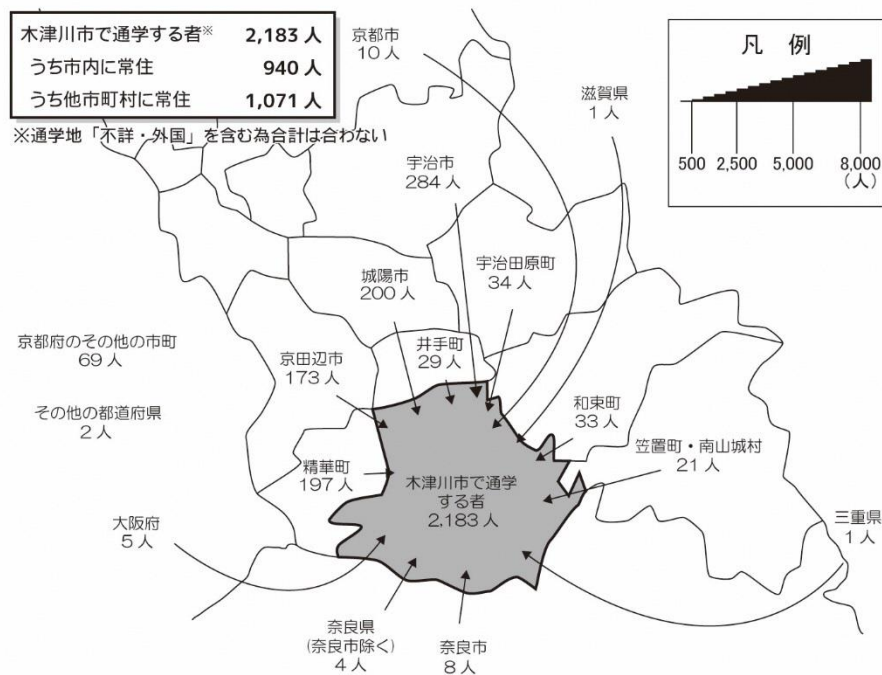
②通学

木津川市民で市内に通学する人は 940 人であり、また市外へ通学する市民は 3,091 人で、京都市のほか大阪府、奈良市への通学者が多くなっています。

一方、市外からの通学者は 1,071 人で、隣接の宇治市、城陽市のほか、隣接の精華町や京田辺市からの通学者が多くなっています。



(資料：平成 27 年国勢調査)



(資料：平成 27 年国勢調査)

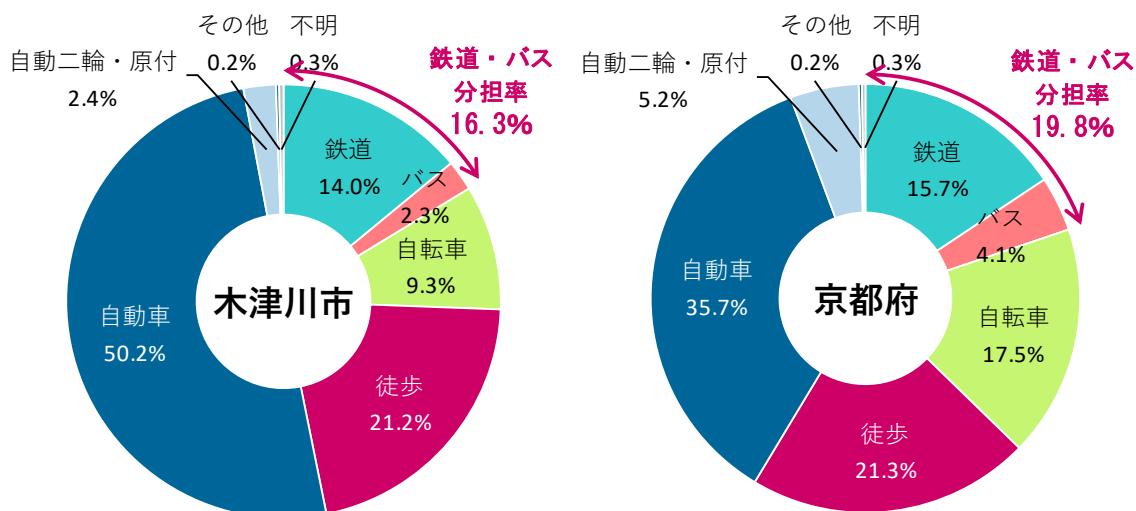
図 木津川市の通学流動（15 歳以上）

(3) 交通手段別の移動状況

①全目的（平日）

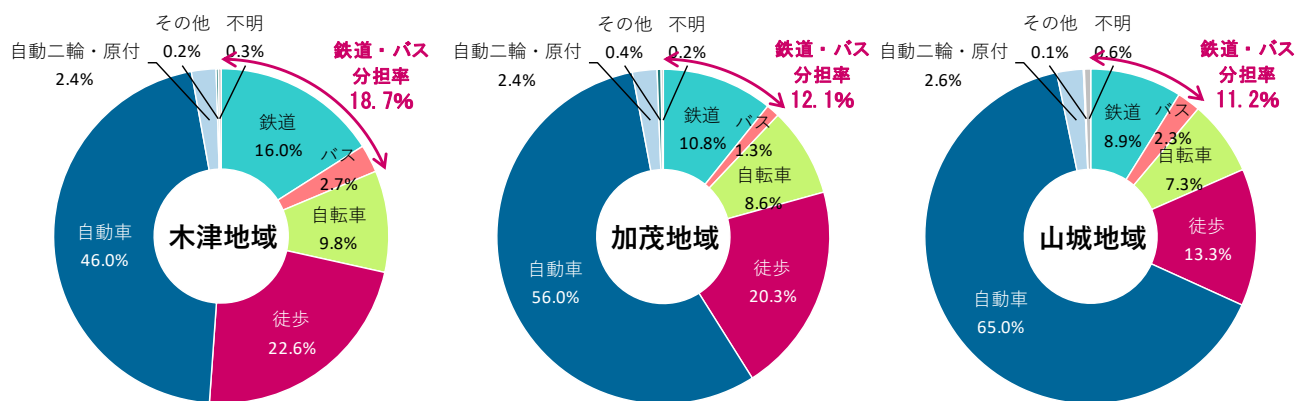
本市の代表交通手段をみると、自動車の分担率が 50.2%と半数を超え、京都府全体の 35.7%より高くなっています。一方、鉄道・バスの分担率は 16.3%で、京都府全体の 19.8%と比べて低くなっています。

地域別にみると、木津地域では他の地域に比べ鉄道の分担率が 16.0%と高く、加茂地域や山城地域では自動車の分担率が高く、それぞれ 65.0%、56.0%となっています



資料：パーソントリップ調査（平成 22（2010）年）

図 代表交通手段（平日／全目的）



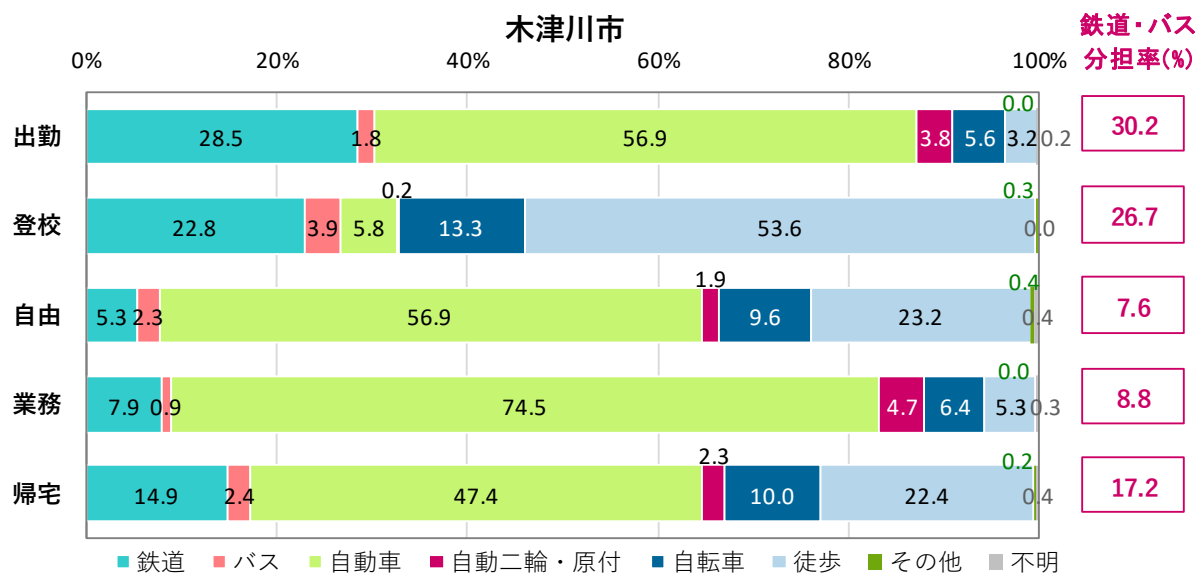
資料：パーソントリップ調査（平成 22（2010）年）

図 地域別代表交通手段（平日／全目的）

②目的別（平日）

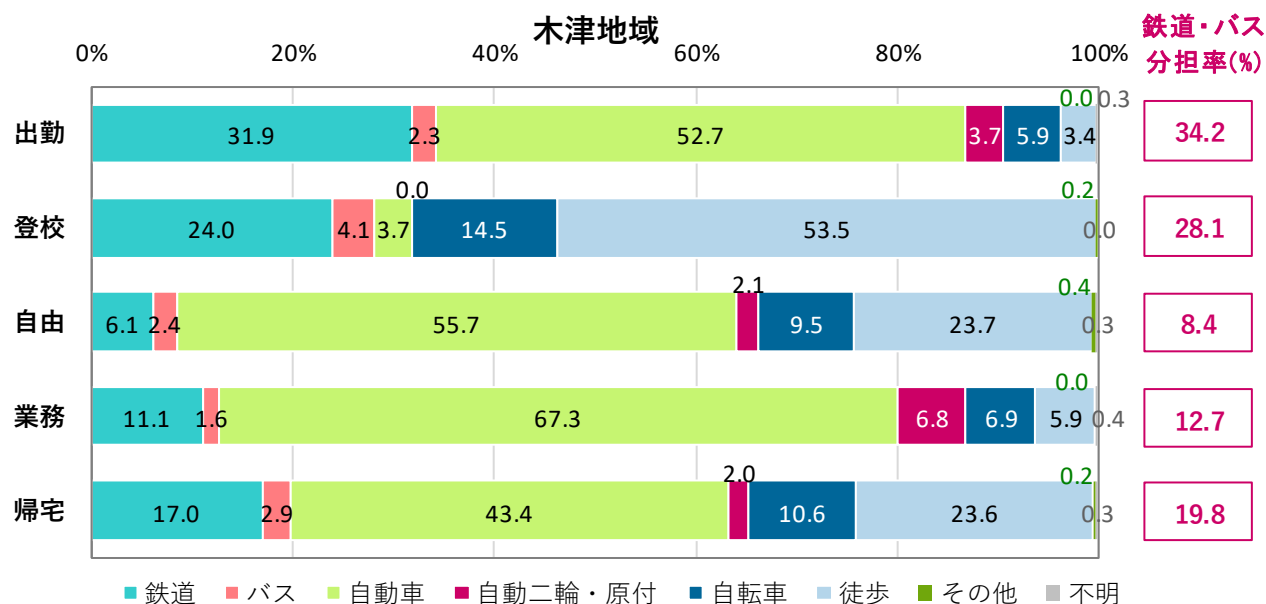
登校を除き自動車の分担率が最も多く、出勤、自由、業務では5割を超えています。

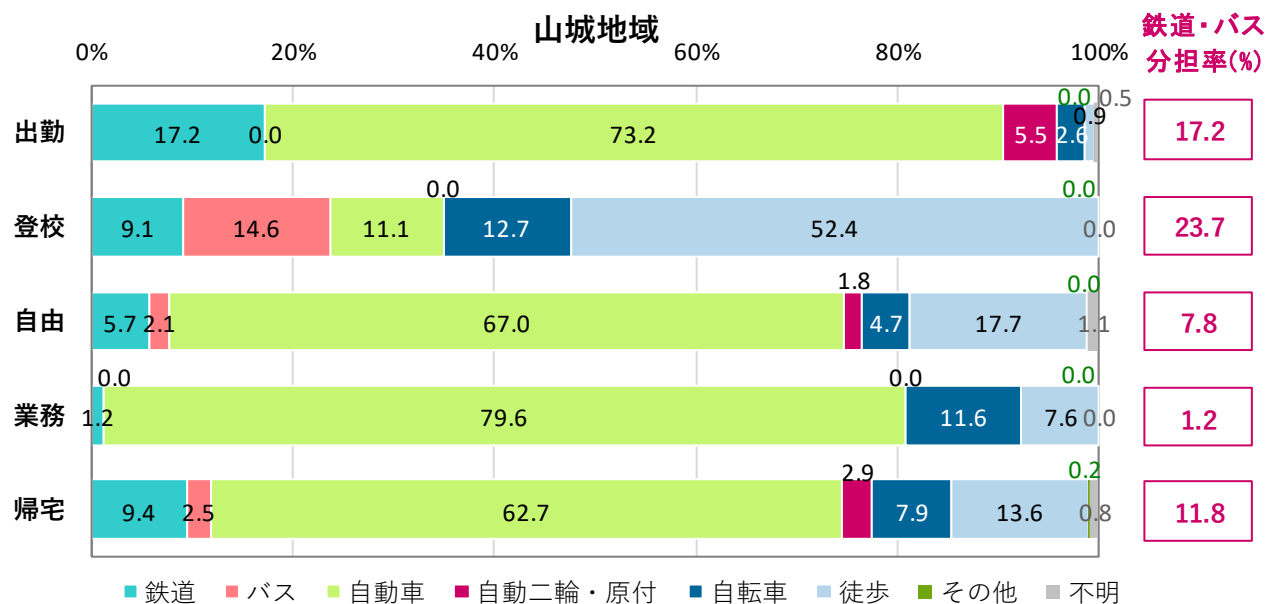
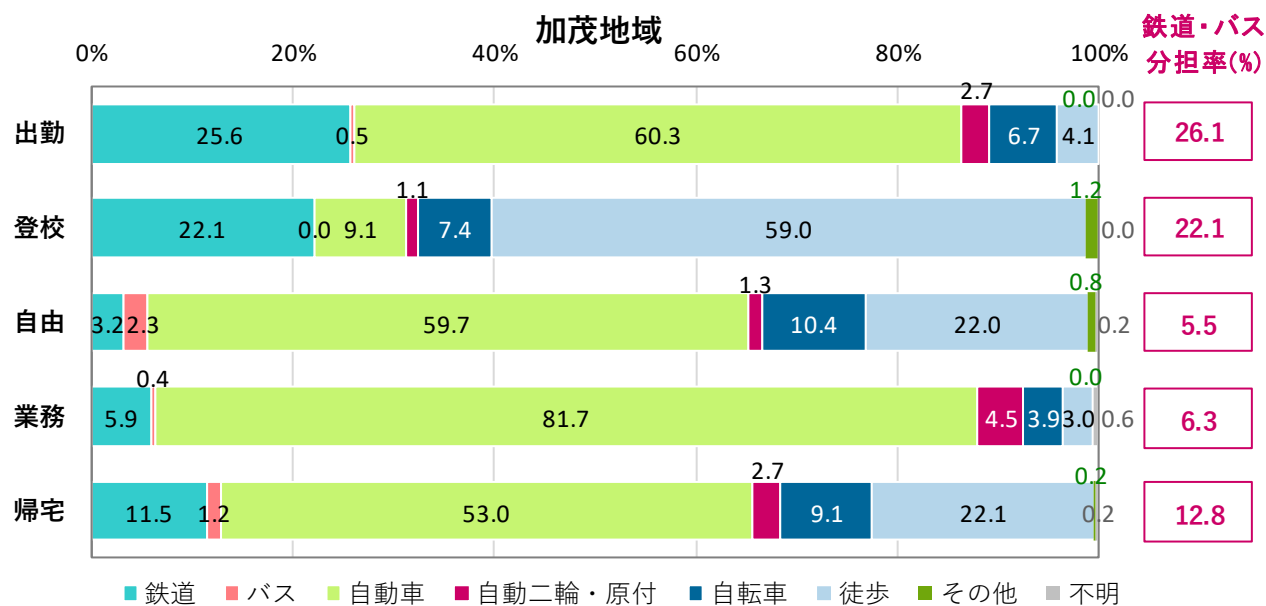
鉄道・バスの分担率は、出勤や登校では3割前後ある一方、自由や業務では1割未満と低くなっています。



資料：パーソントリップ調査（平成22（2010）年）

図 目的別代表交通手段（平日）





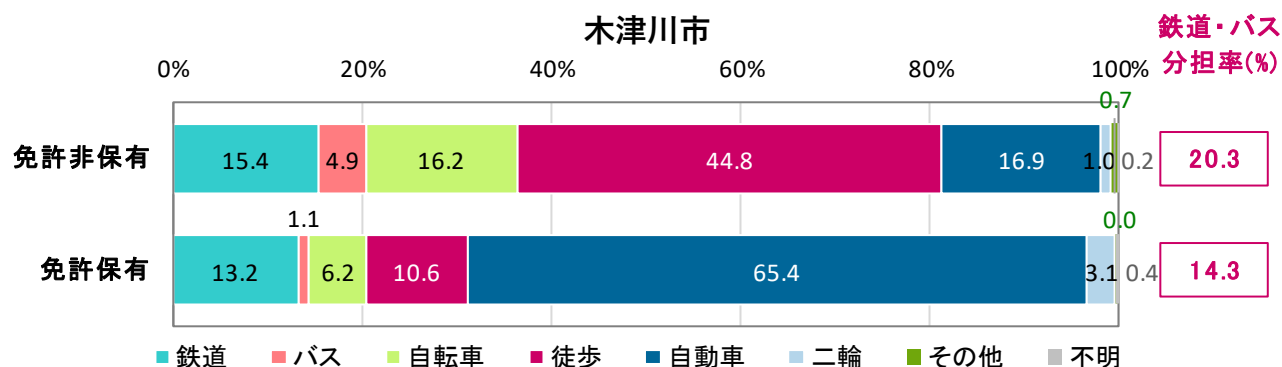
資料：パーソントリップ調査（平成22（2010）年）

図 地域別目的別代表交通手段（平日）

③自動車運転免許保有の有無別（平日）

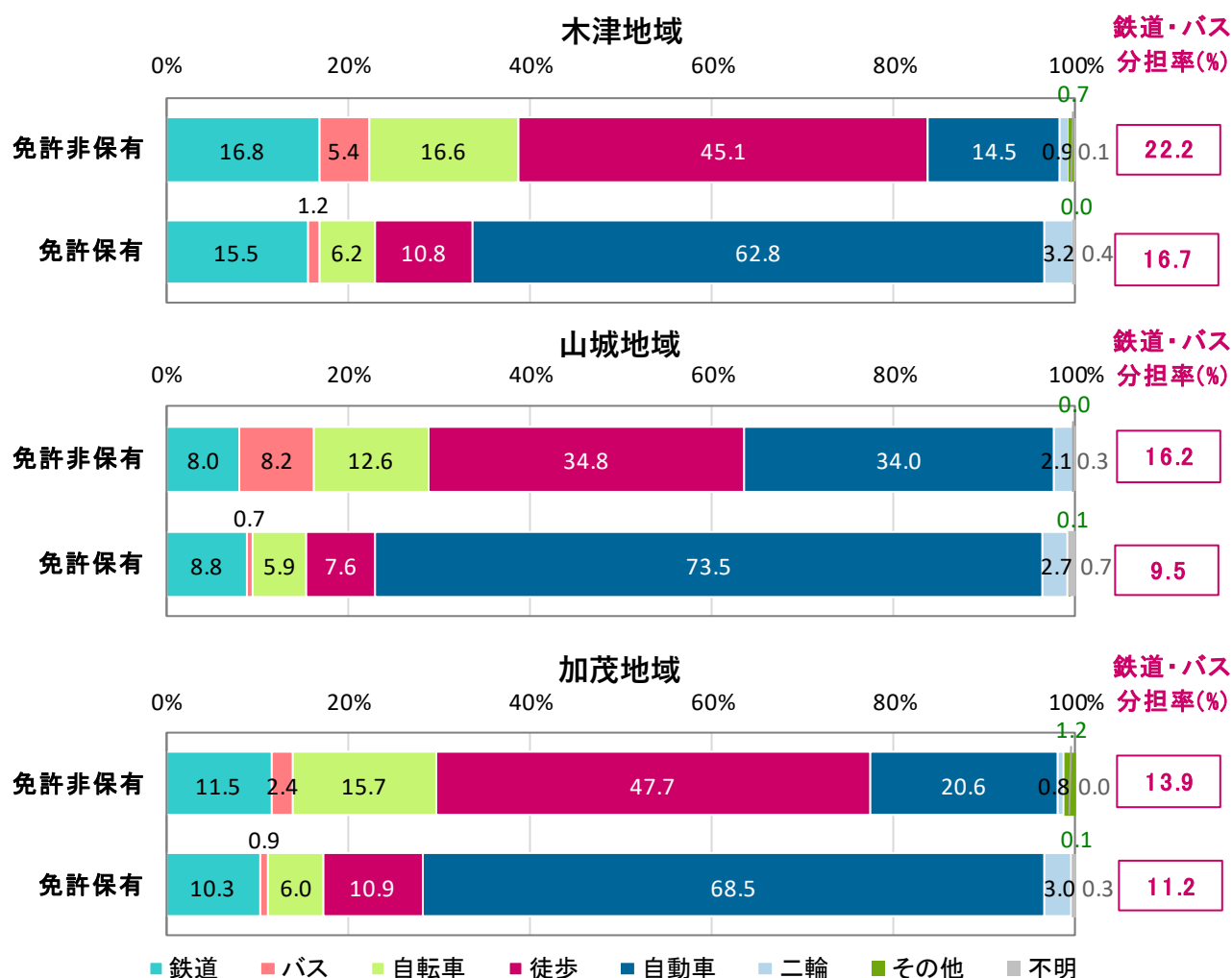
免許保有者では自動車の分担率が約 65%を占めるのに対し、非保有者では徒歩が約 45%と高くなっています。

鉄道・バスの分担率は、免許保有者では約 14%、非保有者では約 20%となっています。



資料：パーソントリップ調査（平成 22（2010）年）

図 自動車運転免許証保有の有無別の代表交通手段（平日／全目的）



資料：パーソントリップ調査（平成 22（2010）年）

図 地域別自動車運転免許証保有の有無別の代表交通手段（平日／全目的）

5. 交通の実態

(1) 道路交通体系

①整備状況

京都・奈良・和歌山を結ぶ高規格道路である京奈和自動車道の一部を構成する京奈道路は木津 I C から城陽までの全長 17 k m が整備されていましたが、平成 29 (2017) 年 4 月に新名神高速道路の城陽 J C T ～八幡京田辺 J C T の 3.5 k m が開通したことで、京奈道路、第二京阪道路を通じて、名神高速道路、京都縦貫自動車道へと直結しました。

市域では、国道 24 号が地域の南北軸、国道 163 号が東西軸としての役割を担っており、木津川市と京都・奈良方面、大阪・三重方面を結ぶ広域幹線道路として位置づけられています。

また、国道 163 号木津東バイパスの延長 0.6 k m と都市計画道路東中央線の 1.4 k m が令和元 (2019) 年度中に開通予定となっており、国道 24 号と国道 163 号の重複区間の混雑緩和が期待されます。

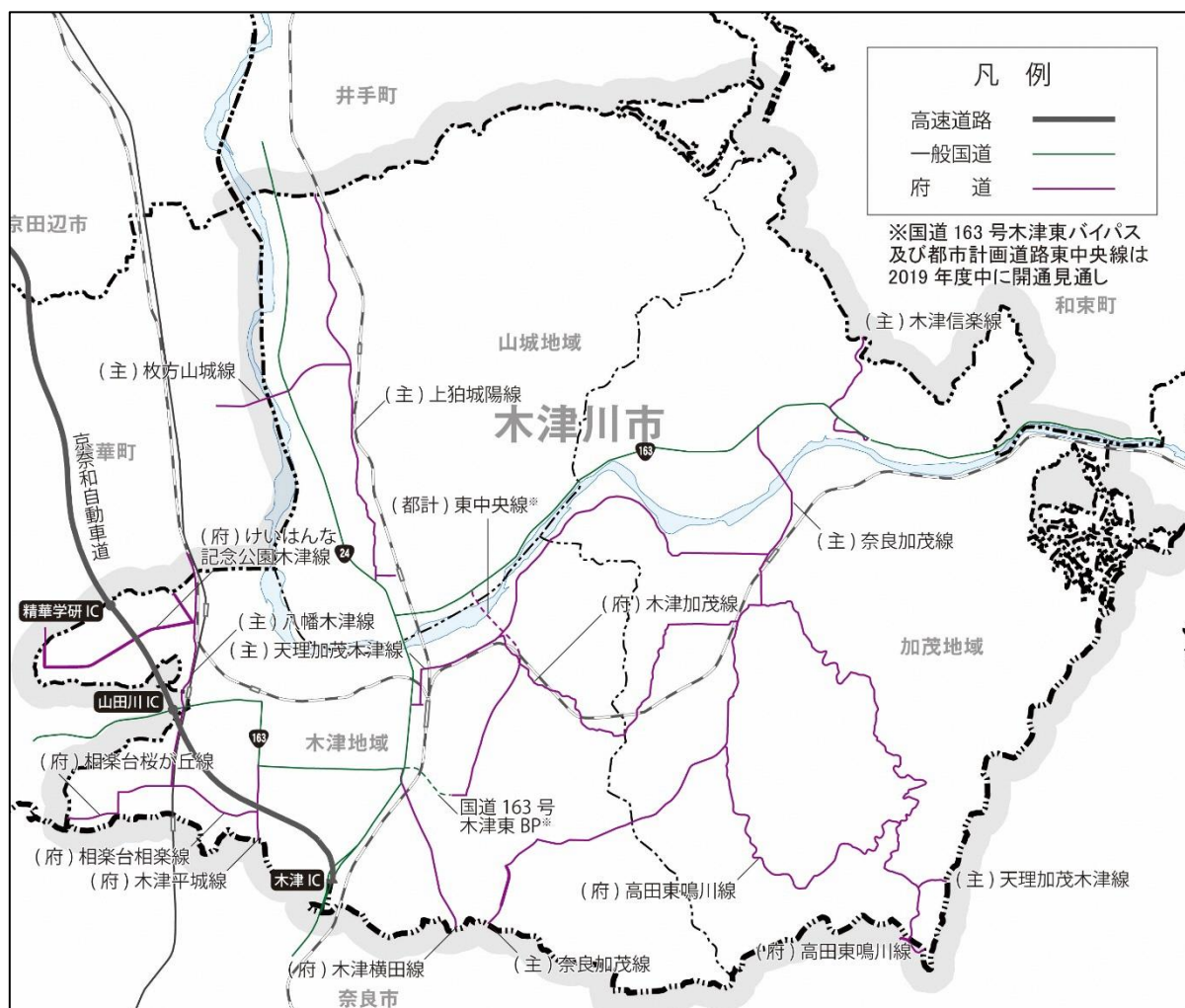
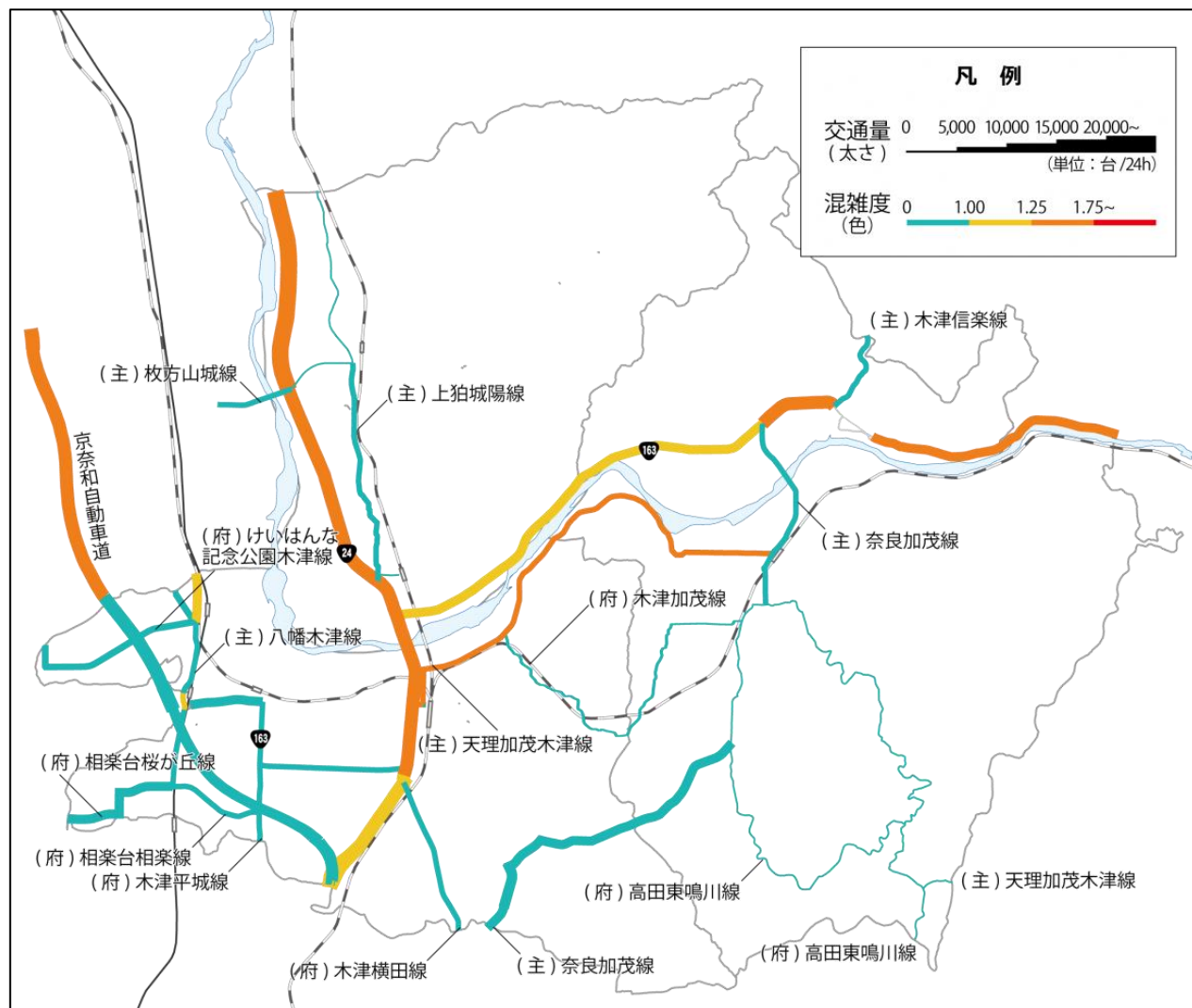


図 木津川市の道路網

②混雑状況

主要幹線である国道 24 号、国道 163 号は交通量も多く混雑しており、また、アクセス道路である（主）八幡木津線及び（主）天理加茂木津線にも混雑がみられます。



資料：平成 27（2015）年度道路・街路交通情勢調査

【道路の混雑度について】

- 1.00 未満：昼間 12 時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
- 1.00～1.25：昼間 12 時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が 1～2 時間（ピーク時間）ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
- 1.25～1.75：ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過渡状態と考えられる。
- 1.75 以上：慢性的混雑状態を呈する。

図 交通量・混雑度

(2) 公共交通体系

鉄道は、ＪＲ木津駅を中心に、奈良線が南北に、関西本線と片町線（学研都市線）が東西に走っており、京都、大阪、奈良、三重方面を結んでいます。また、近鉄京都線が市域西部を南北に走っており、奈良、京都方面を結んでいます。

市内のバス路線は、奈良交通がＪＲ木津駅や加茂駅、近鉄山田川駅や高の原駅を拠点として、運行しています。

また、路線バスを補完する形で、コミュニティバスや予約型乗合タクシーがＪＲ木津駅、ＪＲ加茂駅近、近鉄山田川駅を拠点に走っています。

表 木津川市の公共交通体系

主な機能・役割	種別		運行エリア等
広域的行動を含む 多様な範囲の移動 を支える交通	ＪＲ	関西本線	加茂駅を発着し三重方面へ連絡 加茂・木津駅から奈良、難波方面へ連絡（大和路線） 市内には、加茂駅、木津駅の２駅が所在
		片町線 （学研都市線）	木津駅を発着し、京橋、北新地、宝塚方面へ連絡 市内には、木津駅、西木津駅の２駅が所在
		奈良線	周辺市や京都、奈良方面を連絡 市内には棚倉駅、上狛駅、木津駅の３駅が所在
	近鉄京都線		周辺市や京都、奈良方面を連絡 市内には木津川台駅、山田川駅の２駅が所在
	路線バス		木津駅、山田川駅、加茂駅を中心に奈良交通の路線バスが運行
主に日常生活圏での移動を支える交通及び移動手段	コミュニティ交通	きのつバス	木－１、木－２、木－３
		かもバス	定時：当尾線、奥畑線、加茂通学線 予約型：山田線、南加茂台線、大畑線、観音寺線 銭司線、西線
		やましるバス	定時：山城線 予約型：神童子線
	タクシー		複数のタクシー事業者が市内全域で運行
公共交通以外で、市民の生活移動を支える手段			福祉有償運送

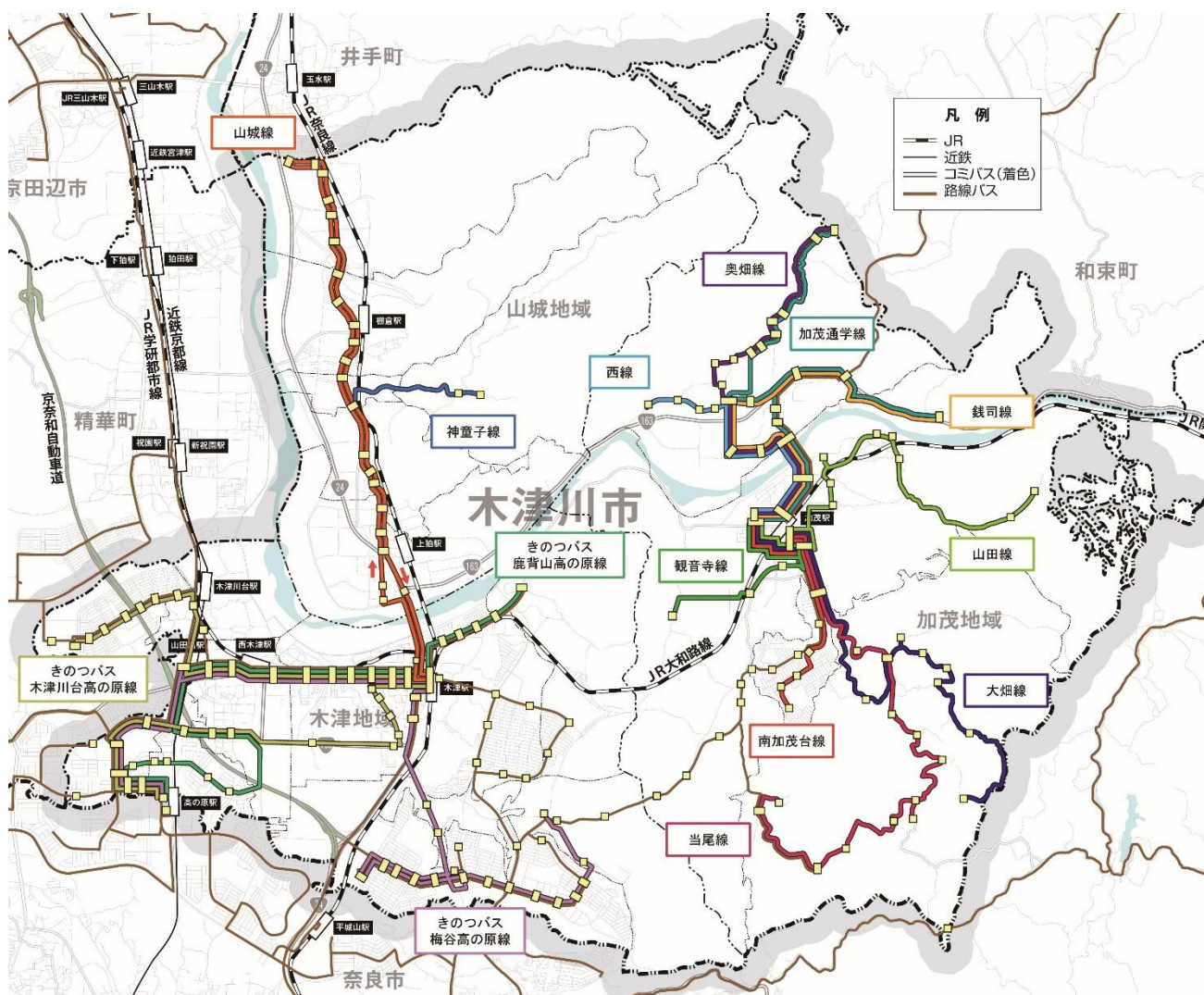


図 木津川市の公共交通体系

①運行状況

↑ 京橋方面 **↑ 京都方面**

祝園駅 **新祝園駅**

木津川台駅 **木津川市**

山田川駅 **西木津駅**

高の原駅 **木津駅**

平城山駅 **加茂駅** **笠置駅**

↓ 奈良方面 **↓ 奈良方面**

↑ 京橋方面 **↑ 京都方面**

JR 奈良線

上り 67 本
みやこ路快速 16 本
区間快速 7 本
快速 4 本
普通 40 本

下り 67 本
みやこ路快速 16 本
区間快速 9 本
快速 4 本
普通 38 本

JR 大和路線

下り 42 本
区間快速 11 本
快速・大和路快速 25 本
普通 6 本

下り 41 本
区間快速 13 本
快速・大和路快速 18 本
普通 10 本

JR 関西本線

上り 24 本
下り 24 本

JR 奈良線・JR 大和路線

上り 111 本
みやこ路快速 16 本
区間快速 19 本
快速・大和路快速 30 本
普通 46 本

下り 110 本
みやこ路快速 16 本
区間快速 23 本
快速・大和路快速 23 本
普通 48 本

近鉄京都線

上り 166 本
特急 11 本
急行 71 本
普通 84 本

下り 182 本
特急 30 本
急行 71 本
普通 81 本

JR 駅 **みやこ路快速停車駅**

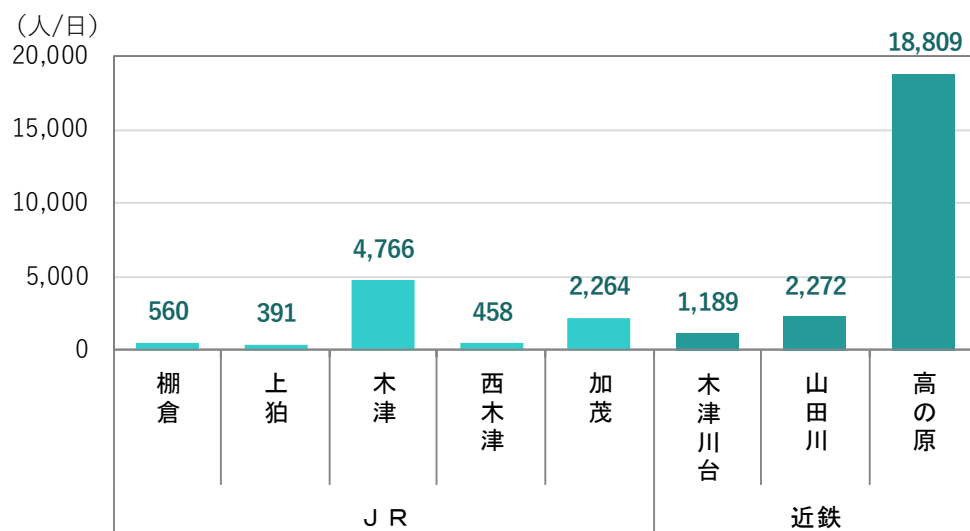
近鉄駅 **特急停車駅** **急行停車駅**

図 鉄道の運行状況（平日）

②利用状況

平成 30（2018）年度の 1 日平均乗車人員は J R では 3 路線が乗り入れる木津駅が 4,766 人と最も多く、近鉄では学研都市の玄関口となる高の原駅が 18,809 人と多くなっています。

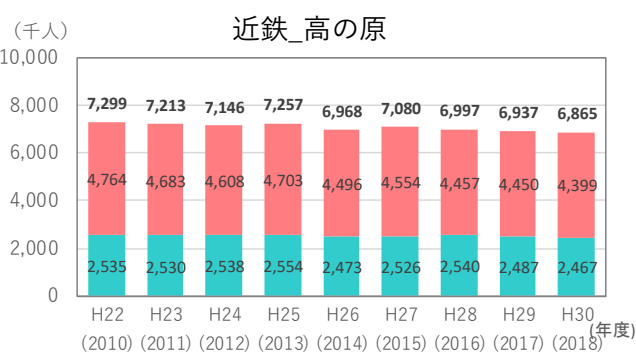
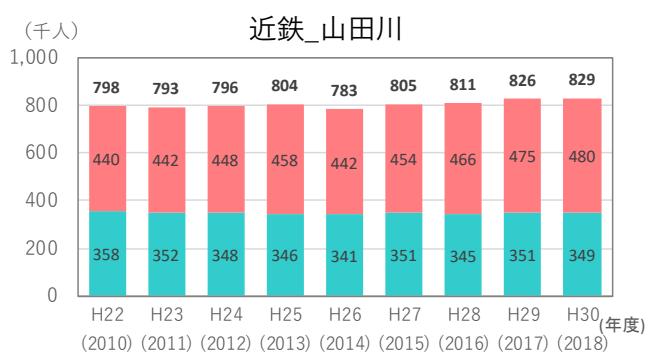
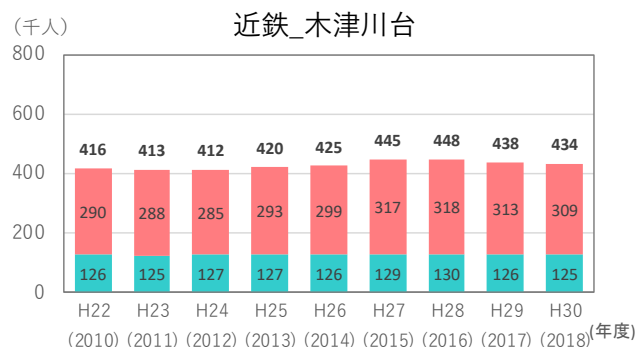
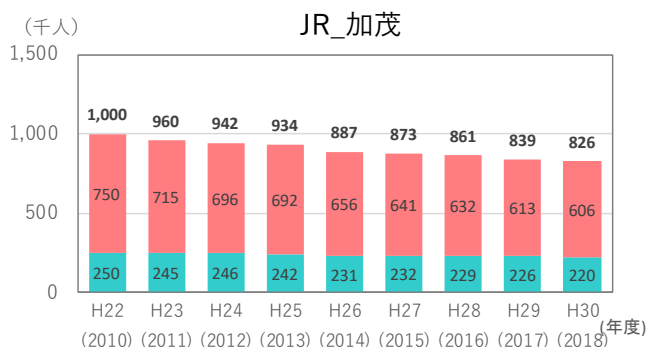
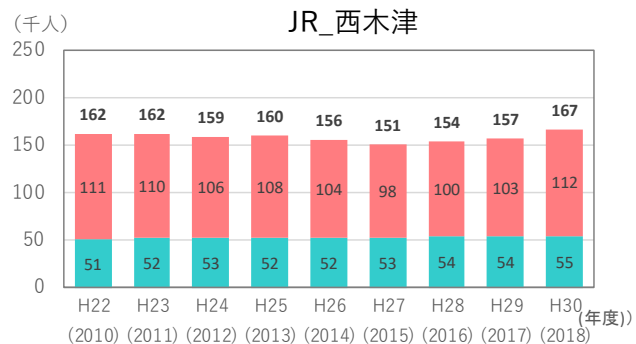
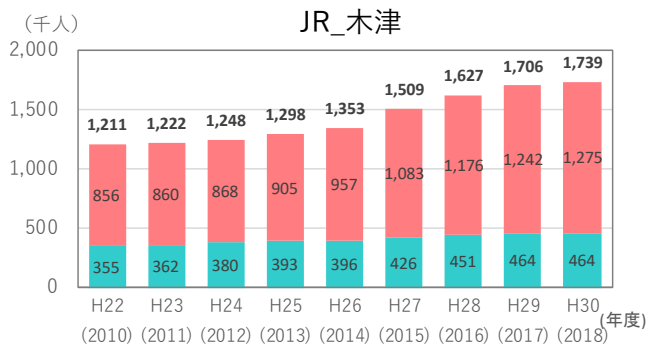
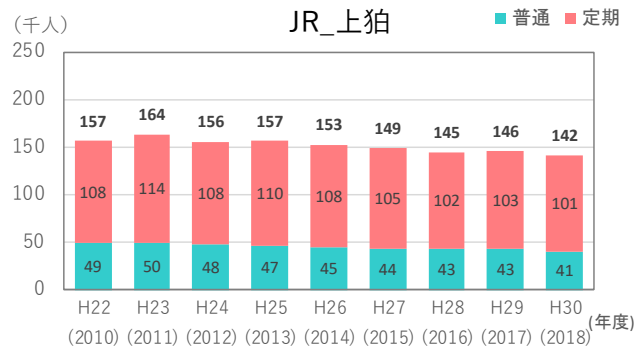
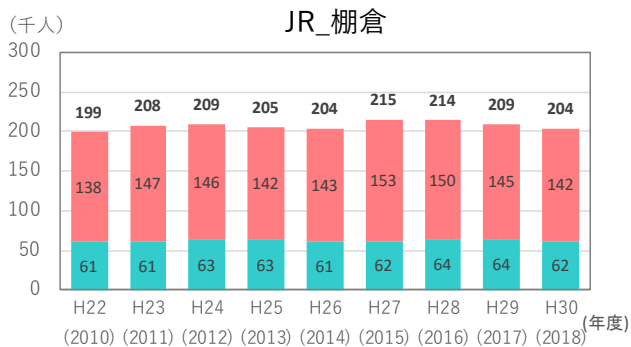
利用者数の推移をみると、木津駅の利用者数は大きく増加傾向にあります。その他の駅では、微増から横ばい、加茂駅や上狛駅、高の原駅は減少傾向となっています。



※各年度末現在の数値

資料：西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社

図 一日平均旅客乗車人員（平成 30（2018）年度）



※各年度末
資料：西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社

図 駅別乗車人員

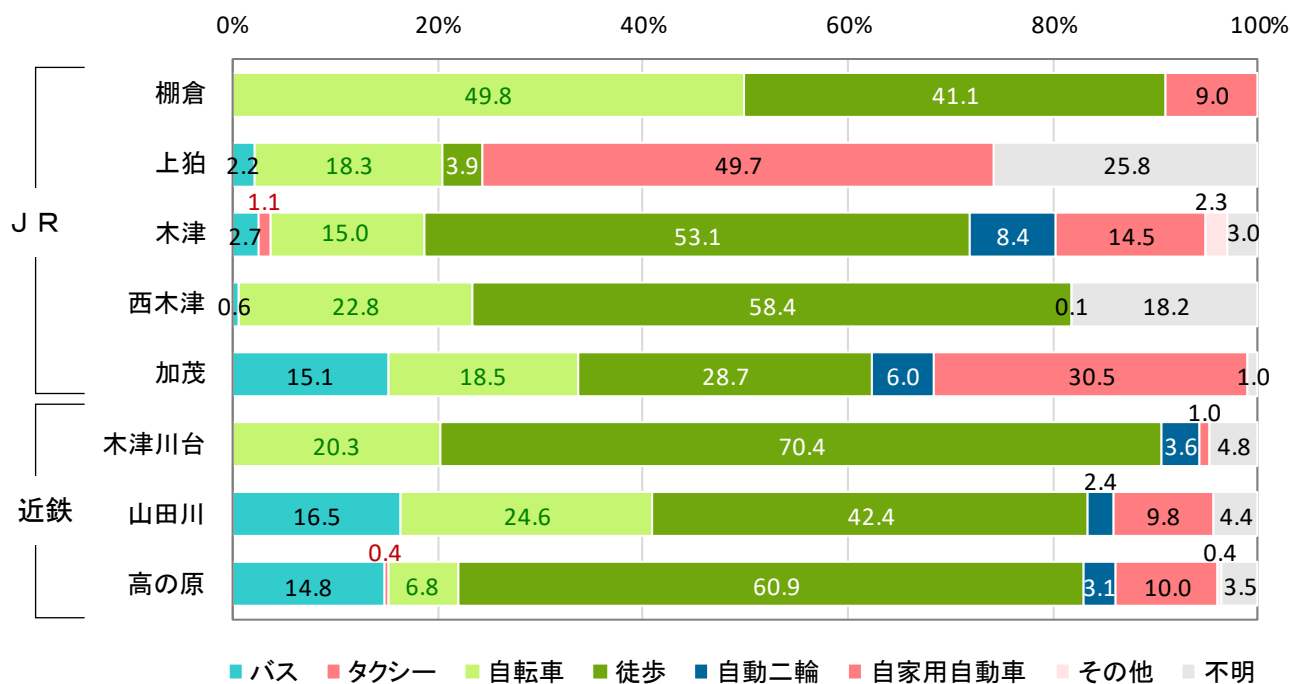
表 駅別の施設等整備状況

	駅名		駅ロータリー	駐車場	駐輪場	タクシー のりば	送迎スペース	バスの接続
J R	棚倉		○ (駅の反対側にあり)	—	○	東洋タクシー看板	△	コミュニティバス
	上狛		○	—	○	東洋タクシー看板	△	コミュニティバス
	木津	東口	○	○ (民間)	○	○	△	奈良交通バス
		西口	○	○ (民間)	—	○	△	コミュニティバス・ 奈良交通バス
	西木津		—	○ (民間月極)	○	—	—	—
	加茂	東口	○	○	○	○	△	コミュニティバス・ 奈良交通バス
		西口	○	○	○	○	△	コミュニティバス・ 奈良交通バス
	近 鉄	木津川台	東口	○	—	○	—	△
西口			○	—	—	—	△	—
山田川		○	○	○	○	△	コミュニティバス・ 奈良交通バス	
高の原		○	○ (民間)	○	○	○	コミュニティバス・ 奈良交通バス	

③駅別の端末交通機関分担率

J R 棚倉駅、近鉄木津川台駅では自転車と徒歩の分担率が9割を超え、J R 木津駅でも8割と高くなっています。

一方、J R 上粕駅は自家用自動車の割合が5割と高くなっています。



資料：パーソントリップ調査（平成22（2010）年）

図 市内の駅別端末交通手段分担率（平日）

Ⅱ. 路線バスの状況

①運行状況

市内の路線バスは、奈良交通により、J R木津駅や加茂駅、近鉄山田川駅や高の原駅を拠点として、運行されています。上記に加え、州見台、梅美台、南加茂台や浄瑠璃寺へは、J R奈良駅や近鉄奈良駅からの路線、兜台へは学研奈良登美ヶ丘からの路線も運行しています。

また、けいはんな学研都市から京都駅までの直通バスが運行されています。

表 駅別の路線バスの運行状況（市内路線）

拠点駅	系統番号	発地	主な経由地	着地	平休	便数	始発	終発
木津駅 西口	71	木津駅	木津	山田川駅	平	3	19:33	21:34
					土日祝	5	7:01	19:33
		山田川駅		木津駅	平	3	19:20	21:17
					土日祝	5	7:14	19:50
	72	鹿背山	木津駅西口	山田川駅	平	5	6:25	20:10
					土日祝	3	8:03	18:59
		山田川駅		鹿背山	平	4	6:48	19:50
					土日祝	3	7:43	18:40
	74	祝園駅	菅井	木津駅	土	1	12:20	－
木津駅 東口	11	州見台四丁目	州見台八丁目	木津駅(東口)	平	1	6:36	－
	13	木津駅(東口)	城山台循環 ・外回り	木津駅(東口)	平	14	5:49	15:34
					土日祝	12	6:01	16:56
	14	木津駅(東口)	城山台循環 ・内回り	木津駅(東口)	平	20	6:40	22:37
					土日祝	20	6:46	22:03
	33	高の原駅	梅美台五丁目	木津駅(東口)	平	17	6:18	20:56
					土日祝	15	6:42	20:56
		木津駅(東口)		高の原駅	平	16	7:02	21:38
					土日祝	15	7:22	21:38
加茂駅 西口	66	加茂駅(西口)	和東河原	和東町小杉	平	13	7:50	21:18
					土日祝	12	7:50	20:20
		和東町小杉		加茂駅(西口)	平	13	6:20	20:04
					土日祝	12	6:43	18:52
加茂駅 東口	106	加茂駅(東口)	南加茂台五丁目	京内橋	平	1	23:47	－
					土日祝	4	22:38	23:47
		京内橋		加茂駅(東口)	平	4	5:49	6:41
					土日祝	4	5:54	6:46
	107	加茂駅(東口)	南加茂台一丁目	南加茂台五丁目	平	2	17:17	23:03
					土日祝	1	9:55	－
		南加茂台五丁目		加茂駅(東口)	平	1	17:24	－
					土日祝	1	10:01	－
	109	JR 奈良駅	南加茂台五丁目 梅美台二丁目	加茂駅(東口)	平	21	6:26	22:21
					土日祝	22	6:45	22:43
		加茂駅(東口)		JR 奈良駅	平	24	6:08	23:22
					土日祝	25	6:05	22:14

拠点駅	系統 番号	発地	主な経由地	着地	平休	便数	始発	終発
	209	JR 奈良駅	梅美台五丁目	加茂駅(東口)	平	15	9:25	22:53
					土日祝	14	8:21	23:01
		加茂駅(東口)		JR 奈良駅	平	15	6:39	19:52
					土日祝	12	6:38	19:58
山田川	19	木津川台八丁目	山田川駅	高の原駅	平	1	7:30	—
		高の原駅		木津川台九丁目	平	1	17:13	—
	28	KICK	木津川台九丁目	山田川駅	平	3	7:16	18:26
		山田川駅		KICK	平	2	7:00	18:10
	29	木津川台八丁目	木津川台二丁目	山田川駅	平	15	6:24	21:48
					土日祝	6	7:53	19:40
		山田川駅		木津川台九丁目	平	15	6:34	21:30
					土日祝	6	7:39	19:26
	71	木津駅	木津	山田川駅	平	3	19:33	21:34
					土日祝	5	7:01	19:33
		山田川駅		木津駅	平	3	19:20	21:17
					土日祝	5	7:14	19:50
	72	鹿背山	木津	山田川駅	平	5	6:25	20:10
					土日祝	3	8:03	18:59
		山田川駅		鹿背山	平	4	6:48	19:50
					土日祝	3	7:43	18:40
JR 奈良	108	JR 奈良駅	梅美台二丁目	南加茂台五丁目	平	4	7:44	20:17
		南加茂台五丁目			土日祝	2	7:44	20:12
	109	JR 奈良駅	南加茂台五丁目	JR 奈良駅	平	1	19:20	—
				加茂駅(東口)	平	21	6:26	22:21
					土日祝	22	6:45	22:43
		加茂駅(東口)		JR 奈良駅	平	24	6:08	23:22
	112 (急行)	JR 奈良駅	梅美台西	浄瑠璃寺	平	6	9:04	15:04
					土日祝	6	9:04	15:04
		浄瑠璃寺		JR 奈良駅	平	6	9:46	15:46
					土日祝	6	9:46	15:46
		JR 奈良駅	梅美台 奈良阪	州見台八丁目	平	37	6:18	23:33
					土日祝	32	6:54	22:17
	153	州見台八丁目		JR 奈良駅	平	30	7:14	22:37
					土日祝	32	6:21	21:45
	156	州見台八丁目	梅美台西	JR 奈良駅	平	5	5:49	8:37
	208	JR 奈良駅	梅美台五丁目	南加茂台五丁目	平	7	8:12	23:55
					土日祝	5	17:21	21:41
		南加茂台五丁目		JR 奈良駅	平	8	5:48	18:36
					土日祝	3	6:59	8:28
	209	JR 奈良駅	梅美台五丁目	加茂駅(東口)	平	15	9:25	22:53
					土日祝	14	8:21	23:01
		加茂駅(東口)		JR 奈良駅	平	15	6:39	19:52
					土日祝	12	6:38	19:58

拠点駅	系統 番号	発地	主な経由地	着地	平休	便数	始発	終発
近鉄奈良	25	木津	川原田	近鉄奈良駅	土	1	12:40	-
	154	近鉄奈良駅	梅美台西・奈良阪	州見台八丁目	平	7	6:57	19:41
	155	州見台八丁目	梅美台西	近鉄奈良駅	平	7	6:34	19:07
高の原	7	神功四丁目	兜台一丁目	高の原駅	平	24	6:03	23:14
					土日祝	21	6:34	22:16
		高の原駅		神功四丁目	平	23	6:16	23:06
					土日祝	22	6:26	22:50
	19	木津川台八丁目	山田川駅	高の原駅	平	1	7:30	-
		高の原駅		木津川台九丁目	平	1	17:13	-
	21	兜台五丁目	兜台三丁目	高の原駅	平	66	6:00	22:26
					土日祝	61	6:14	21:56
		高の原駅		兜台五丁目	平	67	6:11	23:45
					土日祝	67	6:11	23:45
	30	梅美台三丁目	平城山駅	高の原駅	平	2	6:07	6:40
					土日祝	2	6:35	7:07
		高の原駅		梅美台三丁目	平	8	7:53	22:43
					土日祝	4	18:30	21:35
	31	梅美台三丁目	州見台六丁目	高の原駅	平	23※1	5:47	22:07
					土日祝	16	6:13	21:04
		高の原駅		梅美台三丁目	平	18	6:45	23:15
					土日祝	12	7:13	22:15
	33	高の原駅	梅美台五丁目	木津駅(東口)	平	17	6:18	20:56
					土日祝	15	6:42	20:56
		木津駅(東口)		高の原駅	平	16	7:02	21:38
					土日祝	15	7:22	21:38
	77	学研奈良登美ヶ丘 駅	兜台三丁目	高の原駅	平	45	6:25	23:50
					土日祝	35	6:37	22:54
		高の原駅		学研奈良登美ヶ丘 駅	平	47	6:02	23:15
					土日祝	35	6:16	22:21
	82	高の原駅	学研奈良登美ヶ丘 駅	高山サイエンス タウン	平	13	5:45	20:16
					土日祝	9	7:54	18:19
		高山サイエンス タウン		高の原駅	平	13	6:16	20:47
					土日祝	9	8:28	18:53
祝園	68	けいはんな記念公園 南	木津川台一丁目	祝園駅	平	6	17:27	19:57
		祝園駅		けいはんな記念公 園	平	5	7:33	8:54
	74	祝園駅	菅井	木津駅	土	1	12:20	-

※1：急行8便を含む（州見台八丁目北→高の原駅まで止まりません）

運 休 日	土日祝日、振替休日、国民の休日、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始
運 賃	700 円（小児は半額）
運 行 本 数	片道 4 便
運 行 区 間	けいはんなプラザ～京都駅
運行事業者	奈良交通・京阪バス共同運行
そ の 他	座席定員制 IC カード対応（10 カード、CI-CA※）※奈良交通運行便のみ 直通バス専用共通回数乗車券

直通バス 2018年10月1日(月)より本格運行を開始します。

けいはんな学研都市地域 **京都市内**

(京阪バス・奈良交通の共同運行)

スムーズ 座れる 乗換不要

大人片道 **700 円** 小児片道 **350 円**

図 けいはんな線の概要

②利用状況

加茂地域を走る路線の利用者数は、概ね減少傾向にあります。

木津地域の木津駅西側を走る路線の利用者数は、木津駅や高の原駅と城山台や梅美台を走る路線では利用者数が増加していますが、近鉄・ＪＲ奈良駅と梅美台・州見台を結ぶ路線では横ばいから減少傾向にあります。

木津地域の木津駅東側を走る路線の利用者数は、概ね横ばいから減少傾向となっています。

表 路線バスの利用者数の推移（加茂地域）

系統 場号	区間	年度				
		H26	H27	H28	H29	H30
66	加茂駅(西口)～和束河原～小杉	126,690	121,693	108,926	101,146	99,121
106	加茂駅(東口)～南加茂台五丁目～京内橋	－	－	－	8,233	7,865
107	加茂駅(東口)～南加茂台五丁目	9,838	9,656	9,727	2,893	2,664
109	加茂駅(東口)～梅美台二丁目～JR奈良駅	361,892	344,068	340,207	327,809	303,907
209	加茂駅(東口)～梅美台三丁目～JR奈良駅	206,149	217,786	223,798	213,600	195,773
108	JR奈良駅～梅美台二丁目～南加茂台五丁目	23,300	20,461	20,844	19,951	18,307
208	JR奈良駅～梅美台三丁目～南加茂台五丁目	60,802	92,571	94,182	90,038	81,902
112	JR奈良駅～浄瑠璃寺前	35,927	37,686	38,320	32,613	32,174
計		824,598	843,921	836,004	796,283	741,713

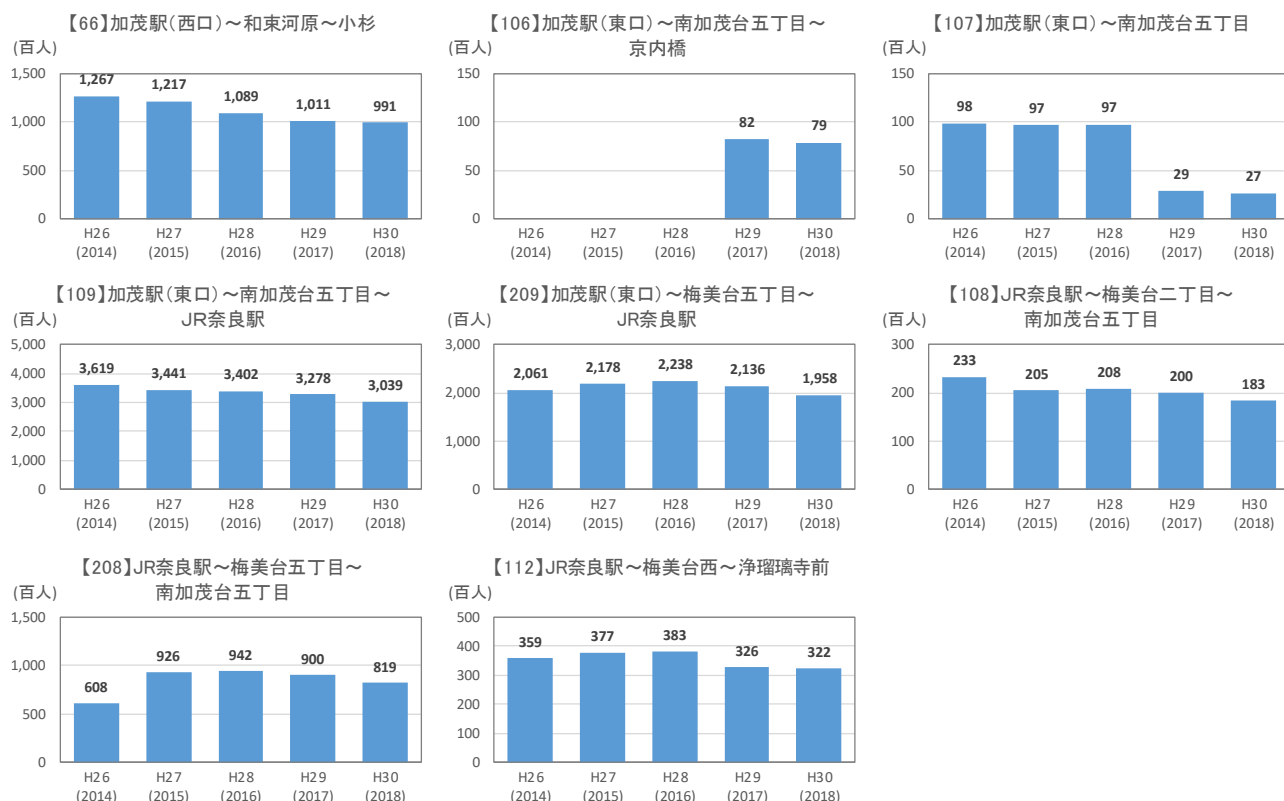


図 路線バスの利用者数の推移 (加茂地域)

表 路線バスの利用者数の推移 (木津地域 木津駅東側エリア)

系統 場号	区間	年度				
		H26	H27	H28	H29	H30
72	山田川駅～木津駅～鹿背山	14,665	12,357	13,566	12,813	12,442
13	木津駅東口～城山台外回り	－	7,492	13,326	15,992	19,119
14	木津駅東口～城山台内回り	－	12,192	19,990	23,988	28,666
11	木津駅東口～梅美台～州見台四丁目	686	1,818	1,524	1,463	1,856
33	木津駅東口～梅美台・州見台～高の原駅	143,225	146,604	161,952	177,569	192,510
31	高の原駅～州見台六丁目～梅美台三丁目	52,568	107,603	118,928	133,071	144,602
廃止	高の原駅～州見台八丁目～梅美台三丁目	2,527	2,580	2,877	－	－
30	高の原駅～平城山駅～州見台六丁目～梅美台三丁目	29,346	30,076	35,956	39,456	43,094
153	JR奈良駅～奈良阪～州見台八丁目	341,282	352,009	350,315	360,589	365,550
154	近鉄奈良駅～奈良阪～州見台八丁目	19,778	20,257	20,724	20,795	21,194
155	近鉄奈良駅～鴻ノ池～州見台八丁目	18,239	18,670	19,098	19,173	19,252
156	JR奈良駅～鴻ノ池～州見台八丁目	15,475	15,823	16,213	16,262	16,296
109	加茂駅(東口)～梅美台二丁目～JR奈良駅	361,892	344,068	340,207	327,809	303,907
209	加茂駅(東口)～梅美台三丁目～JR奈良駅	206,149	217,786	223,798	213,600	195,773
108	JR奈良駅～梅美台二丁目～南加茂台五丁目	23,300	20,461	20,844	19,951	18,307
208	JR奈良駅～梅美台三丁目～南加茂台五丁目	60,802	92,571	94,182	90,038	81,902
計		1,289,934	1,402,367	1,453,500	1,472,569	1,464,470

☆は再掲



図 路線バスの利用状況の推移（木津地域 木津駅東側エリア）

表 路線バスの利用者数の推移（木津地域 木津駅西側エリア）

系統 場号	区間	年度				
		H26	H27	H28	H29	H30
72	山田川～木津駅～鹿背山	14,665	12,357	13,566	12,813	12,442
廃止	鹿背山→木津駅→山田川駅→南陽高校	1,307	1,160	1,398	822	1,113
71	木津駅～山田川	5,623	4,732	5,200	4,915	4,854
74	祝園駅→木津駅	166	143	151	143	145
25	木津→川原田→近鉄奈良駅	73	47	38	43	34
7	高の原駅～兜台一丁目～神功四丁目	126,516	128,487	124,700	126,449	125,657
21	高の原駅～兜台三丁目～兜台五丁目	629,444	659,555	642,548	648,918	638,319
77	高の原駅～兜台～学研奈良登美ヶ丘駅	551,559	577,362	601,141	601,591	586,912
82	高の原駅～兜台一丁目～学研奈良登美ヶ丘駅～高山サイエスタウン	100,649	93,504	72,428	83,787	78,147
19	高の原駅～兜台一丁目～山田川駅～木津川台九丁目	6,955	6,678	6,690	6,355	6,130
廃止	山田川駅～木津川台九丁目～KICK	34,223	33,063	32,932	31,202	406
29	山田川駅～木津川台二丁目～木津川台八丁目	65,227	62,394	62,199	59,119	56,864
68	祝園駅～木津川台一丁目～けいはんな記念公園	－	－	－	－	4,523
廃止	祝園駅～トチノキ通～木津川台九丁目・木津川台住宅	37,959	42,253	47,268	43,740	36,243
計		1,574,366	1,621,735	1,610,259	1,619,897	1,547,266

☆

☆は再掲

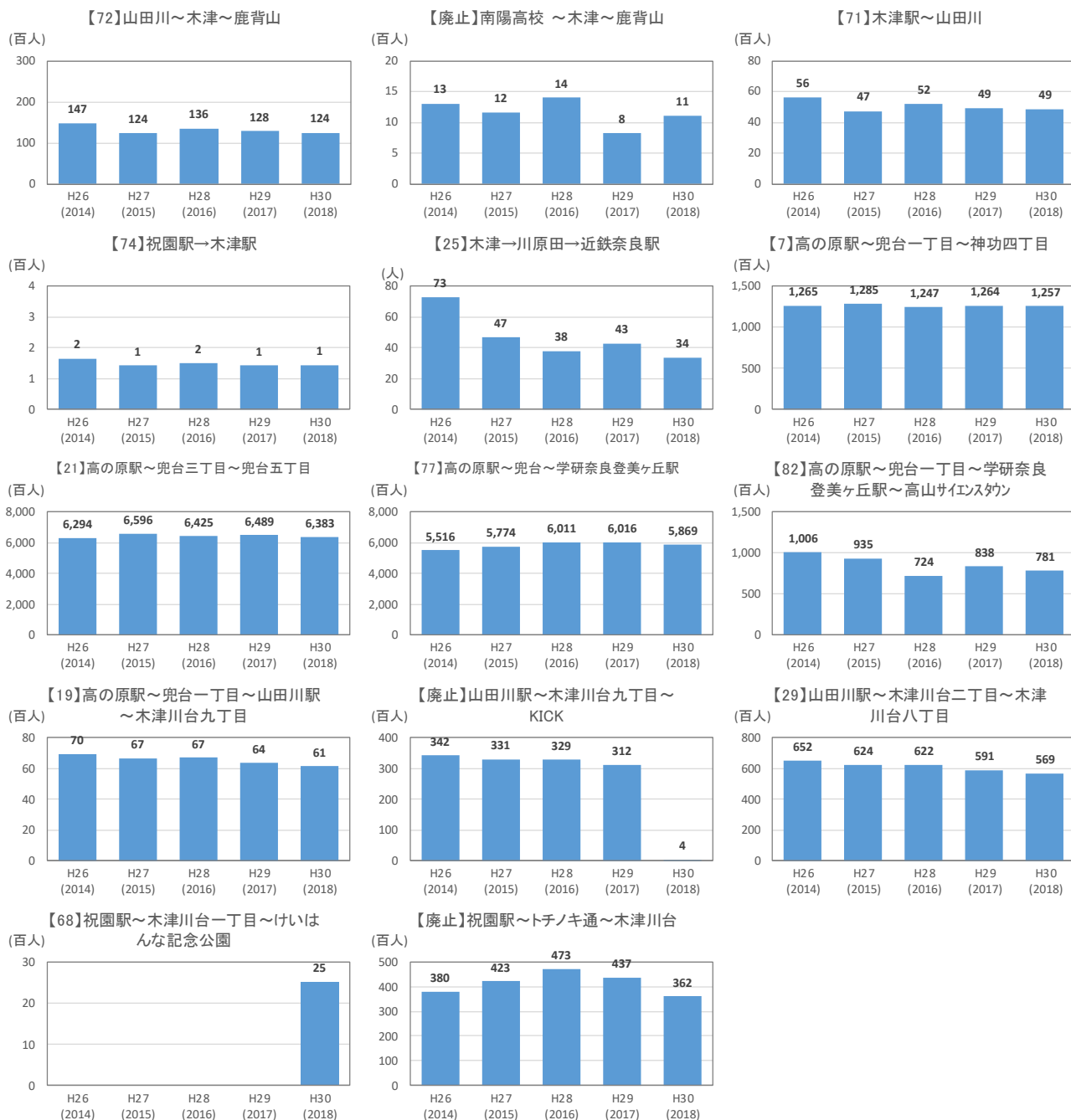


図 路線バスの利用状況の推移（木津地域 木津駅西側エリア）

Ⅲ. コミュニティバスの状況

①運行状況

木津地域は木津駅や高の原駅を発着するきのつバス 3 系統が毎日運行しており、加茂地域には加茂駅を発着するかもバスが 9 系統、山城地域にはやましろバスが 2 系統運行しています。

表 コミュニティバスの運行状況 (R 元. 6. 現在)

路線		発地	着地	平休	便数	始発	終発	
きのつバス	木-1	梅谷	高の原駅	平	10	7:27	16:41	
				土日祝	8	9:41	16:41	
		高の原駅	梅谷	平	10	8:32	17:32	
				土日祝	8	9:32	16:32	
	木-2	鹿背山	高の原駅	平	10	7:48	16:44	
				土日祝	8	9:44	16:44	
		高の原駅	鹿背山	平	10	8:47	17:47	
				土日祝	8	9:47	16:47	
	木-3	木津川台八丁目	高の原駅	平	10	7:58	17:14	
				土日祝	8	10:14	17:14	
		高の原駅	木津川台住宅	平	10	8:02	17:02	
				土日祝	8	9:02	16:02	
かもバス	当尾線	加茂駅東口	加茂山の家	毎日	8	9:14	16:14	
		加茂山の家	加茂駅東口	毎日	9	7:41	16:41	
	奥畑線※	加茂支所	奥畑	平日	4	10:18	16:48	
		奥畑	加茂支所	平日	4	10:38	17:08	
	銭司線※	加茂支所	銭司	平日	4	9:38	15:38	
		銭司	加茂支所	平日	4	9:53	15:53	
	西線※	加茂支所	西	平日	4	9:13	15:13	
		西	加茂支所	平日	4	9:25	15:25	
	山田線※	加茂支所	山田	平日	4	9:32	16:12	
		山田	加茂支所	平日	4	7:45	13:50	
	大畑線	加茂支所	大畑	平日	4	8:24	14:24	
		大畑	加茂支所	平日	4	8:49	14:49	
	南加茂台線※	加茂支所	東山公園	平日	4	9:11	15:11	
		東山公園	加茂支所	平日	4	9:23	15:23	
	観音寺線※	加茂支所	観音寺	平日	4	8:06	14:06	
		観音寺	加茂支所	平日	4	8:16	14:16	
	加茂通学線	恭仁宮跡	奥畑	水	1	15:30	－	
			奥畑	月・金	1	15:38	－	
			奥畑	平平日	1	7:39	－	
			加茂支所	銭司	水	1	15:08	－
			加茂支所	銭司	平日	1	16:08	－
やましろバス	山城線	渋川西	木津駅	平日	8	8:44	15:44	
		木津駅	渋川西	平日	8	9:18	16:18	
	神童子線※	やすらぎ苑	神童子公民館	平日	8	9:37	16:37	
		神童子公民館	やすらぎ苑	平日	8	8:43	15:43	

※は予約型乗合タクシー

②利用状況

平成 30（2018）年度のコミュニティバスの利用者数は、約 25 万人で、地震や台風などの自然災害による運休や、路線バスへの乗り換えなどにより、前年度に比べ利用者数が減少しています。

平成 21（2009）年度末にきのつバスの運賃を 100 円から 200 円に改定したことから平成 22（2010）年度以降利用者数が大きく減少しており、また、平成 25（2013）年 10 月にかもバスの一部路線において定時定路線から予約型乗合タクシーに変更した結果、利用者が減少に転じたと考えられます。

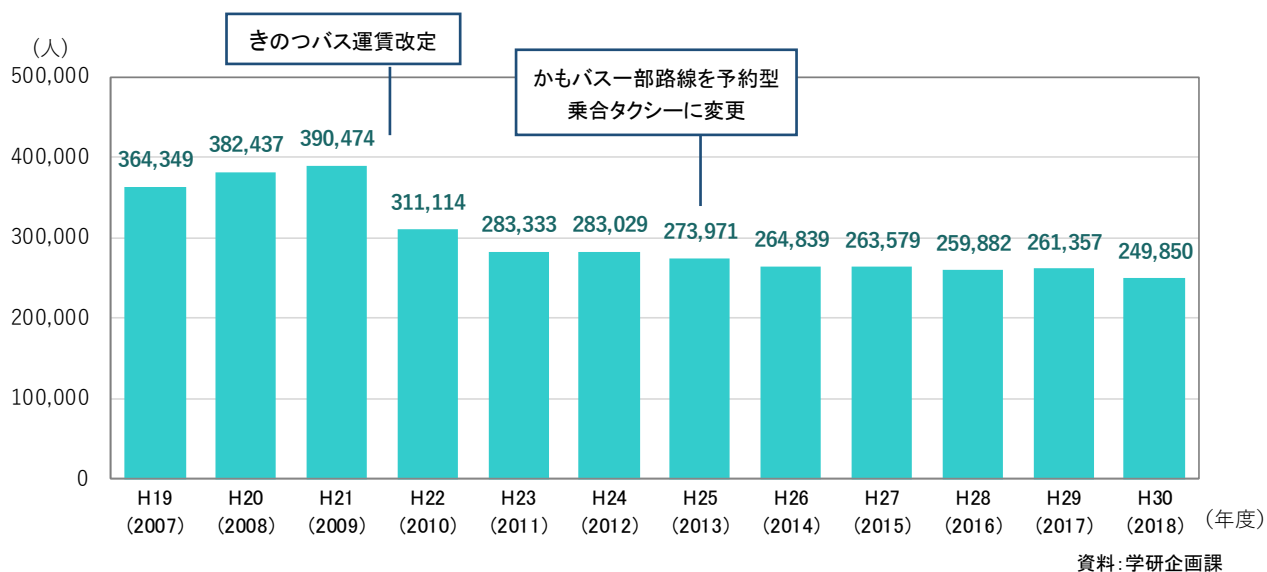
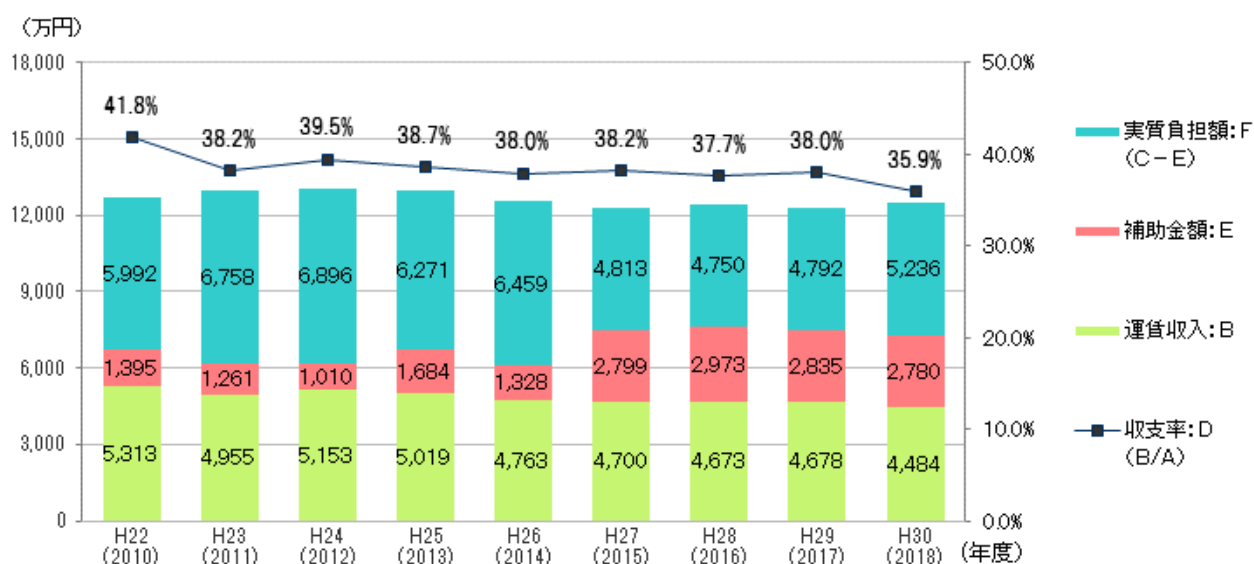


図 コミュニティバス利用者数の推移（全路線計）

③収支状況

平成 30 (2018) 年度の収支率は 35.9%で、利用者数の減少に伴い運賃収入が減ったことから、前年に比べ低くなっています。また、利用者 1 人あたりの運行コストは 500 円となっており、前年に比べ約 30 円高くなっています。



年度	運行経費:A 【単位:円】	運賃収入:B 【単位:円】	負担額:C (A-B) 【単位:円】	収支率:D (B/A)	補助金額:E 【単位:円】	実質負担額:F (C-E) 【単位:円】	実質負担 割合:G (F/A)	利用者数 【単位:人】	利用者1人当 たりの運行コ スト 【単位:円】
H22	126,998,266	53,128,445	73,869,821	41.8%	13,950,875	59,918,946	47.2%	311,114	408
H23	129,743,702	49,549,186	80,194,516	38.2%	12,610,000	67,584,516	52.1%	283,333	458
H24	130,588,192	51,525,466	79,062,726	39.5%	10,098,000	68,964,726	52.8%	283,029	461
H25	129,739,564	50,191,068	79,548,496	38.7%	16,838,000	62,710,496	48.3%	273,971	474
H26	125,495,918	47,625,811	77,870,107	38.0%	13,276,000	64,594,107	51.5%	264,839	474
H27	123,120,314	46,999,236	76,121,078	38.2%	27,991,000	48,130,078	39.1%	263,579	467
H28	123,955,199	46,726,655	77,228,544	37.7%	29,726,500	47,502,044	38.3%	259,882	477
H29	123,047,093	46,775,994	76,271,099	38.0%	28,350,000	47,921,099	38.9%	261,357	471
H30	125,007,056	44,841,513	80,165,543	35.9%	27,801,500	52,364,043	41.9%	249,850	500

資料：学研企画課

図 コミュニティバスの収支状況（全路線計）

④路線別の状況

(ア) きのつバス

■運行状況

きのつバスは、近鉄高の原駅とＪＲ木津駅間を中心に木津地域を運行する幹線バスであり、梅谷方面を走る木－１、鹿背山方面を走る木－２、木津川台方面を走る木－３の３系統が運行されています。

運 行 日	毎日運行 ※土日祝、お盆、年末年始は一部運休あり
運 賃	200 円（小児は半額）
車 両	ポンチョ
乗 車 定 員	約 30 人
運行事業者	奈良交通株式会社
そ の 他	バリアフリー対応（ノンステップ率 100%） IC カード対応（10 カード、CI-CA） 奈良交通の定期券使用可 ※経路が同一の場合のみ
路線の変遷	・ H14. 9 試験運行開始 ・ H15. 6 土日祝運行開始 ・ H16. 11 2 系統から 3 系統に再編 ・ H22. 3 運賃改定 ・ H31. 3 ダイヤ改正

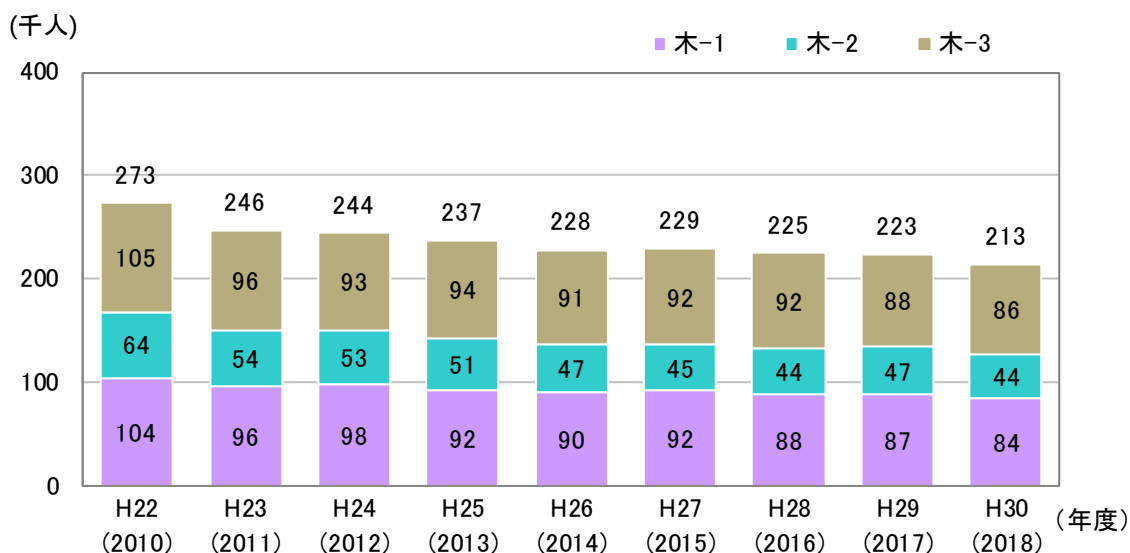
表 きのつバスの運行本数

路線	発地	着地	平休	便数	始発	終発	所要時間
木－１	梅谷	高の原駅	平日	10	7:27	16:41	0:53
			土日祝	8	9:41	16:41	0:53
	高の原駅	梅谷	平日	10	8:32	17:32	0:52
			土日祝	8	9:32	16:32	0:52
木－２	鹿背山	高の原駅	平日	10	7:48	16:44	0:35
			土日祝	8	9:44	16:44	0:35
	高の原駅	鹿背山	平日	10	8:47	17:47	0:35
			土日祝	8	9:47	16:47	0:35
木－３	木津川台八丁目	高の原駅	平日	10	7:58	17:14	0:47
			土日祝	8	10:14	17:14	0:47
	高の原駅	木津川台住宅	平日	10	8:02	17:02	0:50
			土日祝	8	9:02	16:02	0:50

■利用状況

きのつバスの平成 30（2018）年度の利用者数は 213,269 人で、台風による運休により、平成 29（2017）年度に比べ約 1 万人減少しています。1 日当たりの利用者数は 584.3 人、1 便当たりでは 10.5 人となっています。

系統別にみると、木－3 が 85,703 人と利用が最も多く、木－1 は 84,066 人、木－2 は他の 2 路線に比べて少なく 43,500 人となっています。



	利用者数 (人)	運行日数 (日)	運行本数 (本)	1 日当たり 利用者数 (人)	1 便当たり 利用者数 (人)
木－1	84,066	365	6,797	230.3	12.4
木－2	43,500	365	6,796	119.2	6.4
木－3	85,703	365	6,795	234.8	12.5
計	213,269	365	20,388	584.3	10.5

※台風による一部区間のみ運行した便を含む
資料：学研企画課

図 きのつバス利用者数の推移（平成 30（2018）年度）

■IC カード利用者の利用状況

平成 30 年（2018）年度の利用者 213,269 人のうち、IC カード利用者は 119,897 人（木－1：46,423 人、木－2：22,666 人、木－3：50,808 人）と利用者の 56.2%（木－1：55%、木－2：52%、木－3：59%）であり、IC カード利用者の利用状況を分析すると、以下のような特徴がみられます。

曜日別では、3 系統とも平日に比べ、土日の利用が少なく、特に日曜日の利用が少なくなっています。

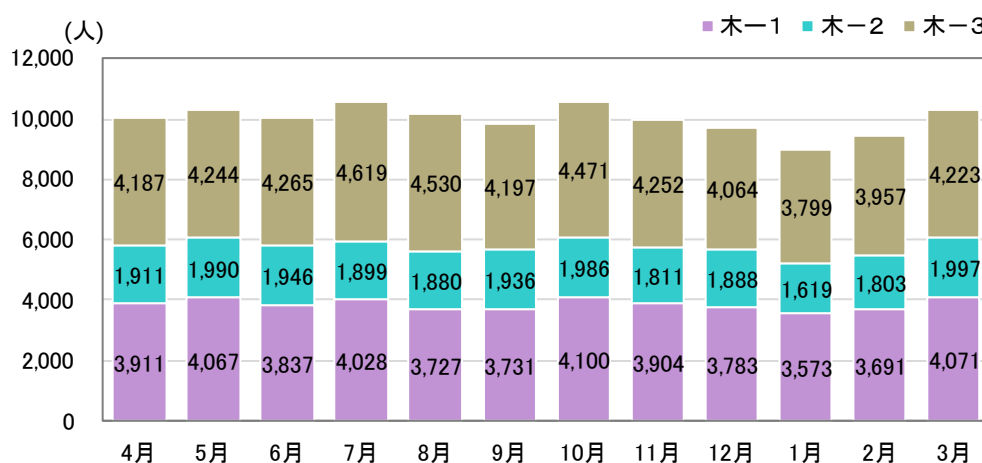
便別では、木－1 では高の原行きの第 1 便の利用が最も多く、1 便当たりでも 15.7 人となっています。木－2 では、高の原駅の第 3 便の利用が最も多いものの、1 便あたりの利用者数では第 1 便の利用が 6.8 人と多くなっています。木－3 では、高の原行きの第 1 便や高の原発の第 1

便の利用が多く、1便あたりでもそれぞれ15人以上と、いずれも朝の第1便の利用が多くなっています。

方面別停留所別の利用状況をみると、木ー1では、高の原発着便とも、木津駅が最も多く、次いで高の原駅、山田川駅の順となっています。木ー2では、高の原発着便では、高の原駅が最も多く、次いで木津駅、山田川駅の順となっており、高の原着便では山田川駅の利用が最も多く、次いで高の原駅、木津駅の順となっています。木ー3では、高の原発着便とも、山田川駅の利用が最も多く、次いで木津駅、高の原駅の順となっています。

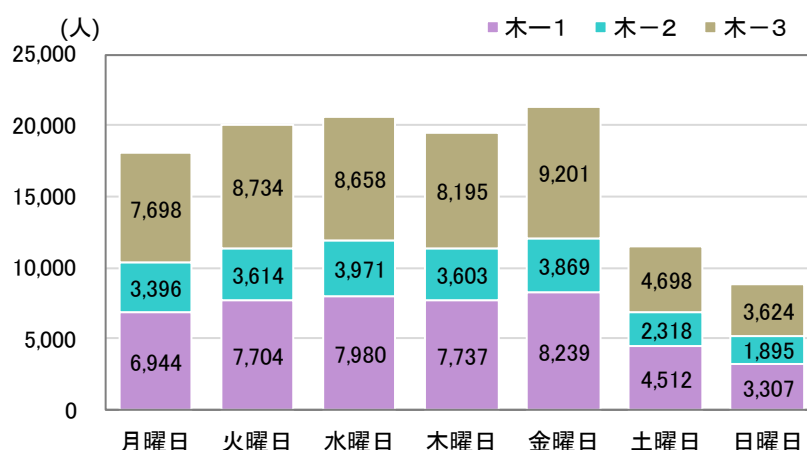
3系統とも木津駅と高の原駅や山田川駅間など駅間の利用が多く、左記に加え、木ー1は州見台のバス停と木津駅、木ー3は木津川台の各バス停と山田川駅間の利用が多くなっています。また、木ー1と木ー3は、南陽高校と高の原駅間の利用も多くなっています。

ICカードの利用状況をみると、全路線でCI-CAの利用が最も多く、ついでICOCAが多くなっています。



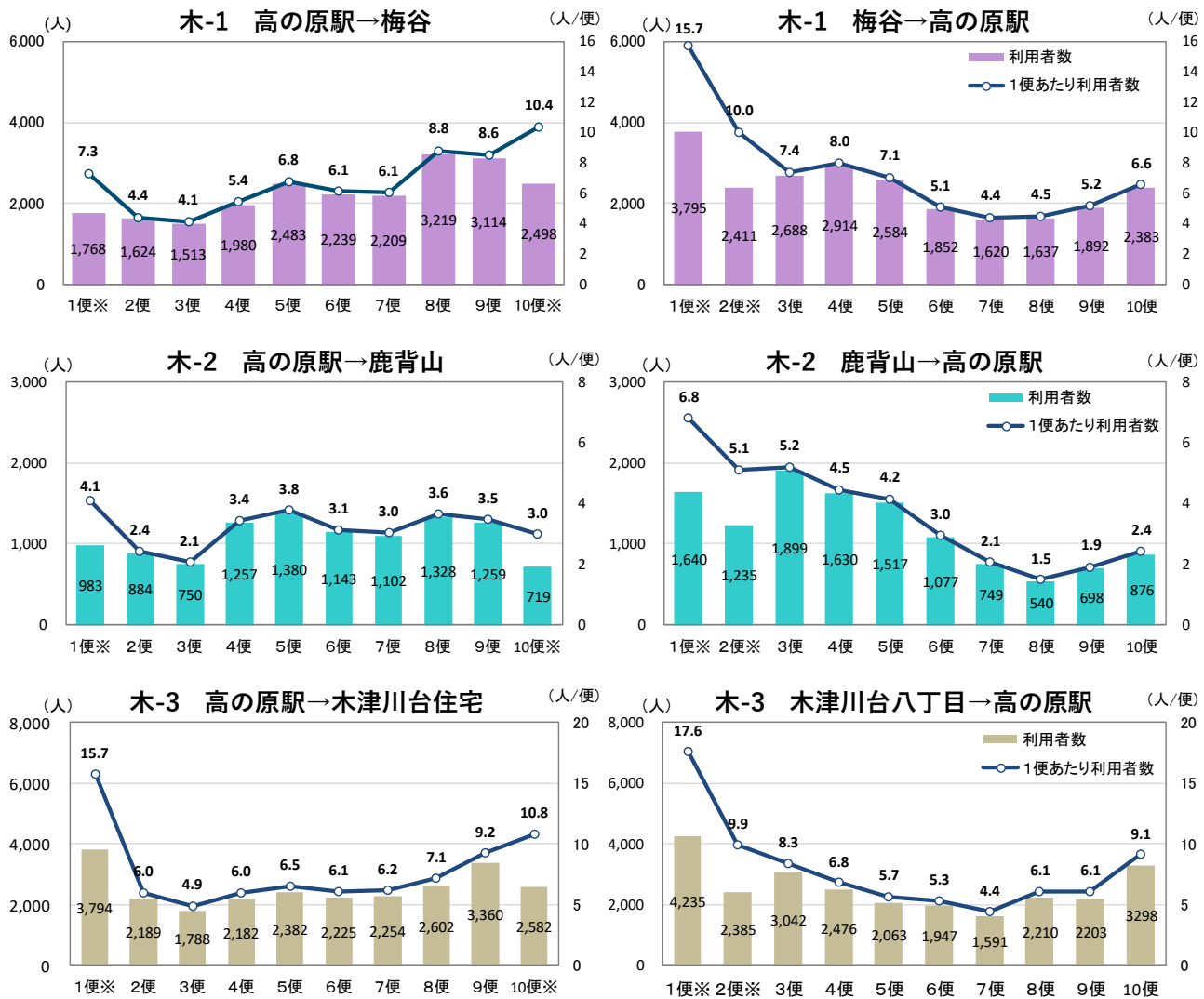
資料：学研企画課

図 ICカード利用者のきのつバスの月別利用者数（平成30（2018）年度）



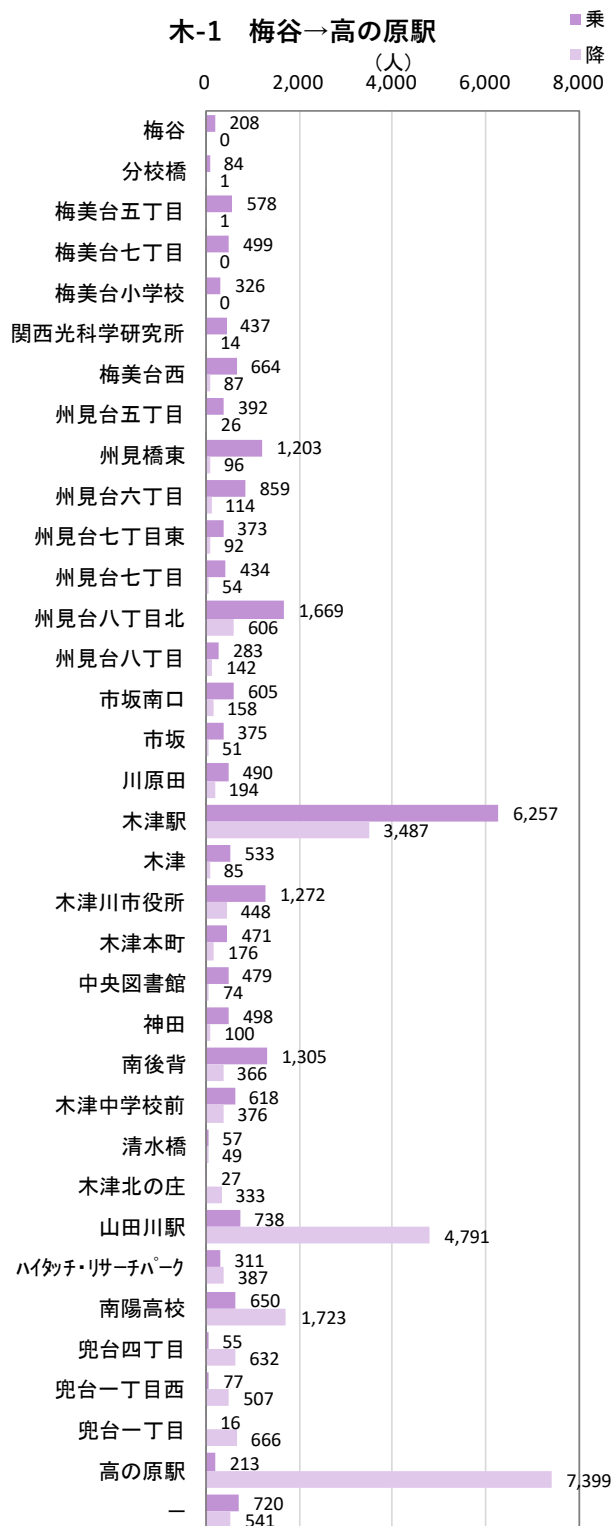
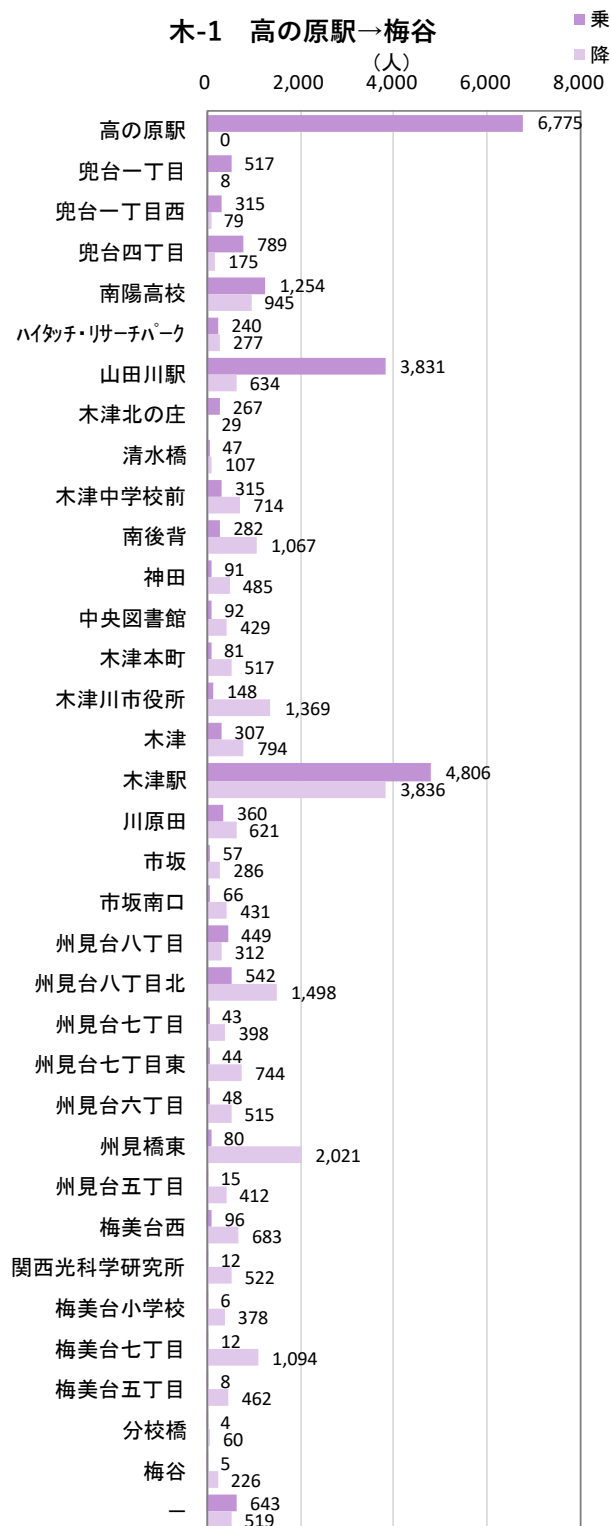
資料：学研企画課

図 ICカード利用者のきのつバスの曜日別利用者数（平成30（2018）年度）



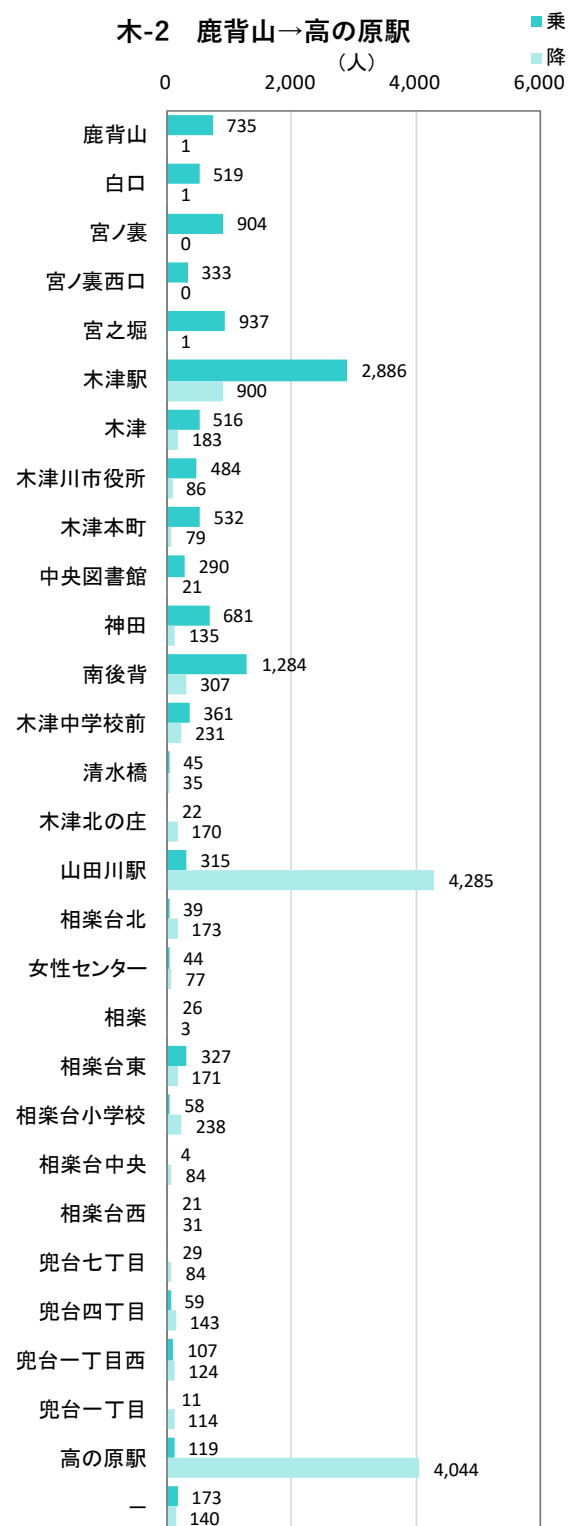
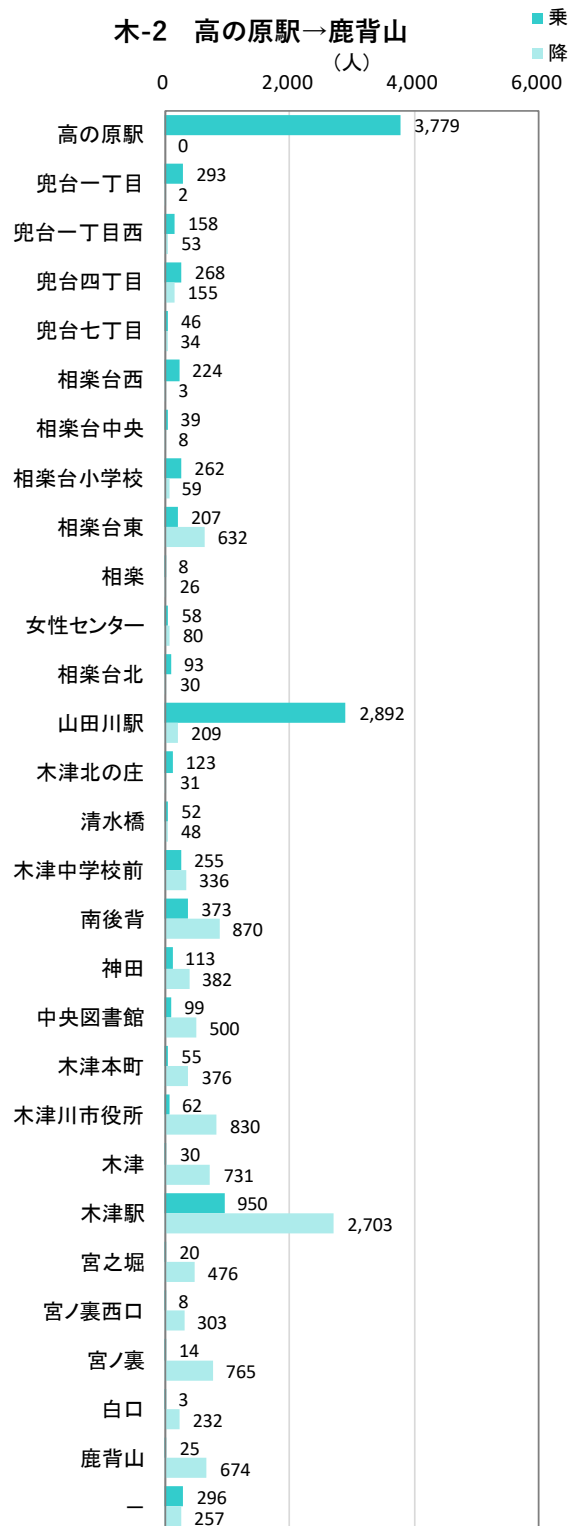
※は土日祝運休便
資料：学研企画課

図 IC カード利用者のきのつバスの便別利用者数（平成 30（2018）年度）



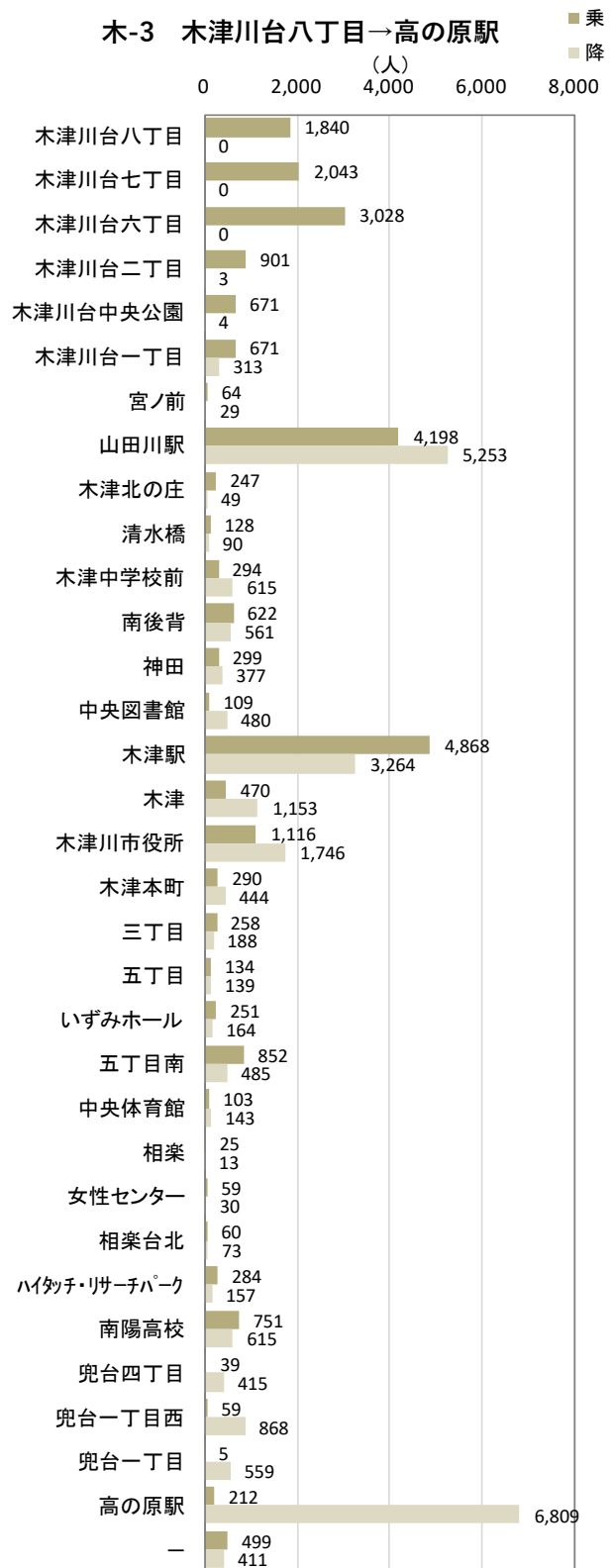
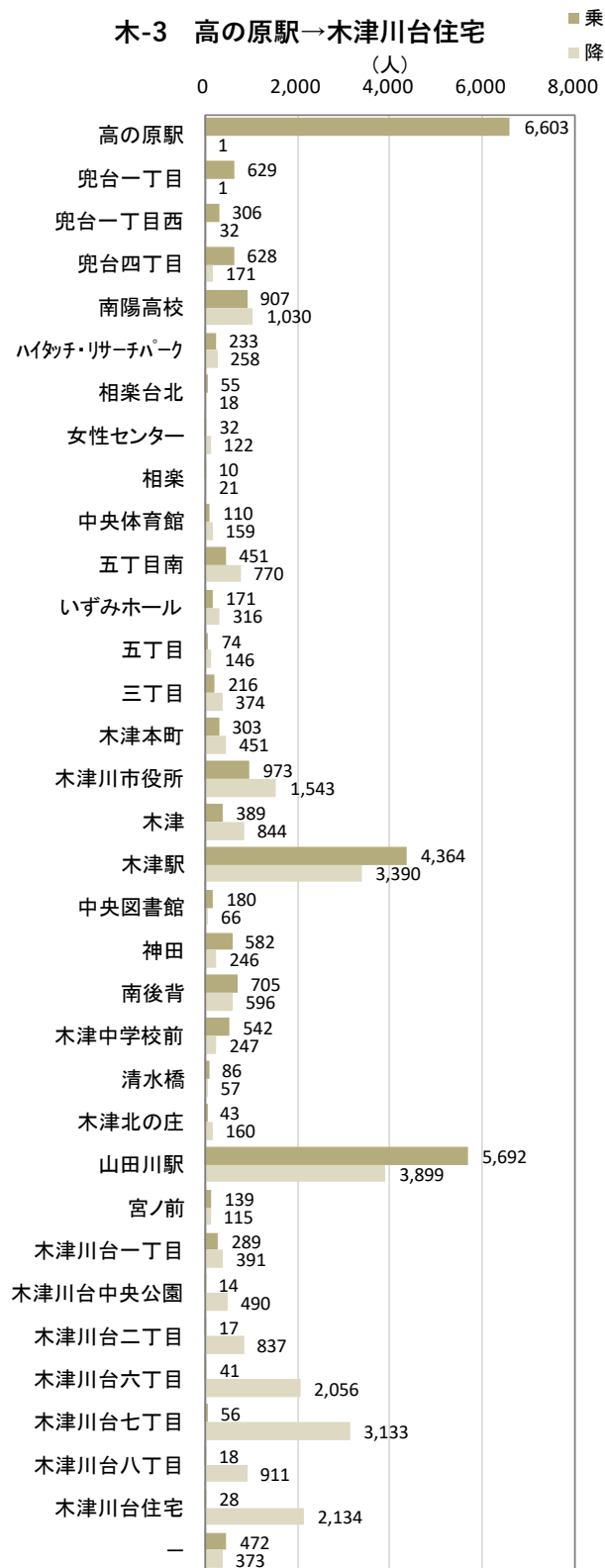
資料：学研企画課

図 ICカード利用者の木-1の方面別乗降別停留所の利用状況（平成30（2018）年度）



資料：学研企画課

図 ICカード利用者の木-2の方面別乗降別停留所の利用状況（平成30（2018）年度）



資料：学研企画課

図 ICカード利用者の木-3の方面別乗降別停留所の利用状況（平成30（2018）年度）



図 IC カード利用者の木ー1の方面別停留所の利用状況 (平成 30 (2018) 年度)



図 IC カード利用者の木ー2の方面別停留所の利用状況 (平成 30 (2018) 年度)



図 ICカード利用者の木-3の方面別停留所の利用状況（平成30（2018）年度）

表 ICカード利用者の方面別利用区間（平成30（2018）年度）

<木-1> ※400人以上の利用のみ表示

高の原駅→梅谷	利用者数	梅谷→高の原駅	利用者数
高の原駅→木津駅	1,462	木津駅→高の原駅	2,523
山田川駅→木津駅	1,031	木津駅→山田川駅	1,684
木津駅→州見橋東	949	州見台八丁目北→木津駅	849
高の原駅→南陽高校	897	南後背→高の原駅	695
木津駅→州見台八丁目北	862	南陽高校→高の原駅	598
高の原駅→南後背	562	木津駅→南陽高校	535
高の原駅→木津川市役所	502	木津川市役所→高の原駅	508
高の原駅→木津	445	州見台六丁目→木津駅	493
南陽高校→木津駅	417	南後背→山田川駅	487
山田川駅→南後背	416	州見橋東→木津駅	485

<木-2> ※300人以上の利用のみ表示

高の原駅→鹿背山	利用者数	鹿背山→高の原駅	利用者数
高の原駅→木津駅	913	木津駅→山田川駅	1,017
山田川駅→木津駅	659	木津駅→高の原駅	944
高の原駅→相楽台東	569	南後背→山田川駅	722
山田川駅→南後背	410	南後背→高の原駅	519
木津駅→宮ノ裏	381	神田→山田川駅	464
高の原駅→木津川市役所	365	宮之堀→山田川駅	430
山田川駅→鹿背山	348	鹿背山→山田川駅	428
		宮ノ裏→木津駅	394

<木-3> ※600人以上の利用のみ表示

高の原駅→木津川台住宅	利用者数	木津川台住宅→高の原駅	利用者数
山田川駅→木津川台七丁目	2,246	木津駅→高の原駅	2,758
高の原駅→木津駅	1,627	木津川台六丁目→山田川駅	1,552
木津駅→山田川駅	1,413	木津川台七丁目→山田川駅	1,431
山田川駅→木津川台六丁目	1,247	木津川台八丁目→山田川駅	1,283
高の原駅→南陽高校	997	山田川駅→木津駅	1,214
山田川駅→木津川台住宅	736	南陽高校→高の原駅	712
木津駅→木津川台住宅	698	山田川駅→木津	653
山田川駅→木津川台八丁目	684	木津駅→兜台一丁目西	610
高の原駅→木津	656		
高の原駅→五丁目南	614		
南後背→山田川駅	607		

資料：学研企画課

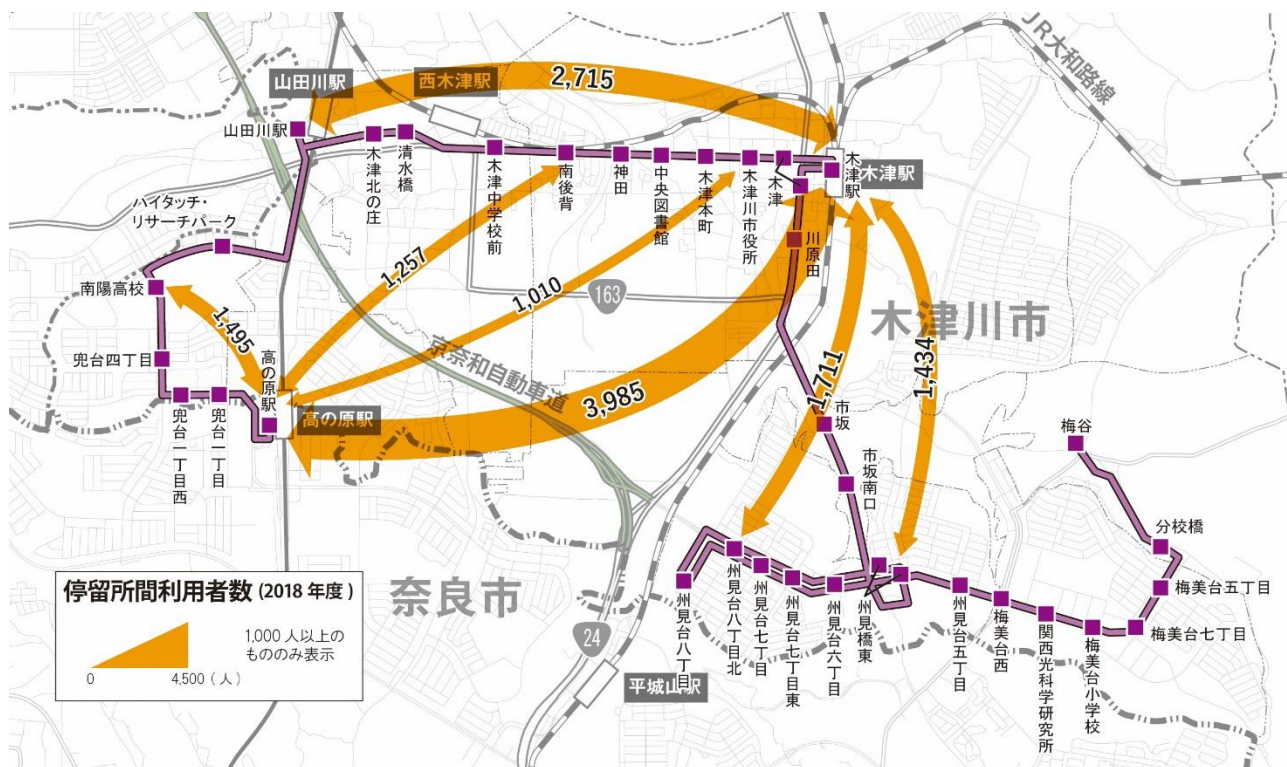


図 10 カード利用者の木-1の利用区間 (平成 30 (2018) 年度)



図 10 カード利用者の木-2の利用区間 (平成 30 (2018) 年度)

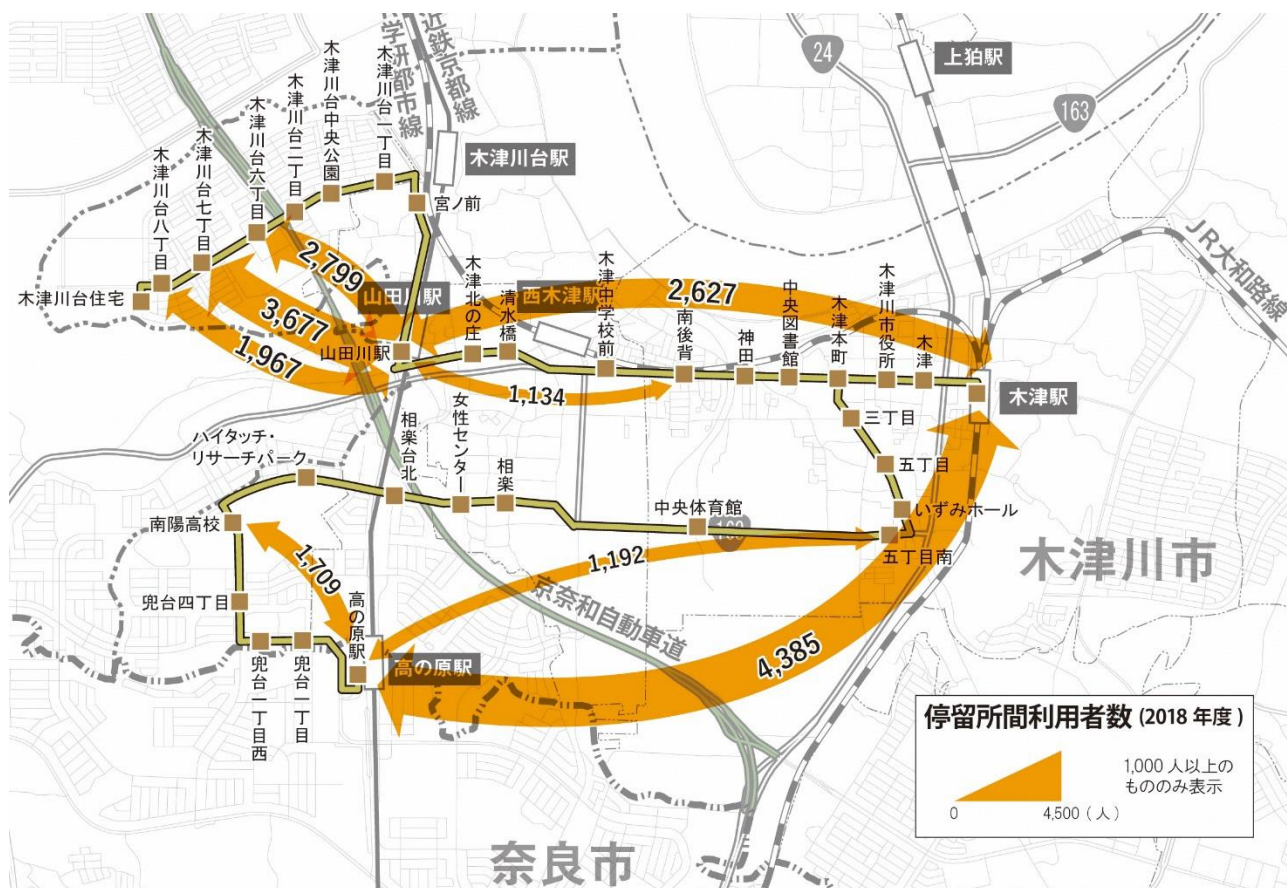
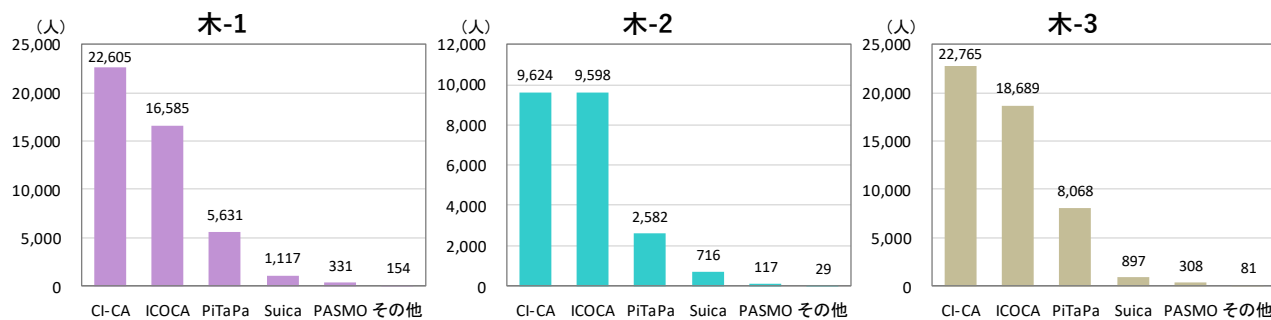


図 IC カード利用者の木-3の利用区間 (平成 30 (2018) 年度)

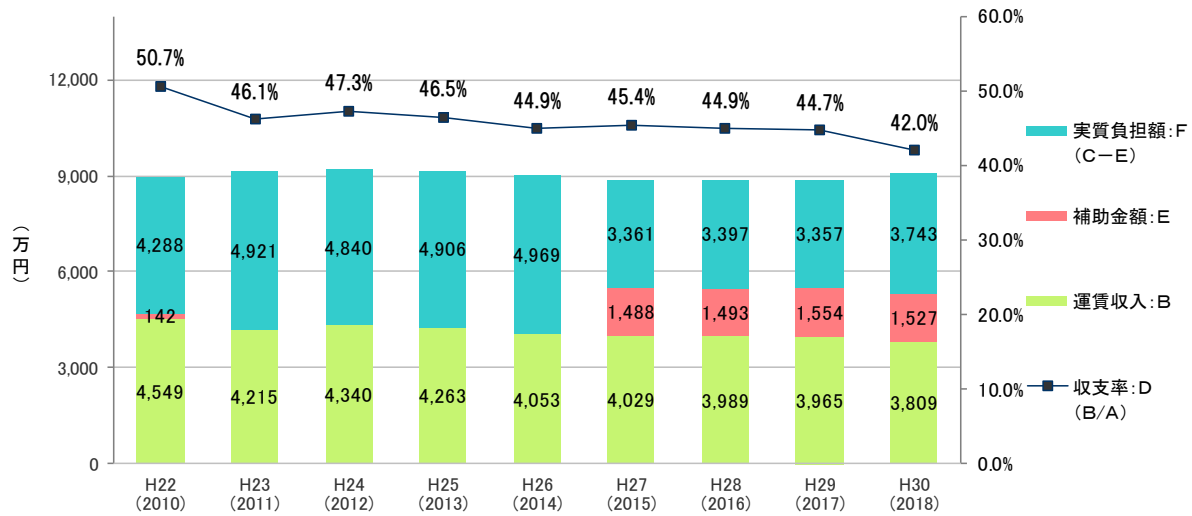


資料：学研企画課

図 IC カード利用者のきのつバスのカード別利用状況 (平成 30 (2018) 年度)

■収支状況

きのつバスの収支率は42.0%で、利用者1人当たりの運行コストは426円となっています。利用者数の減少により、前年に比べ収支率は2.7ポイント低下しています。



年度	運行経費: A 【単位: 円】	運賃収入: B 【単位: 円】	負担額: C (A-B) 【単位: 円】	収支率: D (B/A)	補助金額: E 【単位: 円】	実質負担額: F (C-E) 【単位: 円】	実質負担割合: G (F/A)	利用者数 【単位: 人】	利用者1人当たりの 運行コスト 【単位: 円】
H22	89,783,456	45,485,954	44,297,502	50.7%	1,418,000	42,879,502	47.8%	272,845	329
H23	91,353,329	42,146,534	49,206,795	46.1%	0	49,206,795	53.9%	245,857	372
H24	91,794,194	43,397,448	48,396,746	47.3%	0	48,396,746	52.7%	243,681	377
H25	91,690,085	42,628,725	49,061,360	46.5%	0	49,061,360	53.5%	236,620	387
H26	90,226,000	40,533,719	49,692,281	44.9%	0	49,692,281	55.1%	227,998	396
H27	88,777,342	40,290,606	48,486,736	45.4%	14,878,000	33,608,736	37.9%	228,508	389
H28	88,791,073	39,887,936	48,903,137	44.9%	14,929,500	33,973,637	38.3%	224,573	395
H29	88,767,250	39,650,608	49,116,642	44.7%	15,544,000	33,572,642	37.8%	223,168	398
H30	90,787,616	38,091,605	52,696,011	42.0%	15,267,500	37,428,511	41.2%	213,269	426

資料：学研企画課

図 きのつバスの収支状況

(イ) かもバス当尾線

■運行状況

当尾線は、加茂駅東口と加茂山の家間を毎日運行しており、地域住民の移動を支えるとともに、岩船寺や浄瑠璃寺へのアクセス路線となっています。

運 行 日	毎日
運 賃	200 円～400 円（小児は半額）
車 両	大型
乗 車 定 員	約 30 人
運行事業者	奈良交通株式会社
そ の 他	IC カード対応（10 カード、CI-CA） 特別回数券（10 枚綴）
路線の変遷	H27～29 急行バスとの乗継を考慮したダイヤ改正

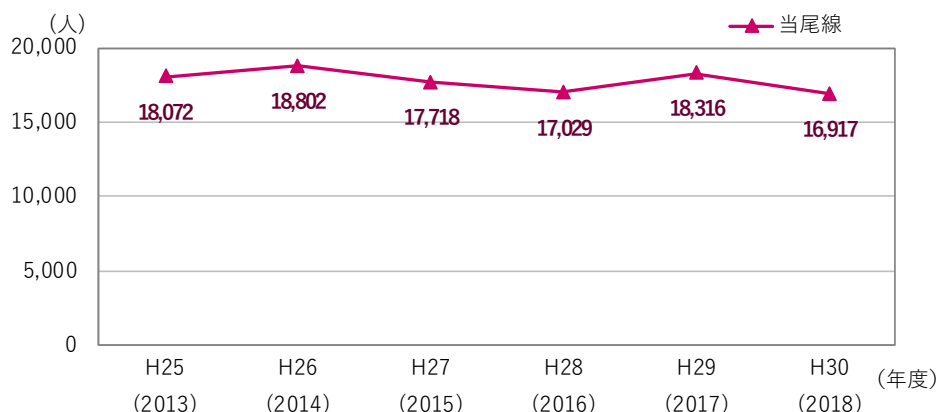
表 当尾線の運行本数

路線	発地	着地	平休	便数	始発	終発	所要時間
当尾線	加茂駅東口	加茂山の家	毎日	8	9:14	16:14	0:25
	加茂山の家	加茂駅東口	毎日	9	7:41	16:41	0:25

■利用状況

当尾線の平成 30（2018）年度の利用者数は 16,917 人で、7 月 6 日の大雨による通行支障の発生や相次ぐ台風による運休により、平成 29 年（2017）年度に比べて、約 8%利用者数が減少しています。1 日当たりの利用者数は 46.3 人、1 便あたりの利用者数は 2.7 人となっています。

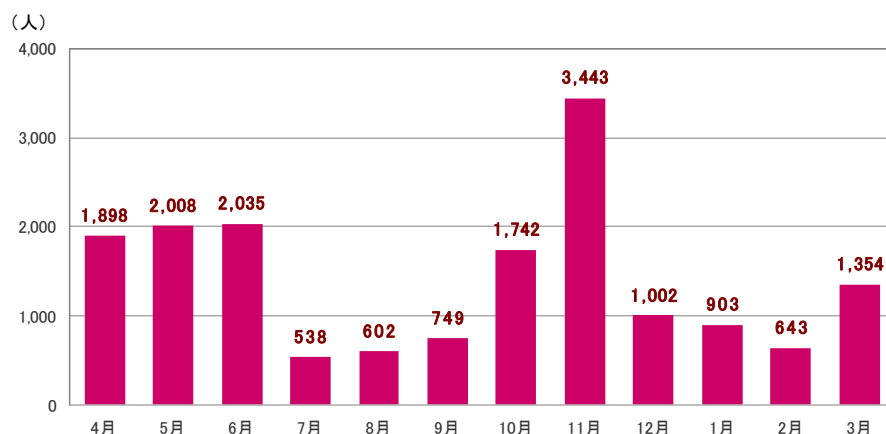
月別では、11 月の利用が 3,443 人と最も多く、春と秋に利用が集中しています。



	利用者数 （人）	運行日数 （日）	運行本数 （本）	1 日当たり 利用者数 （人）	1 便当たり 利用者数 （人）
当尾線	16,917	365	6,193※	46.3	2.7

※大雨や台風による不通区間の発生により、一部区間のみ運行した便を含む
資料：学研企画課

図 かもバス当尾線の利用者数の推移（平成 30（2018）年度）



資料：学研企画課

図 かもバス当尾線の月別利用者数の推移（平成 30（2018）年度）

■ IC カード利用者の利用状況

平成 30 年(2018)年度の利用者 16,917 人のうち、IC カード利用者は 8,599 人と利用者の 48.9% であり、IC カード利用者の利用状況を分析すると、以下のような特徴がみられます。

月別では、11 月の利用が 1,923 人と最も多く、春と秋に利用が集中しています。

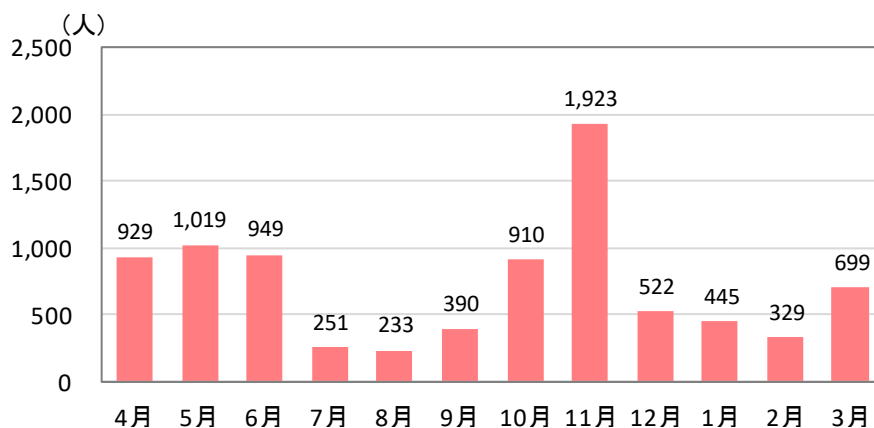
曜日別にみると、土日の利用が多く平日平均の約 1.5 倍なっています。

方便別にみると、加茂駅発便は 3,777 人、加茂駅着便は 4,822 人で、加茂駅着便の利用の方が約 1.3 倍と多くなっています。

便別では、加茂駅発では、第 2 便の利用が最も多く、1 便当たり 2.8 人の利用となっています。一方加茂駅着便では第 3 便の利用が最も多く、1 便当たり 2.7 人の利用となっています。

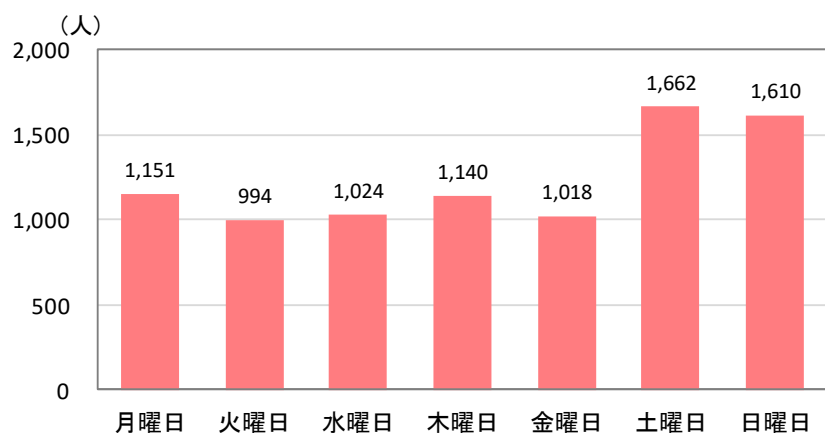
方面別に停留所の利用状況をみると、加茂駅発着便とも、岩船寺が最も多く、次いで浄瑠璃寺、加茂駅の順となっています。利用 OD をみても、岩船寺と浄瑠璃寺間の利用が最も多く、次いで、駅と両寺院の移動となっており、奈良交通の急行バスや徒歩など、他の移動手段と一緒にうまく利用されていることが伺えます。

また、IC カード別の利用状況をみると、「ICOCA」の利用が最も多く、次いで J R 東日本の「Suica」、近畿圏の交通事業者が発行する「PiTaPa」、首都圏の交通事業者が発行する「PASMO」が続き、観光等による遠方からの来訪者の利用が多いことが伺えます。



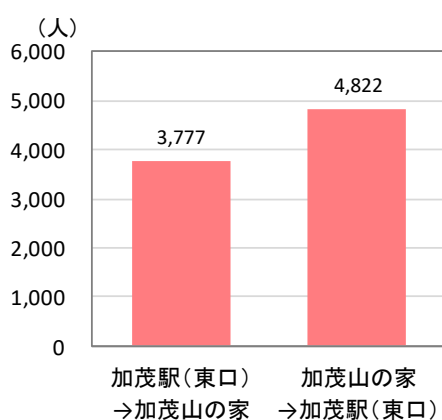
資料：学研企画課

図 IC カード利用者の当尾線の月別利用者数（平成 30（2018）年度）



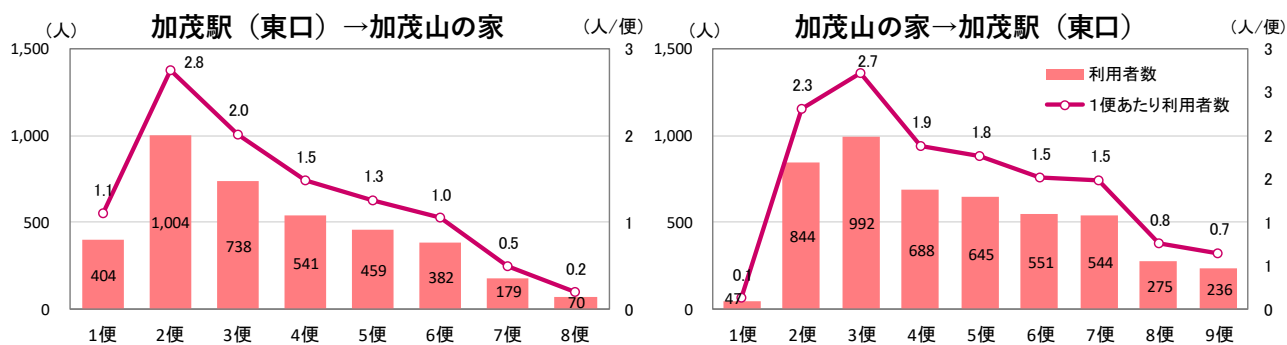
資料：学研企画課

図 ICカード利用者の当尾線の曜日別利用者数（平成30（2018）年度）



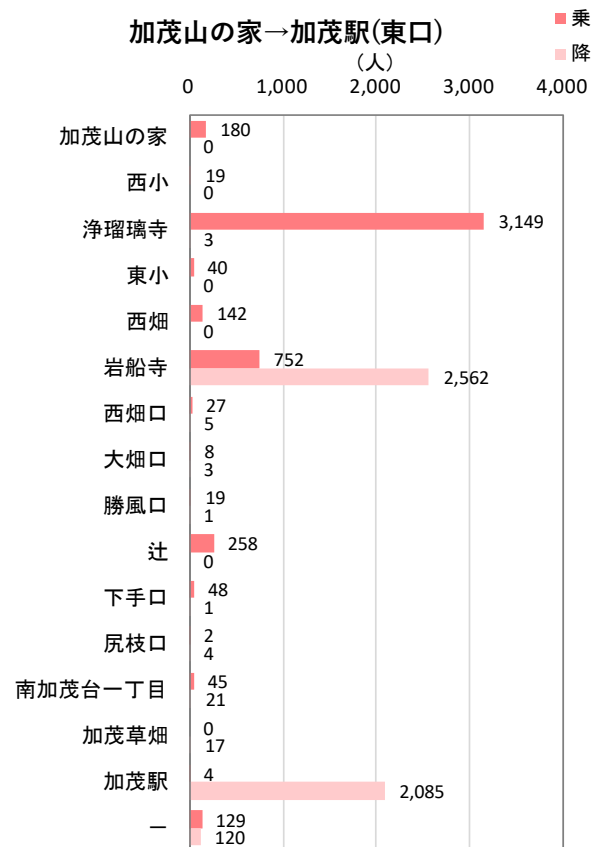
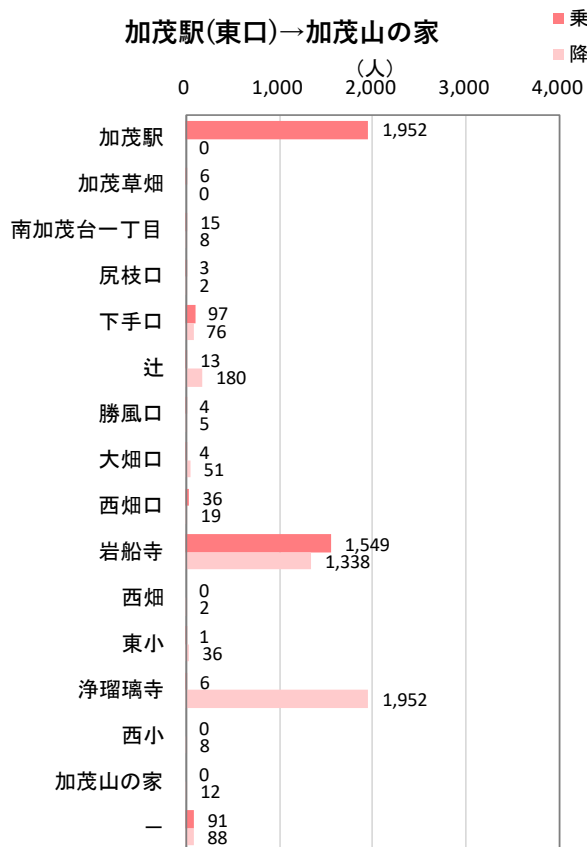
資料：学研企画課

図 ICカード利用者の当尾線の方面別利用者数（平成30（2018）年度）



資料：学研企画課

図 ICカード利用者の当尾線の便別利用者数（平成30（2018）年度）



資料：学研企画課

図 ICカード利用者の当尾線の方面別乗降別停留所の利用状況（平成30（2018）年度）

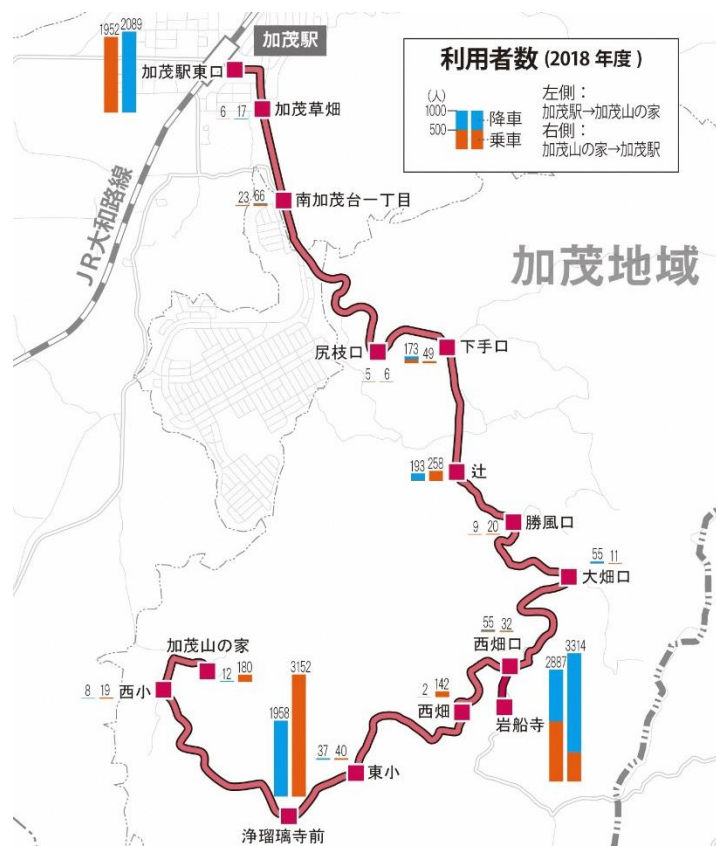


図 ICカード利用者の当尾線の方面別停留所の利用状況（平成30（2018）年度）

表 ICカード利用者の当尾線の方面別利用区間（平成30（2018）年度）

加茂駅→加茂山の家	利用者数	加茂山の家→加茂駅	利用者数
岩船寺→浄瑠璃寺	1,531	浄瑠璃寺→岩船寺	2,414
加茂駅→岩船寺	1,254	岩船寺→加茂駅	735
加茂駅→浄瑠璃寺	346	浄瑠璃寺→加茂駅	718
加茂駅→辻	170	辻→加茂駅	257
加茂駅→下手口	72	加茂山の家→加茂駅	170
下手口→岩船寺	63	西畑→岩船寺	107

※50人以上の利用のみ表示
資料：学研企画課

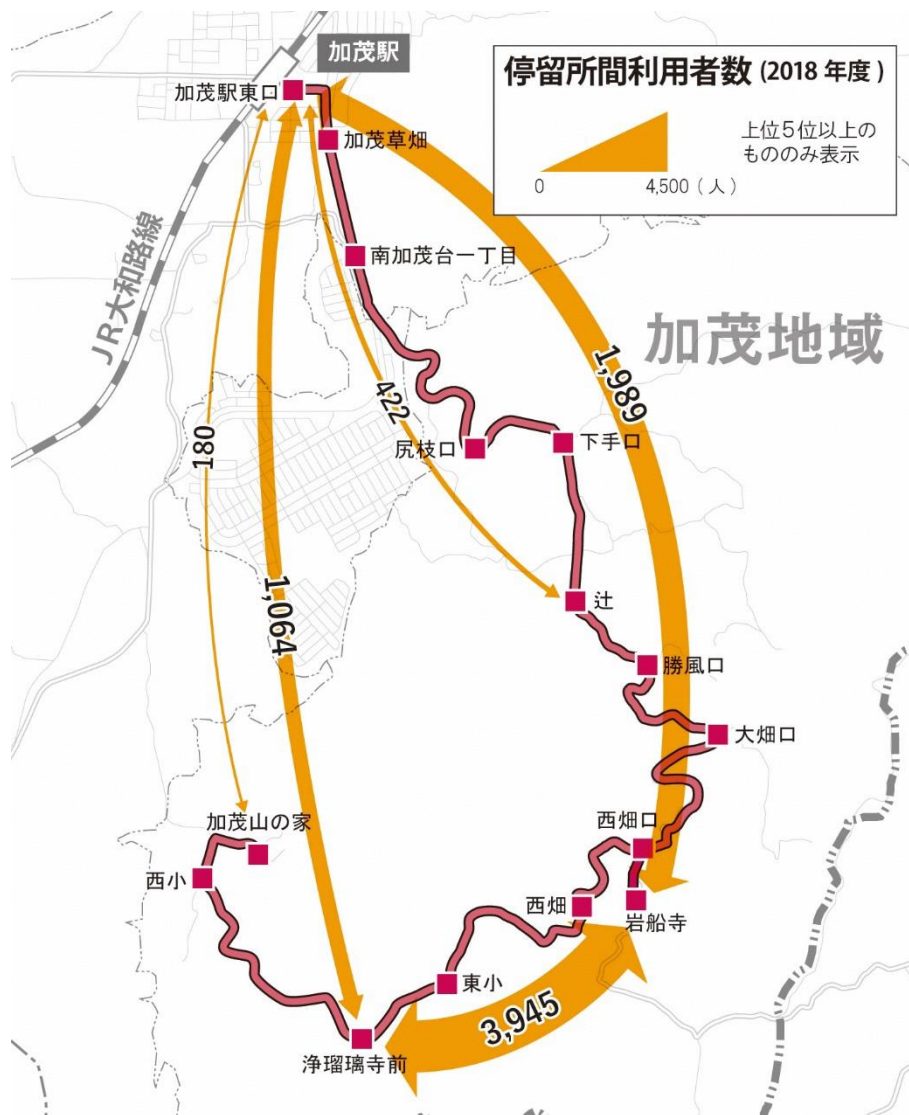
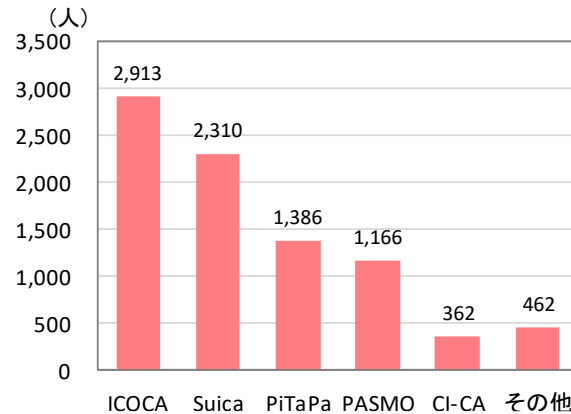


図 ICカード利用者の当尾線の利用区間（平成30（2018）年度）

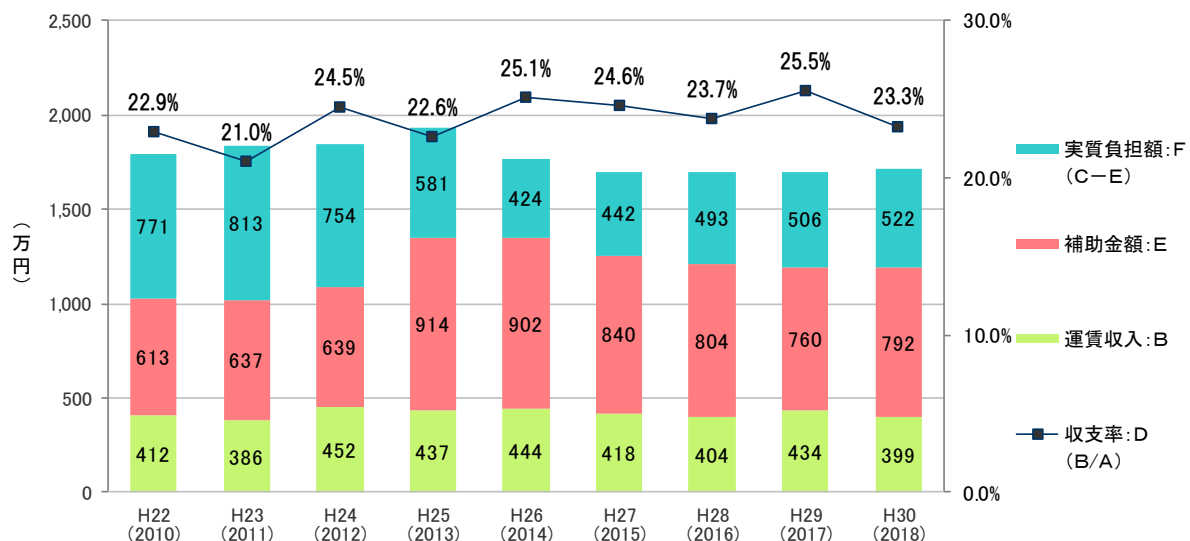


資料：学研企画課

図 ICカード利用者の当尾線のカード別利用状況（平成30（2018）年度）

■収支状況

当尾線の収支率は23.3%で、利用者1人当たりの運行コストは1,012円となっています。利用者数の減少により、前年に比べ収支率は2.2ポイント低下しています。



年度	運行経費:A 【単位:円】	運賃収入:B 【単位:円】	負担額:C (A-B) 【単位:円】	収支率:D (B/A)	補助金額:E 【単位:円】	実質負担額:F (C-E) 【単位:円】	実質負担割合:G (F/A)	利用者 数 【単位:人】	利用者1人当たり の運行コスト 【単位:円】
H22	17,971,000	4,123,000	13,848,000	22.9%	6,134,092	7,713,908	42.9%	17,917	1,003
H22	18,353,000	3,856,000	14,497,000	21.0%	6,368,000	8,129,000	44.3%	16,789	1,093
H24	18,447,000	4,517,843	13,929,157	24.5%	6,389,000	7,540,157	40.9%	18,688	987
H25	19,315,000	4,371,946	14,943,054	22.6%	9,137,000	5,806,054	30.1%	18,072	1,069
H26	17,700,000	4,442,844	13,257,156	25.1%	9,020,000	4,237,156	23.9%	18,802	941
H27	17,003,500	4,180,139	12,823,361	24.6%	8,403,000	4,420,361	26.0%	17,718	960
H28	17,003,500	4,035,810	12,967,690	23.7%	8,036,000	4,931,690	29.0%	17,029	999
H29	17,003,500	4,340,224	12,663,276	25.5%	7,600,000	5,063,276	29.8%	18,316	928
H30	17,126,000	3,986,302	13,139,698	23.3%	7,915,000	5,224,698	30.5%	16,917	1,012

資料：学研企画課

図 当尾線の収支状況

(ウ) かもバス（当尾線をのぞく）

■運行状況

かもバス（当尾線をのぞく）は、平成 25（2013）年 10 月に、8 路線のうち奥畑線と加茂通学線を以外の 6 路線を予約型乗合タクシーに変更しています。

平成 29（2017）年 3 月には、地元の意見を反映し、路線の延長や停留所の新設を行っています。

表 奥畑線・加茂通学線の概要

運 行 日	平日運行 ※土日祝、年末年始は運休
運 賃	200 円（小児は半額）
車 両	ハイエース
乗 車 定 員	9 人
運行事業者	株式会社ウイング
路線の変遷	H29. 3 路線の延長、停留所の新設

表 銭司線・西線・山田線・大畑線・南加茂台線・観音寺線の概要

運 行 日	平日運行 ※土日祝、年末年始は運休
運 賃	200 円（小児は半額）
車 両	セダン型タクシー車両
乗 車 定 員	4 人
利 用 方 法	利用の 1 時間前までに電話予約
運行事業者	加茂タクシー株式会社
路線の変遷	H25. 10 予約型乗合タクシーに変更 H29. 3 路線の延長、停留所の新設

表 かもバス（当尾線をのぞく）の運行本数

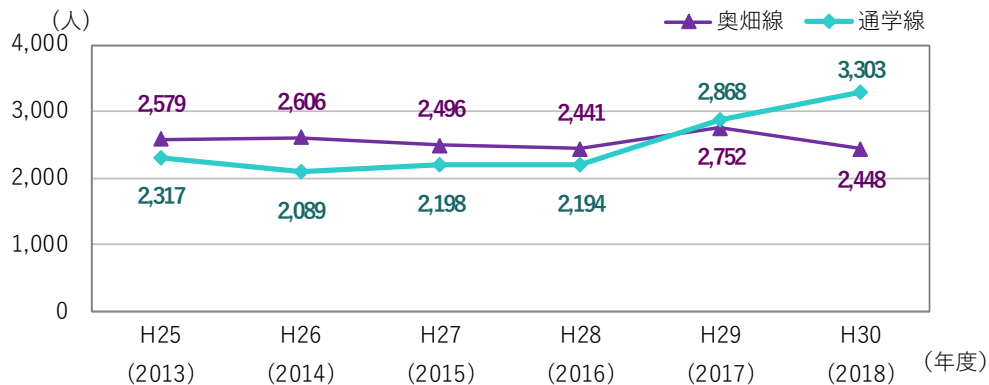
		発地	着地	運行日	便数	始発	終発	所要時間
定時定路線	奥畑線	加茂支所	奥畑	平	4	10:18	16:48	0:20
		奥畑	加茂支所	平	4	10:38	17:08	0:20
	加茂通学線	恭仁宮跡	奥畑	月水金	1	15:38(水 15:30)		0:11
		奥畑	加茂支所	平	1	7:39	—	0:31
		加茂支所	銭司	平	1	16:08(水 15:08)		0:14
予約型乗合 タクシー	銭司線	加茂支所	銭司	平	4	9:38	15:38	0:15
		銭司	加茂支所	平	4	9:53	15:53	0:15
	西線	加茂支所	西	平	4	9:13	15:13	0:11
		西	加茂支所	平	4	9:25	15:25	0:11
	山田線	加茂支所	山田	平	4	9:32	16:12	0:18
		山田	加茂支所	平	4	7:45	13:50	0:18
	大畑線	加茂支所	大畑	平	4	8:24	14:24	0:24
		大畑	加茂支所	平	4	8:49	14:49	0:24
	南加茂台線	加茂支所	東山公園	平	4	9:11	15:11	0:11
		東山公園	加茂支所	平	4	9:23	15:23	0:11
	観音寺線	加茂支所	観音寺	平	4	8:06	14:06	0:10
		観音寺	加茂支所	平	4	8:16	14:16	0:10

■利用状況

＜定時定路線＞

平成 30（2018）年度の利用者数をみると、奥畑線の利用者数は 2,448 人で、平成 29（2017）年度は前年より増加したものの、減少に転じています。通学線の利用者数は 3,303 人と平成 28（2016）年度から増加傾向にあります。

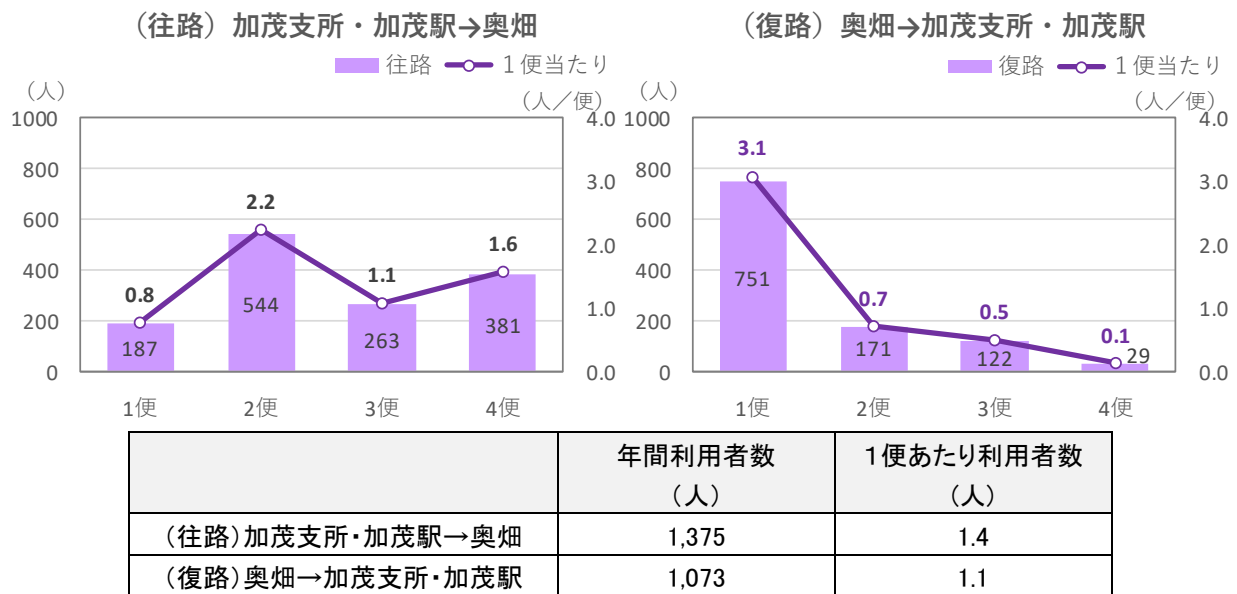
奥畑線の利用状況をみると、方面別では、往路（加茂支所・加茂駅→奥畑）の方が、復路に比べ年間で約 300 人利用が多くなっています。また、便別では復路の 1 便の利用が最も多く、次いで往路の 2 便の順となっています。停留所別にみると、往路復路とも「加茂駅西口」の利用が最も多く、次いで、「奥畑」、「恭仁宮跡」の順となっています。「奥畑西」や「海山寺口」、「恭仁宮跡」など往路と復路で利用に大きな差がみられるバス停もあり、往復で利用されていないケースも多くみられます。



	年間 利用者数 (人)	運行日数 (日)	運行本数 (本)	1 日当たり 利用者数 (人)	1 便当たり 利用者数 (人)
奥畑線	2,448	244	1,952	10.0	1.3
通学線	3,303	222	622	14.9	5.3

資料：学研企画課

図 かもバス（定時定路線）の利用者数の推移



資料：学研企画課

図 奥畑線の便別利用者数（平成 30（2018）年度）

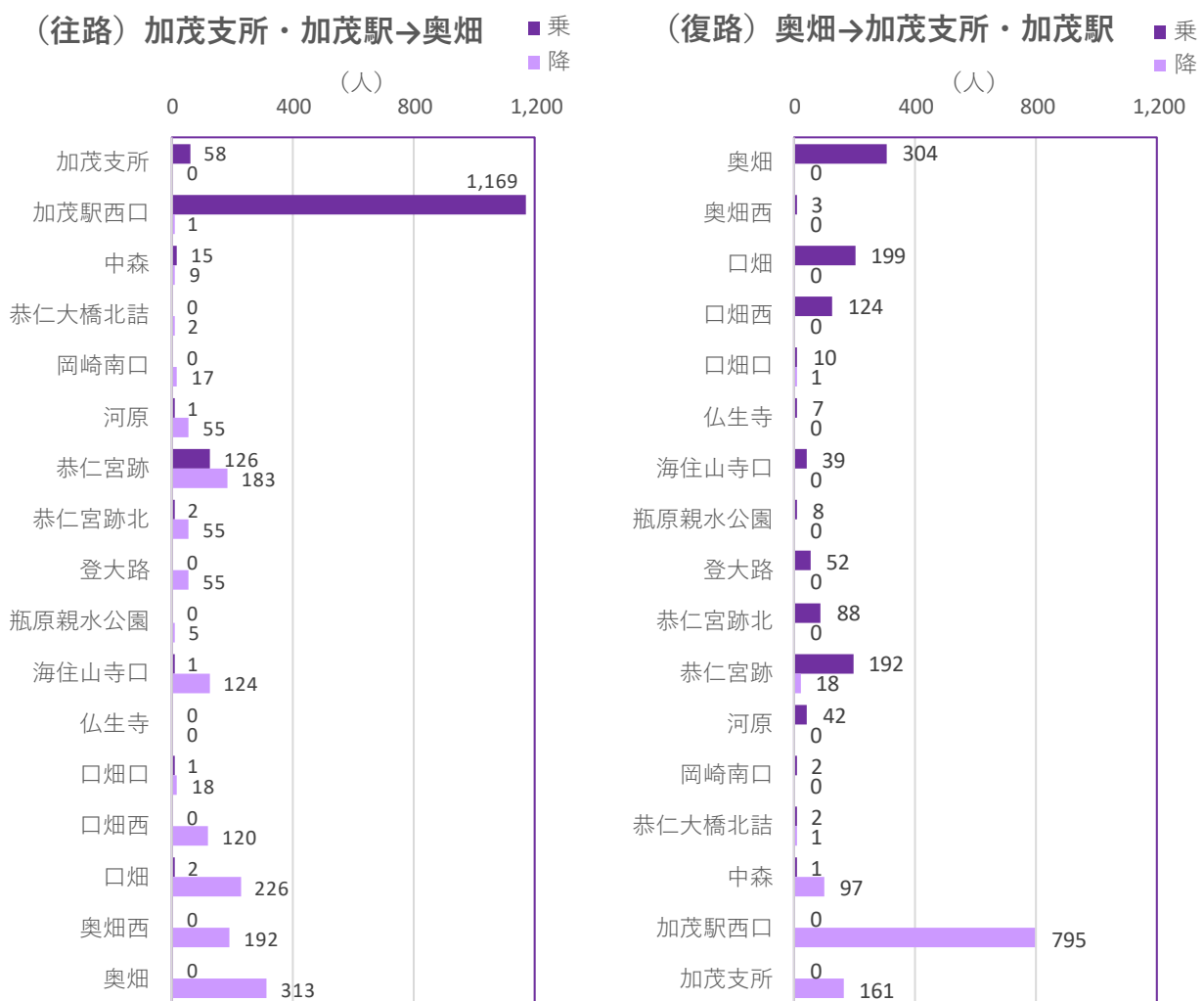
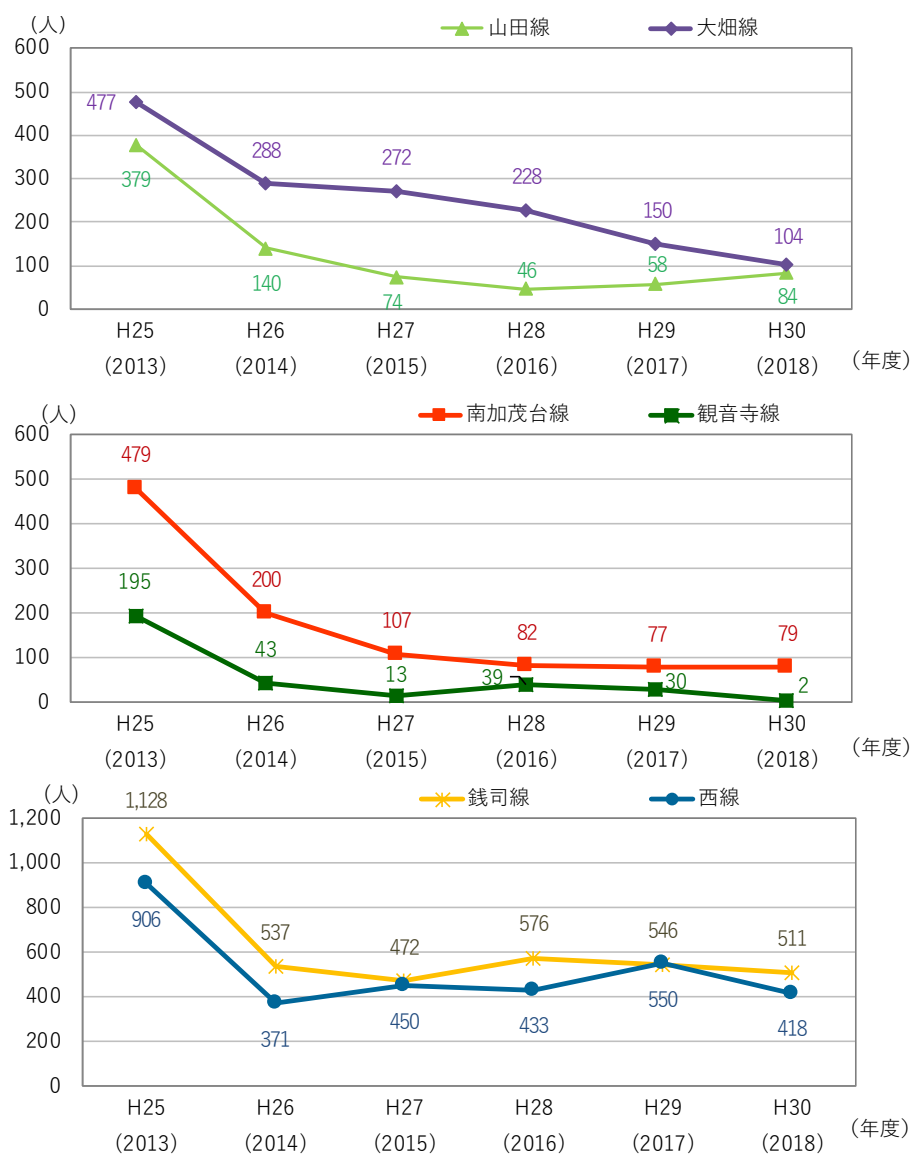


図 奥畑線の停留所別利用者数（平成 30（2018）年度）

＜デマンド型乗合タクシー＞

予約型乗合タクシー6路線の平成30（2018）年度の利用者数は、山田線をのぞき、横ばいから減少傾向にあります。特に大畑線や観音寺線は大きく減少しています。

方便別にみると、いずれの路線も往路よりも復路の利用が多く、山田線や南加茂台線では3倍以上の差が見られます。

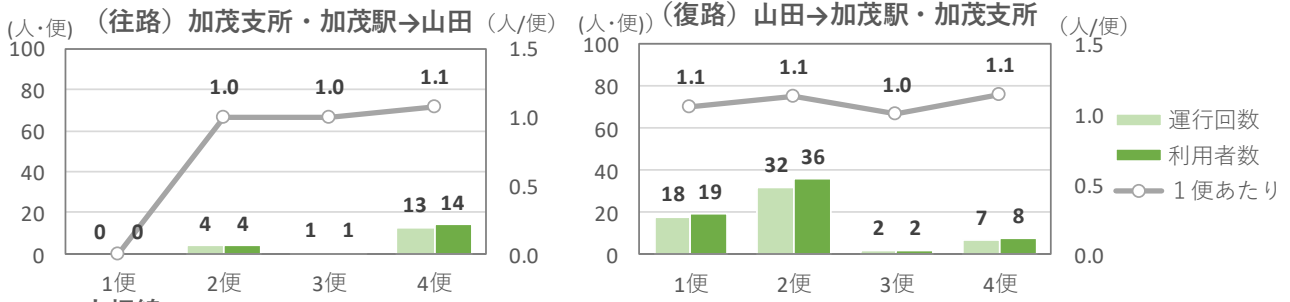


路線	利用者数 (人)	運行本数 (本)	1 便当たり 利用者数 (人)
山田線	84	77	1.1
大畑線	104	92	1.1
南加茂台線	79	70	1.1
観音寺線	2	2	1.0
銭司線	511	416	1.2
西線	418	309	1.4
計	1,198	966	1.2

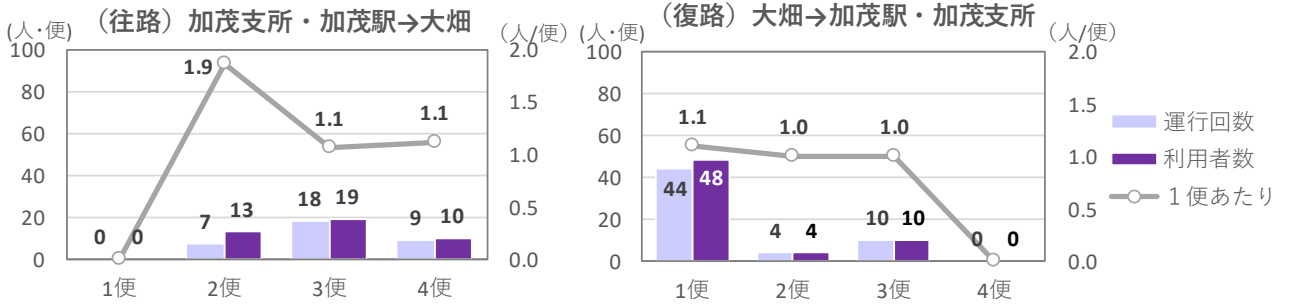
資料：学研企画課

図 かもバス（予約型乗り合いタクシー）の利用者数の推移

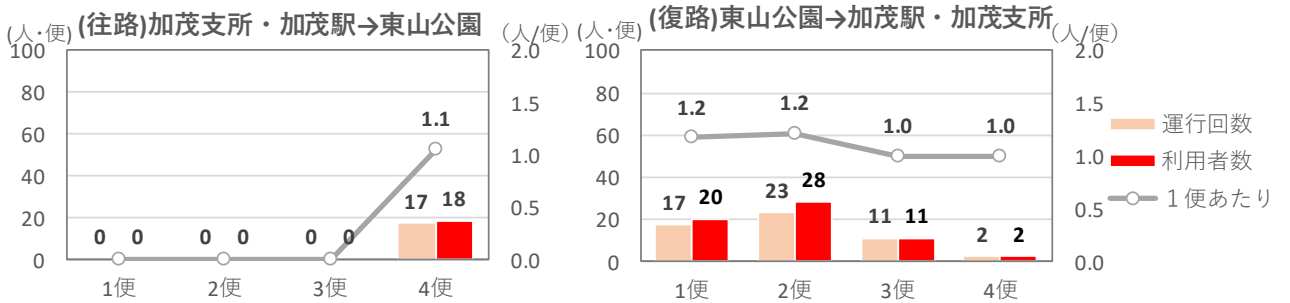
山田線



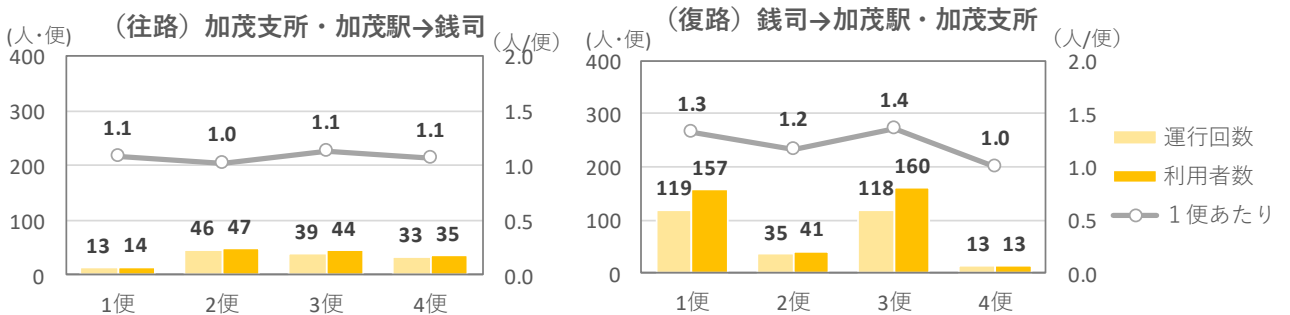
大畑線



南加茂台線



銭司線



西線

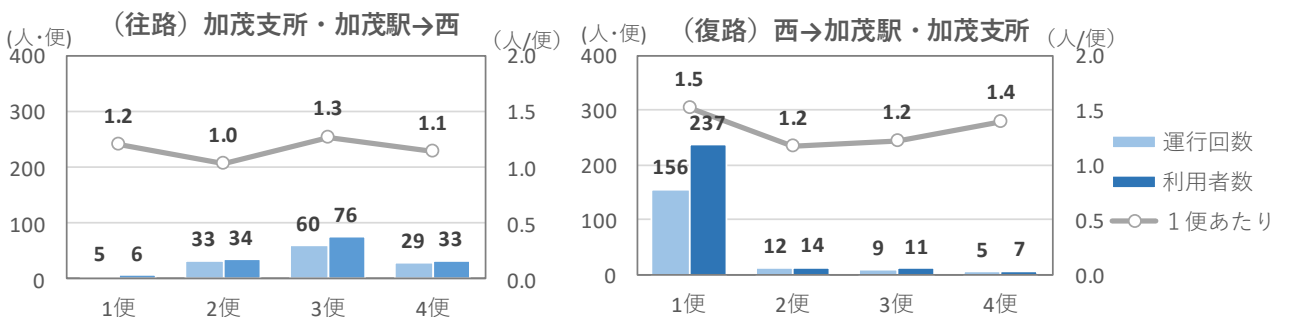


図 かもバス（予約型乗り合いタクシー）の便別利用者数（平成 30（2018）年度）

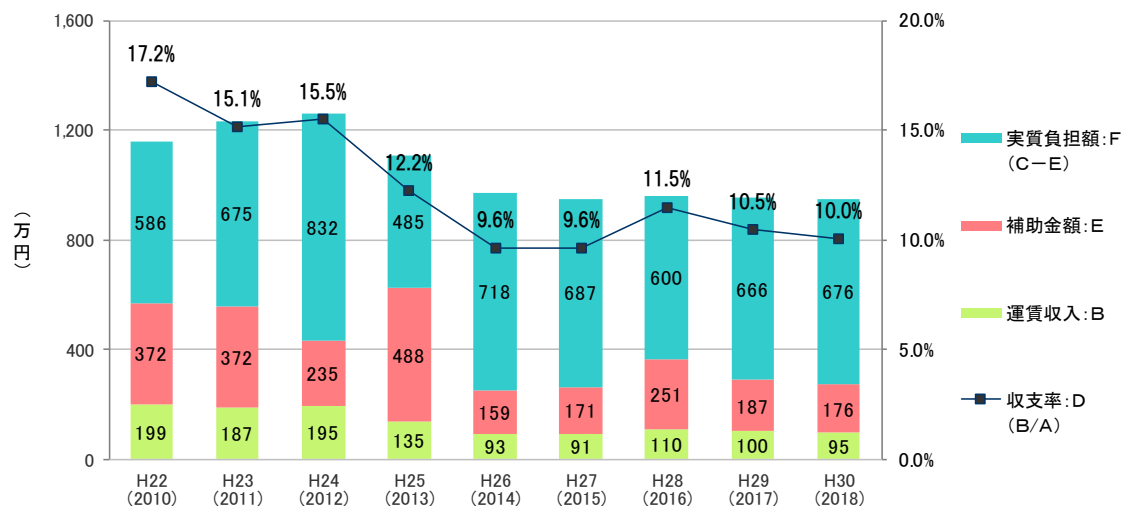
表 かもバス（予約型乗り合いタクシー）の方面別利用者数（平成 30（2018）年度）

路線名	区間	年間利用者数 (人)	運行本数 (本)	1 便あたり 利用者数 (人)
山田線	(往路) 加茂支所・加茂駅→山田	19	18	1.1
	(復路) 山田→加茂駅・加茂支所	65	59	1.1
大畑線	(往路) 加茂支所・加茂駅→大畑	42	34	1.2
	(復路) 大畑→加茂駅・加茂支所	62	58	1.1
南加茂台線	(往路) 加茂支所・加茂駅→東山公園	18	17	1.1
	(復路) 東山公園→加茂駅・加茂支所	61	53	1.2
観音寺線	(往路) 加茂支所・加茂駅→観音寺	-	-	-
	(復路) 観音寺→加茂駅・加茂支所	2	2	1.0
銭司線	(往路) 加茂支所・加茂駅→銭司	140	131	1.1
	(復路) 銭司→加茂駅・加茂支所	371	285	1.3
西線	(往路) 加茂支所・加茂駅→西	149	127	1.2
	(復路) 西→加茂駅・加茂支所	269	182	1.5

資料：学研企画課

■収支状況

かもバス（当尾線を除く）の収支率は 10.0% で、利用者 1 人当たりの運行コストは 1,227 円となっています。



年度	運行経費: A 【単位: 円】	運賃収入: B 【単位: 円】	負担額: C (A-B) 【単位: 円】	収支率: D (B/A)	補助金額: E 【単位: 円】	実質負担額: F (C-E) 【単位: 円】	実質負担割合: G (F/A)	利用者数 【単位: 人】	利用者 1 人当たり の運行コスト 【単位: 円】
H22	11,565,853	1,985,300	9,580,553	17.2%	3,716,720	5,863,833	50.7%	11,586	998
H23	12,337,430	1,866,700	10,470,730	15.1%	3,717,000	6,753,730	54.7%	10,847	1,137
H24	12,613,504	1,950,710	10,662,794	15.5%	2,347,000	8,315,794	65.9%	10,907	1,156
H25	11,081,567	1,353,842	9,727,725	12.2%	4,877,000	4,850,725	43.8%	8,267	1,340
H26	9,698,802	932,808	8,765,994	9.6%	1,589,000	7,176,994	74.0%	6,274	1,546
H27	9,492,787	913,880	8,578,907	9.6%	1,713,000	6,865,907	72.3%	6,082	1,561
H28	9,611,723	1,103,655	8,508,068	11.5%	2,510,500	5,997,568	62.4%	6,039	1,592
H29	9,526,483	995,536	8,530,947	10.5%	1,870,300	6,660,647	69.9%	7,031	1,355
H30	9,478,992	950,047	8,528,945	10.0%	1,764,000	6,764,945	71.4%	6,949	1,364

資料：学研企画課

図 かもバス（当尾線を除く）の収支状況

(エ) やましろバス

■運行状況

やましろバスは、定時定路線の山城線と予約型乗合タクシーの神童子線が運行しており、平成 30（2018）年 3 月には山城線において、渋川西まで延伸しています。

表 やましろバス（山城線）の概要

運 行 日	平日運行 ※土日祝、年末年始は運休
運 賃	200 円（小児は半額）
車 両	マイクロバス
乗車定員	25 人
運行事業者	株式会社ウイング
路線の変遷	・ H30. 3 一部区間の延伸（渋川～渋川西）及び停留所の新設 ・ R1. 7 新しいラッピングバスの追加

表 やましろバス（神童子線）の概要

運 行 日	平日運行 ※土日祝、年末年始は運休
運 賃	200 円（小児は半額）
車 両	大型タクシー車両
乗車定員	4 人
利用方法	・ 利用の 1 時間前までに電話予約
運行事業者	東洋タクシー株式会社

表 やましろバスの運行本数

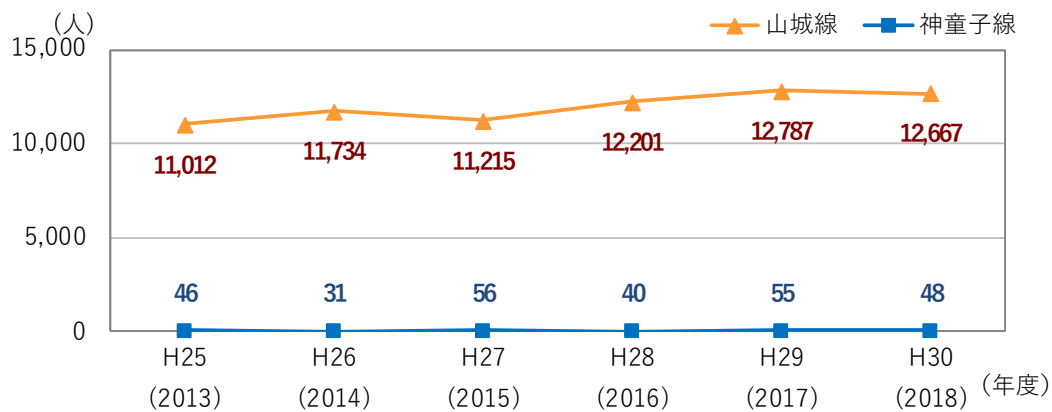
路線	発地	着地	平休	便数	始発	終発	所要時間
山城線	渋川西	木津駅	平日	8	8:44	15:44	0:23
	木津駅	渋川西	平日	8	9:18	16:18	0:23
神童子線	やすらぎ苑	神童子公民館	平日	8	9:37	16:37	0:05
※	神童子公民館	やすらぎ苑	平日	8	8:43	15:43	0:05

※予約型乗合タクシー

■利用状況

山城線の利用者数は平成 27（2015）年度から増加傾向にありましたが、平成 30（2018）年度は前年よりもわずかながら減少し、年間 12,667 人、1 便当たり 3.2 人となっています。神童子線は利用自体が少ない中、前年度よりも減少しています。

方面別では、往路（木津駅→渋川西）の方が、復路に比べ年間で約 600 人程度利用が多くなっています。便別では往路では 3 便の利用が最も多く、復路では 1 便、2 便の利用が多くなっています。停留所別にみると、往路復路とも「木津駅」の利用が最も多く、それ以外では、「上粕駅口」「やすらぎ苑」「渋川」「棚倉駅」の利用が多くなっています。



	利用者数 (人)	運行日数 (日)	運行本数 (本)	1日当たり 利用者数 (人)	1便当たり 利用者数 (人)
山城線	12,667	244	3,904	51.9	3.2
神童子線※	48	—	37	—	1.3

※予約型乗合タクシー
資料：学研企画課

図 やましろバスの利用者数の推移

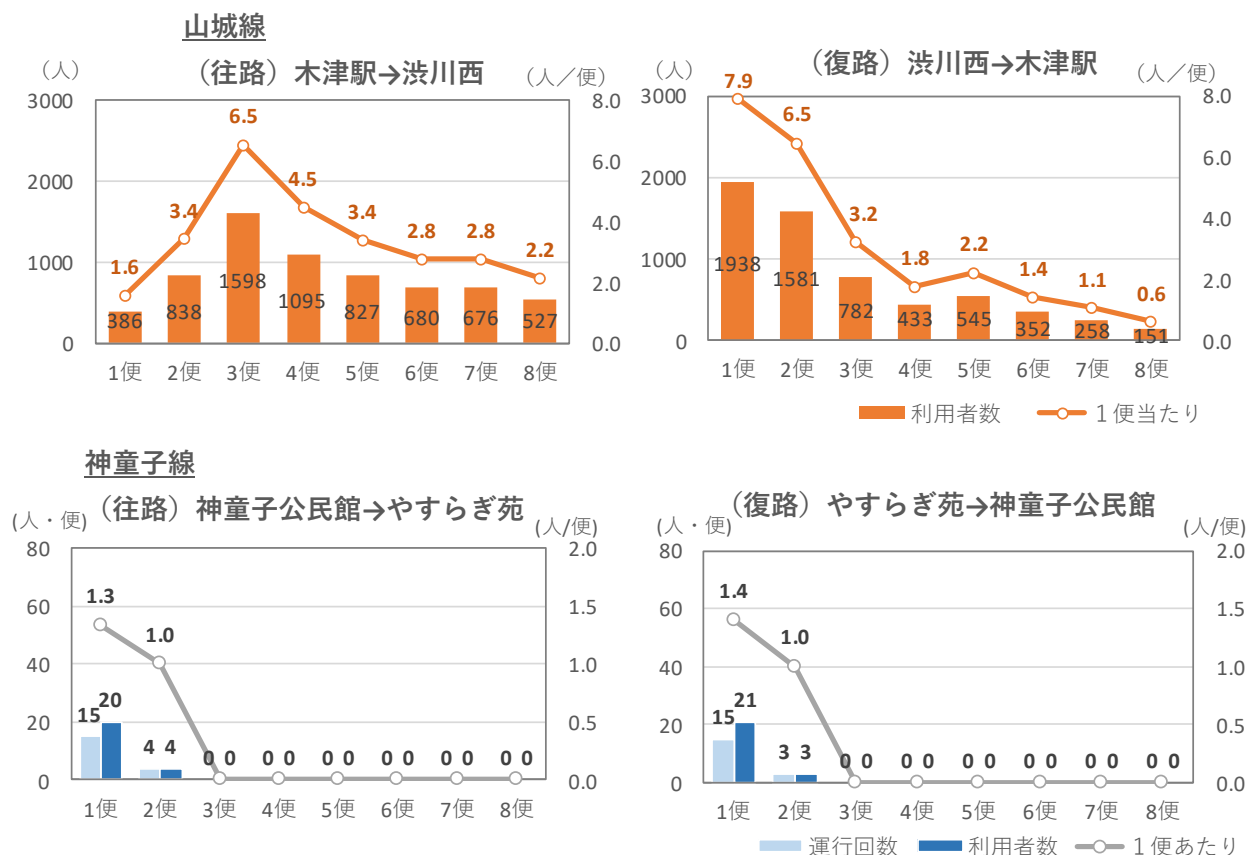


図 やましろバスの便別利用者数 (平成 30 (2018) 年度)

表 やましろバスの方面別利用者数（平成 30（2018）年度）

路線名	区間	年間利用者数 （人）	運行本数 （本）	1 便あたり 利用者数 （人）
山城線	（往路）木津駅→渋川西	6,627	1,952	3.4
	（復路）渋川西→木津駅	6,040	1,952	3.1
神童子線※	（往路）神童子公民館→やすらぎ苑	24	19	1.3
	（復路）やすらぎ苑→神童子公民館	24	18	1.3

※予約型乗合タクシー
資料：学研企画課

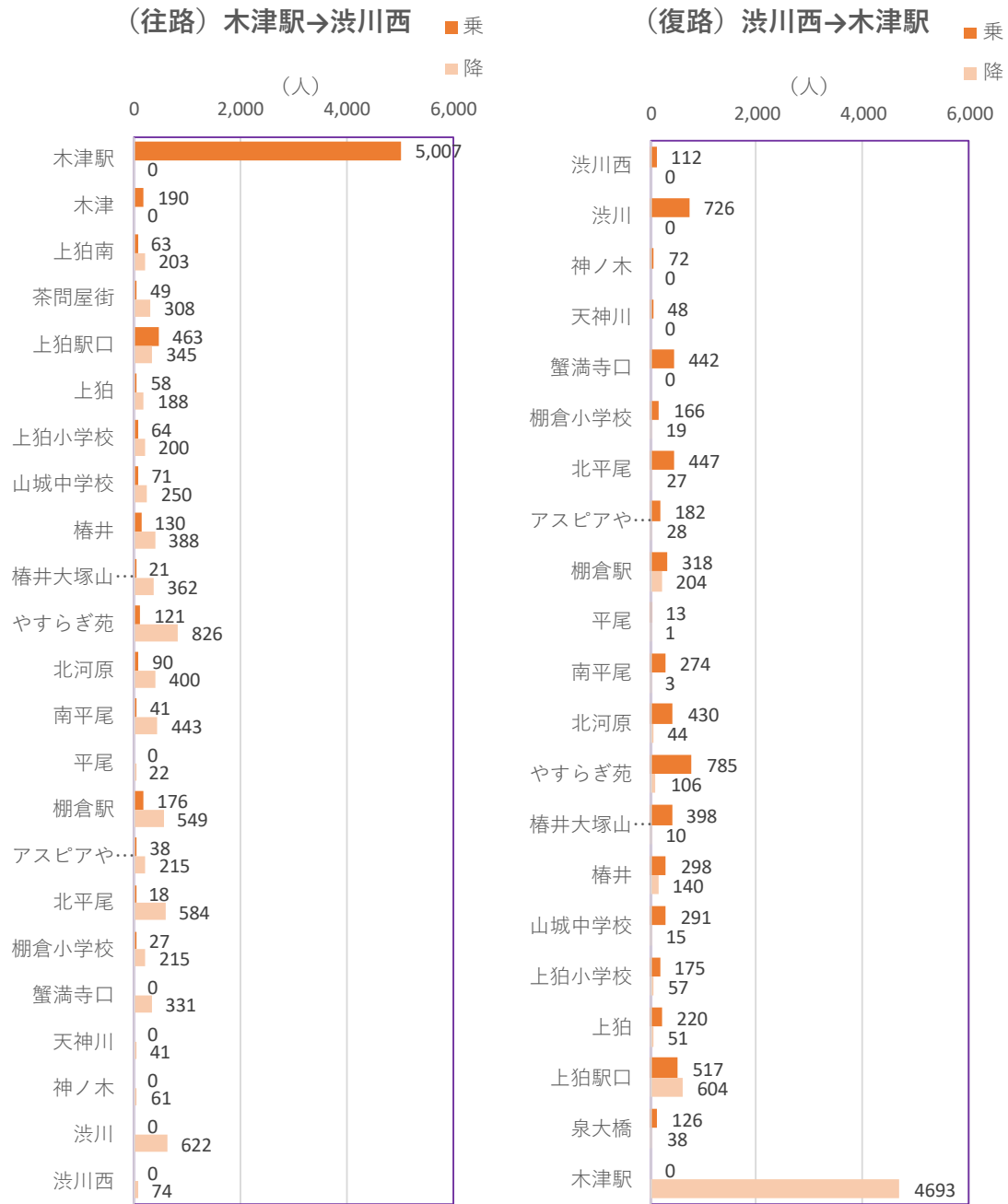
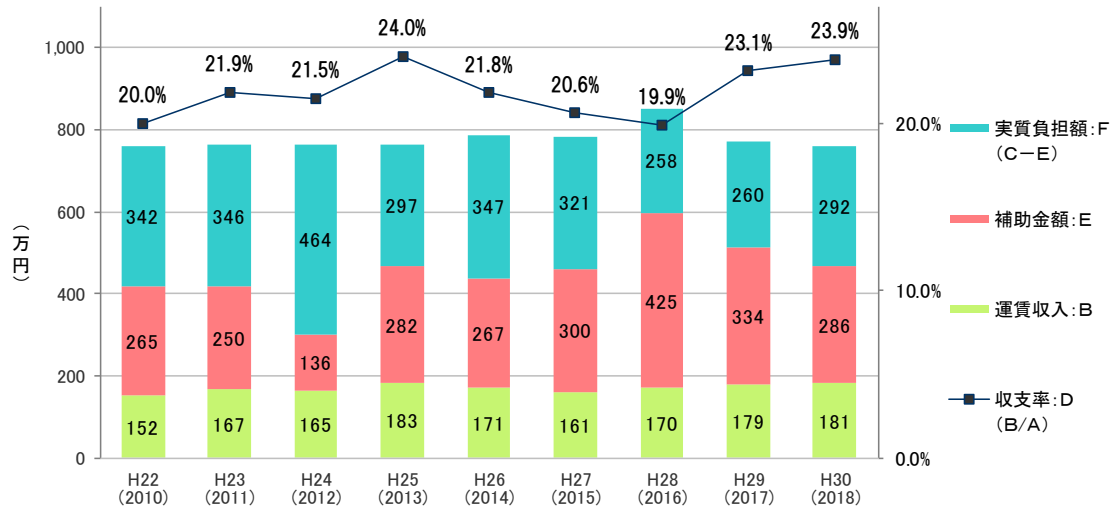


図 山城線の停留所別利用者数（平成 30（2018）年度）

■収支状況

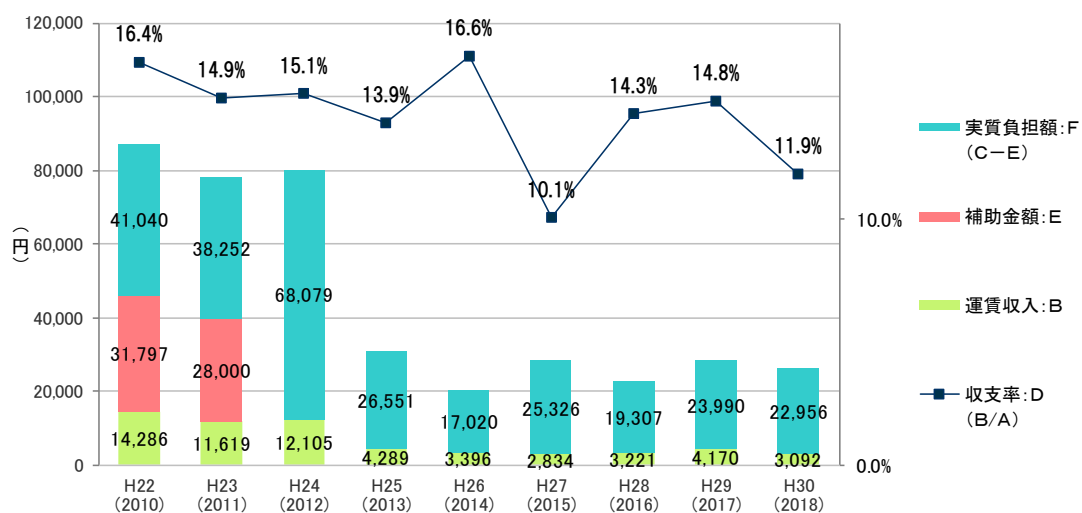
山城線の収支率は 23.9%で、利用者 1 人当たりの運行コストは 599 円、神童子線の収支率は 11.9%、利用者 1 人当たりの運行コストは 543 円となっています。



年度	運行経費: A 【単位: 円】	運賃収入: B 【単位: 円】	負担額: C (A-B) 【単位: 円】	収支率: D (B/A)	補助金額: E 【単位: 円】	実質負担額: F (C-E) 【単位: 円】	実質負担割合: G (F/A)	利用者数 【単位: 人】	利用者 1 人当たりの運行コスト 【単位: 円】
H22	7,590,834	1,519,905	6,070,929	20.0%	2,650,266	3,420,663	45.1%	8,652	877
H23	7,622,072	1,668,333	5,953,739	21.9%	2,497,000	3,456,739	45.4%	9,730	783
H24	7,653,310	1,647,360	6,005,950	21.5%	1,362,000	4,643,950	60.7%	9,645	794
H25	7,622,072	1,832,266	5,789,806	24.0%	2,824,000	2,965,806	38.9%	10,969	695
H26	7,850,700	1,713,044	6,137,656	21.8%	2,667,000	3,470,656	44.2%	11,734	669
H27	7,818,525	1,611,777	6,206,748	20.6%	2,997,000	3,209,748	41.1%	11,215	697
H28	8,526,375	1,696,033	6,830,342	19.9%	4,250,500	2,579,842	30.3%	12,201	699
H29	7,721,700	1,785,456	5,936,244	23.1%	3,335,700	2,600,544	33.7%	12,787	604
H30	7,588,400	1,810,467	5,777,933	23.9%	2,855,000	2,922,933	38.5%	12,667	599

資料：学研企画課

図 山城線の収支状況



年度	運行経費: A 【単位: 円】	運賃収入: B 【単位: 円】	負担額: C (A-B) 【単位: 円】	収支率: D (B/A)	補助金額: E 【単位: 円】	実質負担額: F (C-E) 【単位: 円】	実質負担割合: G (F/A)	利用者数 【単位: 人】	利用者1人当りの 運行コスト 【単位: 円】
H22	87,123	14,286	72,837	16.4%	31,797	41,040	47.1%	114	764
H23	77,871	11,619	66,252	14.9%	28,000	38,252	49.1%	110	708
H24	80,184	12,105	68,079	15.1%	0	68,079	84.9%	108	742
H25	30,840	4,289	26,551	13.9%	0	26,551	86.1%	43	717
H26	20,416	3,396	17,020	16.6%	0	17,020	83.4%	31	659
H27	28,160	2,834	25,326	10.1%	0	25,326	89.9%	56	503
H28	22,528	3,221	19,307	14.3%	0	19,307	85.7%	40	563
H29	28,160	4,170	23,990	14.8%	0	23,990	85.2%	55	512
H30	26,048	3,092	22,956	11.9%	0	22,956	88.1%	48	543

資料：学研企画課

図 神童子線の収支状況

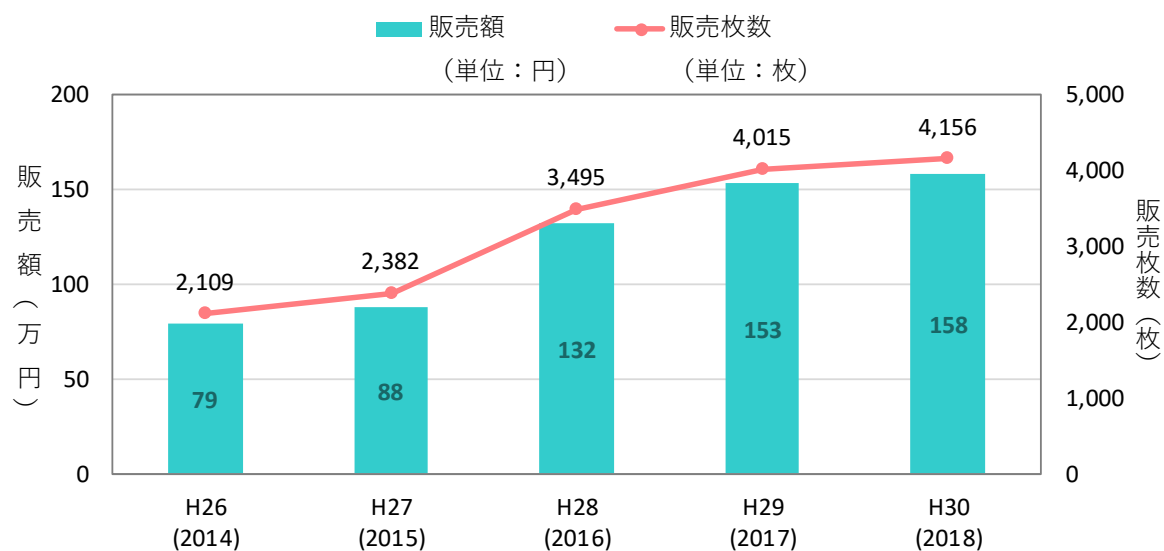
IV. 一日フリー乗車券の販売状況

1 日フリー乗車券は、木津川市コミュニティバス全路線で利用でき、400 円で当日のみ乗り放題になる乗車券です。

販売数は、平成 24 年度の販売開始から年々増加し、多くの方に利用されているものの、平成 30 (2018) 年度は前年に比べ 1.03 倍の増加となっており、更なる周知の徹底や販売場所の拡大などが求められます。

表 1 日フリー乗車券の販売場所

地域	販売場所
木津地域	市役所、西部出張所、いずみホール、木津川市観光協会、木津川市社会福祉協議会、みつはし書店、高の原アーバンコンフォートセクレタリーセンター、西部交流会館
加茂地域	加茂支所、加茂文化センター、加茂駅前第 1 駐車場、加茂駅前東口駐車場、J R 加茂駅観光案内所、ブックス中田
山城地域	山城支所、アスピアやましろ
その他	奈良交通（株）高の原案内所、バス運行車両内



	販売枚数 (枚)	販売額 (円)
H26	2,109	793,300
H27	2,382	877,700
H28	3,495	1,320,000
H29	4,015	1,528,600
H30	4,156	1,581,200

※平成 28 (2016) 年度 3 月には、総務課「高齢者運転免許証自主返納支援事業」に伴う 1 年分の交付を含む
 ※平成 29 (2017) 年度から「高齢者運転免許証自主返納支援事業」に伴う交付分は、各月の販売枚数、販売額に反映
 資料：学研企画課

図 一日フリー乗車券の販売実績

(3) 公共交通空白地域の状況

鉄道駅の利用圏を 1 km、バス停の利用圏を 500m と設定すると、コミュニティバスの運行により、公共交通空白地はほぼ解消されているものの、3 地域の周辺部など、一部地域に残っています。

表 交通空白地の人口

エリア	町名	空白地人口（人）
木津	鹿背山の一部	187
木津	梅美台 6 丁目の一部	576
木津	梅谷の一部	19
木津	市坂の一部	16
山城	北綺田～南綺田の一部	28
山城	上粕北部の一部	9
加茂	法花寺野～大野の一部	49
加茂	大野～里の一部	116
加茂	観音寺の一部	9
加茂	山田の一部	7
計		1,016

※人口は平成 27（2015）年国勢調査 250mメッシュ人口より算出

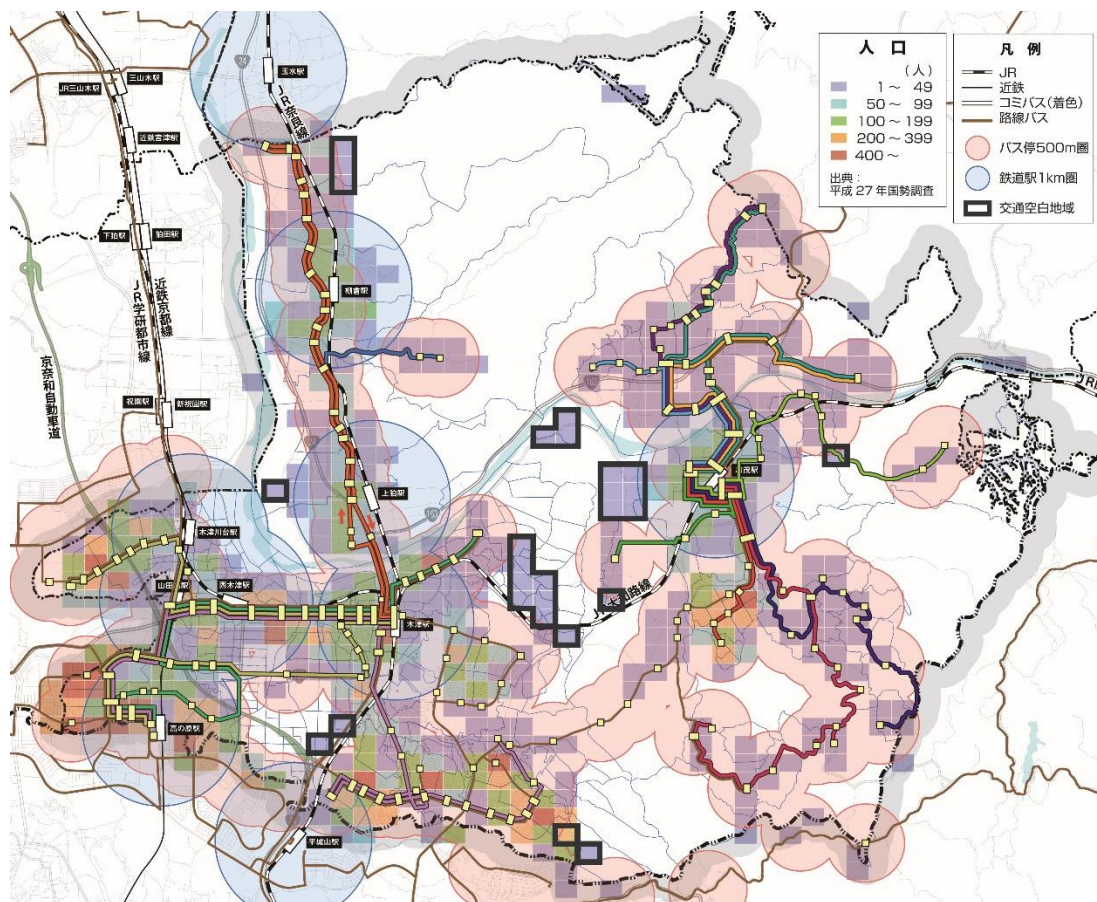
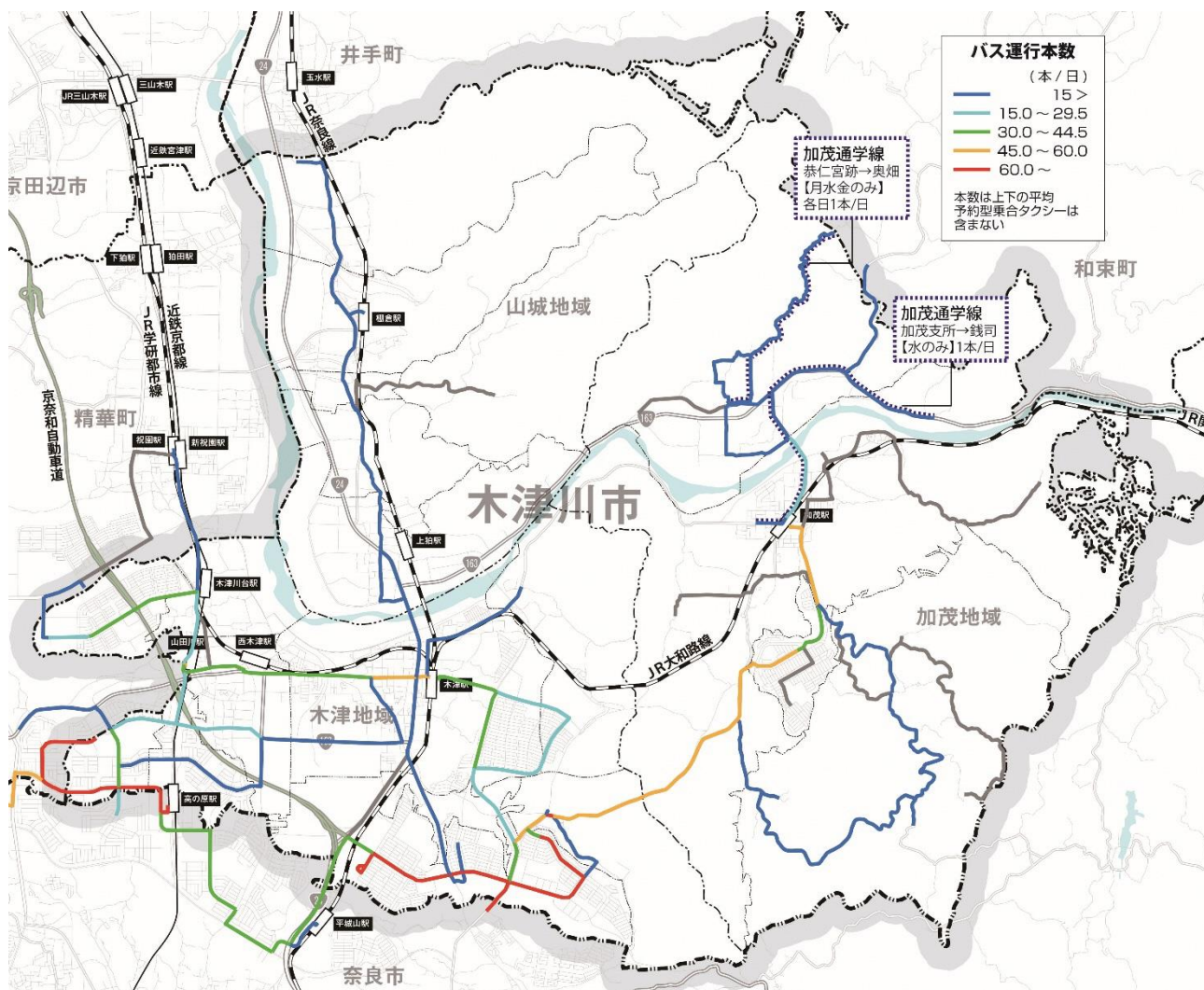
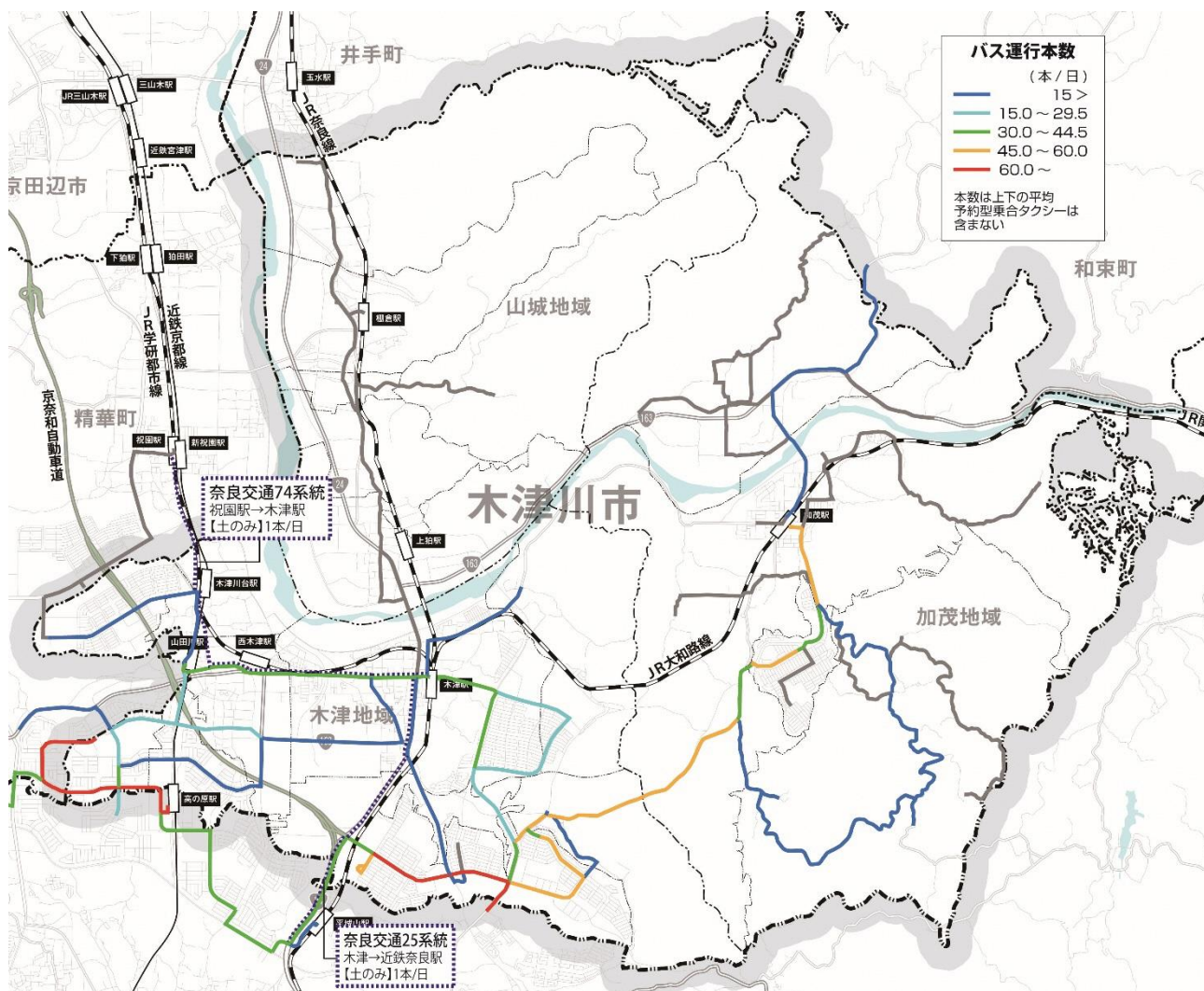


図 木津川市における公共交通空白地域の状況



資料：奈良交通 HP、木津川市 HP

図 平日一日当たりのバスの運行頻度（路線バス＋コミュニティバス（定時定路線のみ））



資料：奈良交通 HP、木津川市 HP

図 土日祝日一日当たりのバスの運行頻度（路線バス+コミュニティバス（定時定路線のみ））